

東海村地域公共交通網形成計画

平成27年 3 月

東海村
東海村地域公共交通会議

東海村地域公共交通網形成計画の策定にあたって



このたび、日常生活等に必要不可欠な交通手段を確保するとともに、まちづくりの視点から、福祉・環境・教育・商工観光などの様々な分野と連携した交通施策の取り組みを推進するため、平成27年度から平成32年度までの、向こう6年間の基本的な指針となる「東海村地域公共交通網形成計画」を策定いたしました。

本村では、平成18年4月からデマンドタクシーを運行し、これまで年間約43,000人の方々に御利用いただいております。一方で村外への移動手段や本村を訪れるビジネス客・観光客、国内外の研究者・科学者など誰もが利用できる公共交通の拡充・充実がかねてから課題となっておりました。今般、これらに対応すべく、本年4月から、デマンドタクシーや既存の路線バスなどに加え、村内外を往来する新たな路線バスが運行を開始する運びとなりました。

新たな路線バスのルート付近には、1,300年以上の歴史を持つ関東有数の古社である「大神宮」や十三詣りで古くから賑わう「村松山虚空蔵堂」、桜の名所である「阿漕ヶ浦公園」など村を代表する観光資源がありますが、この新たな路線バスを利用すれば、村外からでも訪れることができるようになります。村外の停留所では、日立市の公共交通である「ひたちBRT」やひたちなか市のコミュニティーバスである「スマイルあおぞらバス」、地域の乗合タクシーと連結することから、村のPRを積極的に展開することで、四季を通じて観光振興・交流人口の増加による地域の活性化にもつながるものと期待しております。

また、本年3月31日をもって東海村発足60周年を迎えますが、本村の「まちづくり」を進めるうえでも、公共交通の充実は「『まち』としての魅力アップ」の一助になるとともに、安心して暮らせる「持続可能なまち」として定住化にもつながることを期待しております。

最後に、本計画の策定にあたりまして、「東海村地域公共交通会議」の委員の方々をはじめ、関係機関の皆様や村民の皆様から貴重な御意見、御提言を賜りました。この場をお借りして御協力いただいた多くの方に深く感謝を申し上げます。

平成27年3月 東海村長 山田 修

目 次

1. 計画策定の趣旨	5
(1) 東海村の公共交通の現状と計画策定の経緯／5	
(2) 地域公共交通の再編に取り組む意義－上位・関連計画との連携／5	
①東海村第5次総合計画：分野別将来像における公共交通施策との関係	
②東海村都市計画マスタープランにおける公共交通施策との関係	
③第2次東海村環境基本計画における公共交通施策との関係	
2. 東海村の地域・交通特性	17
(1) 地域特性／17	
①地形・地勢 ②人口 ③人口構成・高齢化状況 ④通勤・通学状況 ⑤産業動向	
⑥地域施設	
(2) 交通特性／31	
①道路交通 ②私的交通(自家用車・バイク) ③公共交通	
(3) 東海村における公共交通への取組経緯／41	
3. 公共交通の利用実態と課題・ニーズ	45
(1) 公共交通の利用実態／45	
①鉄道(東海駅) ②高速・空港バス ③路線バス ④デマンドタクシー	
(2) 公共交通の課題とニーズ／57	
①地域特性からみた利点と課題	
②交通特性にみる利点と課題	
③デマンドタクシー登録者アンケート調査結果にみるニーズと課題	
④事業所ヒアリング調査結果にみるニーズと課題	
4. 計画の方針と考え方	63
(1) 地域公共交通の活性化及び再生の推進に向けた取組の方向性／63	
①まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性	
：上位・関連計画における東海村の将来像と公共交通が果たすべき役割と効果	
②地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成と地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せの方針	
③住民の協力を含む関係者の連携	
(2) 東海村地域公共交通網形成計画の基本的な方針／71	
(3) 地域公共交通網形成計画の区域／72	
(4) 地域公共交通網形成計画の目標と事業・実施主体、達成状況評価／73	
①地域公共交通網形成計画の目標	
②目標を達成するために行う事業及びその実施主体	
③地域公共交通網形成計画の達成状況の評価	

(5) 地域公共交通網形成計画の期間と実施スケジュール／84

①計画期間

②事業の実施スケジュール

5. 新規路線バスの試行運行計画 ----- 87

(1) 事業計画／87

①全体方針 ②運行計画

(2) 事業化の推進／93

①事業方式 ②実施スケジュール ③利用促進方策

参考資料 ----- 99

1. 東海村地域公共交通網形成計画の検討体制・経緯／100

(1) 東海村地域公共交通会議設置要綱 (2) 東海村地域公共交通会議委員名簿

(3) 東海村地域公共交通会議の開催経緯

2. デマンドタクシー登録者アンケート調査／105

(1) 調査の実施概要・アンケート調査票 (2) 調査結果

3. 村内事業所ヒアリング調査／154

(1) 調査の実施概要 (2) 調査結果

4. 新規路線バス試行運行計画を策定するための実態把握調査／156

(1) 東海駅通勤・通学時間帯の乗降者数調査 (2) 運行ルートの実走時分計測調査

1. 計画策定の趣旨

（１）東海村の公共交通の現状と計画策定の経緯

東海村では、平成9年7月に主に交通弱者対策として（一般住民も利用可能）運賃無料の福祉循環バスの運行を開始した。しかし、毎年度の改善策実施にも関わらず、利用者の増加にはつながらなかった。そのため、平成15年度より福祉循環バスに代わる新たな公共交通の検討に着手し、運行範囲を村内、利用対象者を村民に限定したデマンドタクシーを導入することとなり、試行運転を経て、平成18年4月より本格運行を開始した。

本村は東西、南北ともに約 8 km とほぼ円形に近く、その中央に J R 常磐線東海駅が立地しているなど、デマンド交通の運行に適していることもあり、一定の利用者数を確保、高齢者や障がい者、幼児を抱える母親などの重要な移動手段となっている。一方で、村外への利用要望や、村外からのビジネス客や観光客及び、多数立地している原子力関連事業所の通勤者への対応など、デマンドタクシーだけではカバーしきれない課題が挙げられている。

加えて、福祉循環バスの運行開始前まで7路線が運行していた路線バスは、利用者数の減少により5路線が廃止され、残る2路線についても利用促進が必要となっている。

以上のような状況を受けて、本村では、誰でも利用できる「路線バス」(新規の路線バス)を新たに運行し、デマンドタクシーと既存の路線バス、鉄道を含めた地域公共交通網を整備することとした。そのために、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号/以下「地域公共交通活性化・再生法」という)」に基づき、『東海村地域公共交通網形成計画』を策定したものである。

(2) 地域公共交通の再編に取り組む意義－上位・関連計画との連携

①東海村第5次総合計画：分野別将来像における公共交通施策との関係

防災・防犯分野：犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちをつくる

福祉・健康分野：高齢者が健康でいきいきと暮らせるよう支援する

：誰もがいつでも安心して医療が受けられる環境を整える

経済・環境分野：資源が循環し、環境負荷の少ない低炭素社会の実現を目指す

まちづくり基盤分野：地域を快適につなぐ環境を形成する（公共交通機関の充実等）

: 自らの移動手段を持たない人にも便利な公共交通の体系を整える

■ 1. 基本構想

□1. 基本理念・基本目標

- ・東海村第5次総合計画(平成23年度～平成32年度)では、“真に豊かな社会の実現と10年後も持続可能なまちづくり”を検討する上で、「村民の叡智が生きるまちづくり～今と未来を生きる全ての命あるものために～」を基本理念として定めている。
- ・基本理念が目指すべき方向性を以下の3つのメッセージ(基本目標)として定めている。
 - 1 過去に学び、現在を考え、未来を拓くことのできる叡智の伝承・創造を目指します
 - 2 一人ひとりが尊重され、多様な選択が可能な社会を村民の叡智を活かし、村民主体で

創造していきます

- 3 自然といのちの調和と循環を重視し、多様な叡智を結集して新たな暮らしを創造する活力あるまちを目指します

□2. 前期基本計画策定の視点

- ・第5次総合計画では、基本構想は10年間不変、基本計画は5年間で見直しという前提条件の下で、基本理念・基本目標を具体化した前期基本計画を定めている。
- ・前期基本計画において、基本理念・基本目標を全ての分野の政策・施策に反映させていくために、計画に関わる全ての人の共通認識とする「基本的視点」を示している。
- ・その上で、基本的視点を通して浮かび上がってきた東海村の現状と、今後取り組むべき主な課題を整理し、各分野の将来像を定めている。

■2. 分野別将来像

- ・基本構想において定めた基本理念・基本目標を実現するために、各分野の将来像を以下のように定めている。
 - 1 協働でつくる自治のまち(行政運営・住民自治分野)
 - 2 やさしさと信頼でつながる、災害に強い安全・安心のまち(防災・防犯分野)
 - 3 一人ひとりを大切にし、「日本一の福祉」を目指すまち(福祉・健康分野)
 - 4 生涯にわたって学習することができ、その成果を生かせるまち(教育分野)
 - 5 「食」と「みどり」と「コミュニティ」でにぎわうまち(経済・環境分野)
 - 6 みどりとまちの共生を礎として調和のとれた暮らしやすいまち(まちづくり基盤分野)
 - 7 原子力科学・原子力エネルギーと地域社会が調和したまち(原子力とまちづくり分野)

■3. 分野別将来像における公共交通施策との関係性

- ・分野別将来像における政策・施策の中で、公共交通に関連するものは以下のとおりである。

□1. やさしさと信頼でつながる、災害に強い安全・安心のまち(防災・防犯分野)

- ・「政策2-7 犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちをつくります」において、高齢者や子どもが巻き込まれる事故や、薄暮時の交通事故の割合が高くなっていることが課題とされ、交通事故の減少に向けた交通安全体制の強化を図ることなどが基本方針とされている。
- ・政策目標：交通事故件数 基準208件→目標190件

□2. 一人ひとりを大切にし、「日本一の福祉」を目指すまち(福祉・健康分野)

- ・「政策3-2 高齢者が健康でいきいきと暮らせるよう支援します」において、介護予防事業により、介護を必要としない高齢者の割合を増やす必要があること、孤独を感じている高齢者に対して、外出の機会を増やすなど積極的に社会参加できるような仕組みを構築すること、が課題とされ、健康寿命の延伸を目指して誰もが充実した高齢期を過ごせるよう、介護予防事業の充実を図ることなどが基本方針とされている。

- ・政策目標：介護認定を受けていない高齢者数 基準(H22) 6,500人→目標(H27) 7,500人
- ・「政策3-7 誰もがいつでも安心して医療が受けられる環境を整えます」において、適切な医療情報を提供するとともに、安心できる医療福祉の充実に努めることなどが基本方針とされている。
- ・政策目標：安心できる医療体制が整っていると感じている人の割合
基準(H22) → 目標(H27) 60%

□3. 「食」と「みどり」と「コミュニティ」でにぎわうまち(経済・環境分野)

- ・「政策5-2 資源が循環し、環境負荷の少ない低炭素社会の実現を目指します」において、東海村地球温暖化対策地域推進計画(平成19年策定)のCO₂削減目標の10%を達成できる見込みであるが、地球規模での要求としてさらなる削減に向けた取組みが望まれていることが課題とされ、環境負荷の少ない持続可能な低炭素のまちを形成していくために、地球温暖化対策に取り組むことが基本方針とされている。
- ・政策目標：CO₂削減率(平成17年比) 基準(H22) 8.7%→目標(H27) 12.5%

□4. みどりとまちの共生を礎として調和のとれた暮らしやすいまち(まちづくり基盤分野)

- ・「政策6-3 地域を快適につなぐ環境を形成します」において、今後、高齢化が進行するとますます公共交通が重要になってくることから、地域の需要などの動向をふまえ、状況に応じた最適な交通システムの導入が課題とされ、道路の体系的な整備を進めるとともに、公共交通機関の充実、自転車交通の活用により、地域を快適につなぐ環境の形成を計画的に進めることが基本方針とされている。
- ・「政策6-6 自らの移動手段を持たない人にも便利な公共交通の体系を整えます」において、以下の3点が課題とされている。
 - マイカー等車社会の普及をはじめとする地域公共交通を取り巻く事情や、高齢社会の到来により自らの移動手段を持たない方が増加するものと予想される中では、将来にわたり、公共交通の役割の見直しとその計画的整備を進めていく視点が欠かせない。
 - 地域公共交通の利用者の減少傾向により、その持続的な運営は危機的な状況にまで達し、村内でも、基幹道路を通過するバス路線が廃止されるなど、域内の公共交通の再生・活性化が課題となっている。
 - デマンドタクシーについては、県央地域や村外の医療機関への運行を希望する声が聴かれる。また、「なごみ送迎サービス(平成27年度に廃止予定)」の「3施設巡回サービス」は、その利用者が少ないことから、デマンドタクシーをはじめとする地域公共交通網との連携やサービスの再編などによる効果的有効利用に向けた研究が必要である。

上記の課題をふまえて、地域公共交通の充実を図り、自らの移動手段を持たない人にも便利なまちづくりを進めること、公共交通機関の確保と利便性の向上に努めることが基本方針とされている。

- ・政策目標：地域公共交通として村が提供する移動サービスの事業数
基準(H22) 1件→目標(H27) 2件

1. 計画策定の趣旨

- ・ 政策目標：デマンドタクシーあいのりくん利用者数(1日当たり)
基準(H22)147人→目標(H27)200人
- ・ 政策目標：地域公共交通のあり方に関する検討会議(仮称)の設置
基準(H22)ー→目標(H27)設置

[東海村第5次総合計画前期基本計画の分野別将来像と全体体系(東海村第5次総合計画)]



■4. 後期基本計画の策定状況と公共交通施策との関係性

- ・東海村では、平成27年12月の決定を目指して、平成28～32年度を期間とする第5次総合計画後期基本計画の策定に取り組んでいる。
- ・策定にあたって、前期基本計画の政策・施策の達成状況の調査が行われ、前項の公共交通に関連する政策目標の実績と達成状況は以下のとおりである。

□1. やさしさと信頼でつながる、災害に強い安全・安心のまち(防災・防犯分野)

- ・政策目標：交通事故件数 基準208件／年→目標190件／年
- ・達成状況：平成25年度の交通事故件数は187件であり、目標達成とされている。

□2. 一人ひとりを大切にし、「日本一の福祉」を目指すまち(福祉・健康分野)

- ・政策目標：介護認定を受けていない高齢者数 基準(H22)6,500人→目標(H27)7,500人
- ・達成状況：平成25年度の介護認定を受けていない高齢者数は7,406人であり、目標達成に向けて順調とされている。
- ・政策目標：安心できる医療体制が整っていると感じている人の割合
基準(H22)―→目標(H27)60%
- ・達成状況：次の住民アンケート調査によって把握するため、現段階での達成状況の判断は困難とされている。

□3. 「食」と「みどり」と「コミュニティ」でにぎわうまち(経済・環境分野)

- ・政策目標：CO₂削減率(平成17年比) 基準(H22)8.7%→目標(H27)12.5%
- ・達成状況：平成24年度のCO₂削減率は23.5%であり、目標達成とされている。

□4. みどりとまちの共生を礎として調和のとれた暮らしやすいまち(まちづくり基盤分野)

- ・政策目標：地域公共交通として村が提供する移動サービスの事業数
基準(H22)1件→目標(H27)2件
- ・達成状況：平成25年度の事業数は1である。デマンド交通システムに加えて村が提供する新たな公共交通について、検討開始したところであり、課題ありとされている。
- ・政策目標：デマンドタクシーあいのりくん利用者数(1日当たり)
基準(H22)147人→目標(H27)200人
- ・達成状況：平成25年度の利用者数は153人/日である。デマンドタクシーの利用者は震災前の状況に戻ったと思われるが、近年は『キャンセル』対策が大きな課題となり、オペレーター・ドライバーの協力をいただき声かけ運動を展開しているところである。また、デマンドタクシーに加え、新たな地域公共交通の導入についても検討を開始したところであり、課題ありとされている。
- ・政策目標：地域公共交通のあり方に関する検討会議(仮称)の設置
基準(H22)―→目標(H27)設置
- ・達成状況：平成25年度に東海村地域公共交通会議を設置しており、目標達成とされている。

②東海村都市計画マスタープランにおける公共交通施策との関係

まちづくりの目標：JR東海駅を中心としたにぎわいのある魅力あふれる拠点形成／広域交通網の連携強化などを手がかりにした、さまざまな活動や交流が生まれる都市づくり

将来都市構造：JR東海駅(都市拠点)／笠松運動公園・阿漕ヶ浦公園・白方公園(水と緑のレクリエーション拠点)／東海村役場・総合福祉センター「絆」・東海文化センター(行政サービス拠点)／村松山虚空蔵堂等(歴史文化拠点)の形成

部門別まちづくりの方針

：歩行空間やバス路線網などの充実とあわせたJR東海駅を中心とした商業地の形成(土地利用)
鉄道利便性の向上、バス交通の充実(道路交通体系整備)／交通環境のバリアフリー化(住みよいまちづくり)

■1. 都市計画マスタープランの内容と構成

- ・平成15年9月に策定された東海村都市計画マスタープランは、全体構想と地区別構想、実現化の方針の3つの項目で構成されている。
- ・全体構想では、「まちづくりの視点と目標」と「部門別まちづくりの方針」が定められており、公共交通に関連する目標や方針が定められている。

■2. まちづくりの目標と公共交通施策との関係

- ・都市計画マスタープランでは、以下の4つの目標が掲げられている。
 - 安全・快適で優しさを大切にしたいまち
 - 豊かで魅力と活力のあるまち
 - 環境と共生したうまいまち
 - 住民・事業者・行政との協働(パートナーシップ)によるまちづくり
- ・この4つの目標の中で、「豊かで魅力と活力のあるまち」において、公共交通に関連した次の詳細な目標が定められている。
 - 「JR東海駅を中心としたにぎわいのある魅力あふれる拠点形成と住民との連携・協力によるすべての産業に活力をもたらす都市づくり」
 - 「文化・レクリエーション機能の充実・広域交通網の連携強化、情報通信網の発達を手がかりにした、さまざまな活動や交流が生まれるいきいきとした都市づくり」

■3. 将来都市構造における公共交通施策との関係

- ・将来都市構造は、「拠点の形成」と「軸の配置と形成」の2つの方針によって示されている。拠点の形成は、「店舗・各種事務所等が立地しサービスを提供する商業・業務機能、住民の生活利便性を向上する生活サービス機能、様々な人やものの交流を促進する交流機能などの多様な都市機能を持った地域を形成し、住民が住み・働き・楽しみやすい場所となる土地利用の魅力を持たせながら、住民生活や都市活動の中心的な機能を担う地区を「拠点」として位置づけ、バランスのとれた都市機能の構築」を図ることが謳われている。
- ・具体的には、以下のような拠点の形成が設定されている。
 - 都市拠点の形成

東海駅の東西における基盤整備を引き続き進めていくとともに、商業・業務機能の充実を図り、東海村の中心となる都市拠点の形成を目指します。

○水と緑のレクリエーション拠点の形成

笠松運動公園、阿漕ヶ浦公園、白方公園などの拠点は、良好な自然環境の中でスポーツや散策などが楽しめる、水と緑のレクリエーション拠点として位置づけ、その機能の充実を目指します。

○行政サービス拠点の形成

行政サービスの要である東海村役場や保健・福祉の総合的なサービスの拠点施設である(仮称)東海村総合福祉センター(総合福祉センター「絆」)、東海文化センター、各地区に設置されている地区コミュニティセンターなどは、多くの人が集まる拠点として位置づけ、誰もが利用しやすい環境づくりと、質の高いサービスの提供・充実を目指します。

○歴史文化拠点の形成

東海村の歴史や文化を伝える村松山虚空蔵堂や大神宮、石神城址等は、歴史文化拠点として位置づけ、文化財の保全や周辺地区を含めた街並み整備、公園整備などを積極的に図っていくこととします。

- ・軸の配置と形成には、「都市軸の形成」と「水と緑の骨格軸の形成」があり、都市軸の形成として、「国道6号及び国道245号は、周辺都市との連携を強化し、東海村の発展を担う重要な骨格となる軸として位置づけ、さらに都市計画道路二軒茶屋原研線(原研通り)は、この2路線を連絡しており、また、既存市街地の中核をなす軸として位置し、それぞれ都市活動に魅力と活力を与える都市軸の形成」を目指すとしている。

■4. 部門別まちづくりの方針における公共交通施策との関係

- ・部門別まちづくりの方針において、公共交通に関連する事項は以下のとおりである。

□1. 土地利用の方針

- ・商業地については、「JR東海駅を中心とした地区は、鉄道とのアクセス性を活かした、買い物客や働く人々、通勤通学する人々、他都市からの来訪者など様々な人が集まり都市のにぎわいの中心となる商業業務機能を集積し、歩行空間やバス路線網などの充実とあわせ、買い物を楽しむ回遊性のある商業地の形成」を目指すとしている。
- ・ひたちなか地区周辺地区については、「常陸那珂港北埠頭の後背地に位置し広域交通によるアクセスの便も良好なひたちなか地区周辺においては、そのアクセスの良さを活かし、東海村の観光・レクリエーション及び研究開発ゾーン」を検討していくこととされている。

□2. 道路交通体系整備の方針

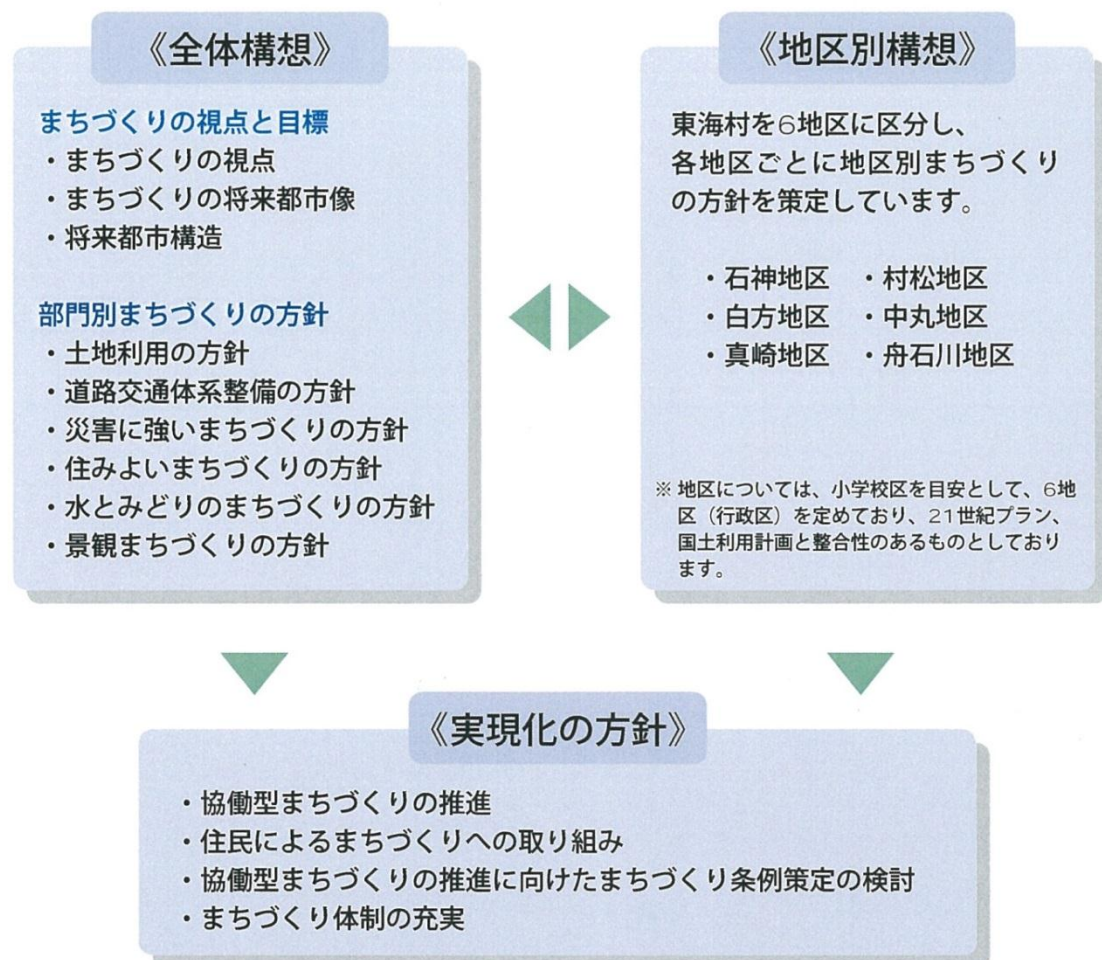
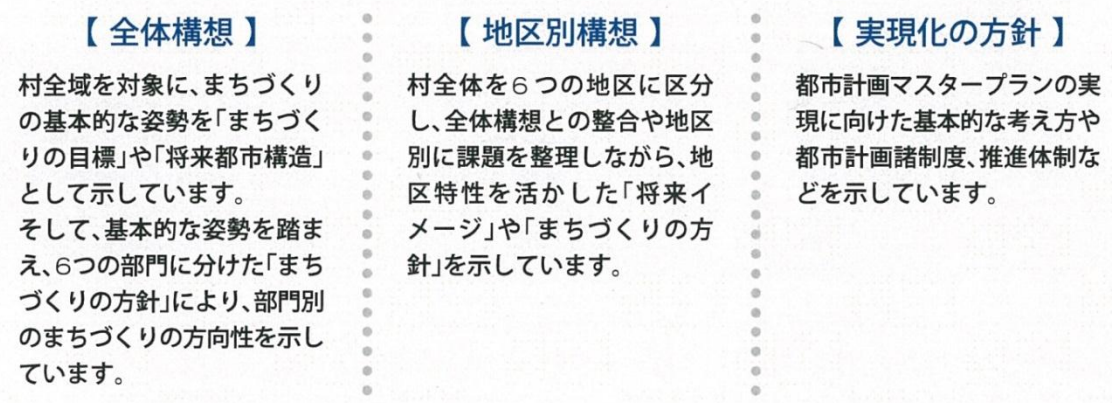
- ・東海村は、国道6号と国道245号などにより、東京方面や水戸市、日立市方面への広域交通網に恵まれている。また、JR常磐線の東海駅には特急列車も停車するなど、鉄道利用の利便性も向上している。一方、自動車交通量の増加に伴い、国道をはじめとする幹線道路における交通渋滞の発生、生活道路の整備、バス交通網及び本数の拡充、JR東海駅に停車する特急列車の増加などが課題とされている。
- ・これらの課題を解決するため、幹線道路をはじめとした道路の体系的な整備を進めるとともに、公共交通機関の充実や自転車交通の活用による交通手段の転換を図る必要があると

されている。具体的な方針として、鉄道利便性の向上、バス交通の充実が挙げられている。

□3. 住みよいまちづくりの方針

- ・ノーマライゼーションの理念に基づき、すべての人が住みやすく安心して暮らせるようハード(道路・公園・建物など)とソフト(助け合い・心づかいなど)の両面から、日常生活の障壁を取り除く工夫がなされた人にやさしいまちづくりの実現が求められているとされている。
- ・これをふまえて、交通環境のバリアフリー化が方針の一つとされている。

[都市計画マスタープランの内容と構成(東海村都市計画マスタープラン ダイジェスト版)]



[将来都市構造図(東海村都市計画マスタープラン ダイジェスト版)]



③第2次東海村環境基本計画における公共交通施策との関係

低炭素社会(クリーン・グリーンでスマートな低炭素社会をめざすまち)

：車の賢い利用ーノーマイカーデー、相乗りなどの通勤交通対策の推進

地域交通サービス(交通弱者対策)の推進ーデマンドタクシーの充実など公共交通システムの拡充

生活環境：心身ともに健康で、安全で安心な生活ができるまち

：高齢化に対応する買物・交通環境の利便性ーデマンドタクシーの充実など公共交通システムの拡充

■1. 第2次環境基本計画の全体体系

- ・平成24年3月に策定された第2次東海村環境基本計画は、「自然共生社会」「低炭素社会」「循環型社会」「生活環境」の4分野を対象範囲として、平成24年度から平成33年度までの10年間を計画の期間としている。
- ・「めざす環境のすがた」として、「自然豊かな環境を一人ひとりが力を合わせて守り育てライフスタイルを見直し 持続可能な社会を創造する」ことを理念としている。この理念を実現するために、以下の4つの分野の基本目標が定められている。
 - 自然共生社会：自然と共生する、水とみどり豊かな生物多様性に恵まれたまち
 - 低炭素社会：クリーン・グリーンでスマートな低炭素社会をめざすまち
 - 循環型社会：資源を有効に活用し、持続可能な社会を育むまち
 - 生活環境：心身ともに健康で、安全で安心な生活ができるまち
美しい環境をまもり、文化や歴史を次世代につなぐまち

■2. 具体的な環境施策と公共交通施策との関係

- ・4つの基本目標ごとに定められた具体的な環境施策の中で、公共交通に関連するものは以下のとおりである。

□1. 低炭素社会：クリーン・グリーンでスマートな低炭素社会をめざすまち

- ・4つの大項目のうち、「歩行者・自転車・車が共存するまち」として、自動車による二酸化炭素排出量が村内排出量の約1/4を占めていることから、村内で車をまったく使わない生活は難しいが、徒歩・自転車・公共交通を含めた交通体系を構築することで車の利用を押さえ、二酸化炭素削減を目指すとしている。
- ・そのために、「車の賢い利用(自動車交通のマネージメント)」「自転車の活用(自転車で走りやすいまち)」「地域交通サービス(交通弱者対策)の推進」の3つの施策が掲げられている。
- ・車の賢い利用(自動車交通のマネージメント)においては、ノーマイカーデーなどの通勤対策が、現状は村役場や一部の大規模事業所内に留まり、かつ実行者が少ないことが課題とされている。具体的な施策の一つとして、「ノーマイカーデー、相乗りなどの通勤交通対策を推進し、村民全体に広げます」と掲げられている。
- ・地域交通サービス(交通弱者対策)の推進においては、郊外団地の高齢化などにより、高齢者の移動サポートが課題であり、高齢者対策と二酸化炭素削減対策を組み合わせた視点から、地域交通問題を考えることが必要とされている。
- ・そのため、高齢者対策、通勤対策などの施策を組み合わせる多様な視点から地域交通サー

ビスを充実することを目的に、具体的な施策として、「デマンドタクシーの充実など公共交通システムを拡充します」と掲げられている。

□2. 生活環境：心身ともに健康で、安全で安心な生活ができるまち

美しい環境をまもり、文化や歴史を次世代につなぐまち

- ・ 4つの大項目のうち、「快適な暮らし」として、歴史・文化の保全、高齢者の支援、多様なふれあいを通じて豊かな環境づくりに取り組むことにより、日本一美しい村をつくとしている。
- ・ その施策として、「高齢化に対応する買物・交通環境の利便性」が掲げられている。高齢化率が50%を超える団地があり、団地内の商店が閉店しているため、買物に不自由している高齢者世帯が増えていることが指摘されている。しかし、民間交通機関のバス路線がほとんど無く、不便だから利用しないという悪循環が起こっていることが課題とされている
- ・ そのため、地域・団体・事業者・行政が、それぞれに高齢者の買物・移動サポートを進め、連携しながら交通利便性を改善することを目的に、具体的な施策の一つとして、「デマンドタクシーの充実など公共交通システムを拡充します」と掲げられている。

〔第2次東海村環境基本計画の全体体系(第2次東海村環境基本計画)〕



2. 東海村の地域・交通特性

(1) 地域特性

①地形・地勢

東西、南北共に約8kmの円形のコンパクトな圏域であり、一部を除いて平坦な地形である

■1. 位置・面積

- ・東海村は、茨城県の県庁所在地である水戸市の北東約15kmに位置し、東京からは約110kmの距離にある。東は太平洋に面し、西が那珂市、南がひたちなか市、北が一級河川の久慈川を境に日立市に接して形成されている。
- ・村域は東西が7.9km、南北が7.9kmとほぼ円形に近く、総面積は37.48km²、可住地面積は32.49km²である。

■2. 地勢

- ・久慈川の南側と真崎浦、細浦などの低地は沖積層で水田地帯となっている。一方、台地は洪積層で、畑地と平地林が広がり、東へ緩やかに傾斜したその先端が砂丘となっている。なお、砂丘は現在、(独)日本原子力研究開発機構東海研究開発センター、日本原子力発電(株)、東海発電所・東海第二発電所などの敷地として活用されている。

■3. 土地利用

- ・平成20年における土地利用の状況は、農用地が11.08 k m² (29.6%)、宅地が10.00 k m² (26.7%)、山林が3.18 k m² (8.5%)、その他が12.67 k m² (35.3%)、原野が0.55 k m² (1.5%)となっている。
- ・昭和30年からの変化をみると、畑と山林が大幅に減少し、宅地が大幅に増加している。

■4. 地区区分

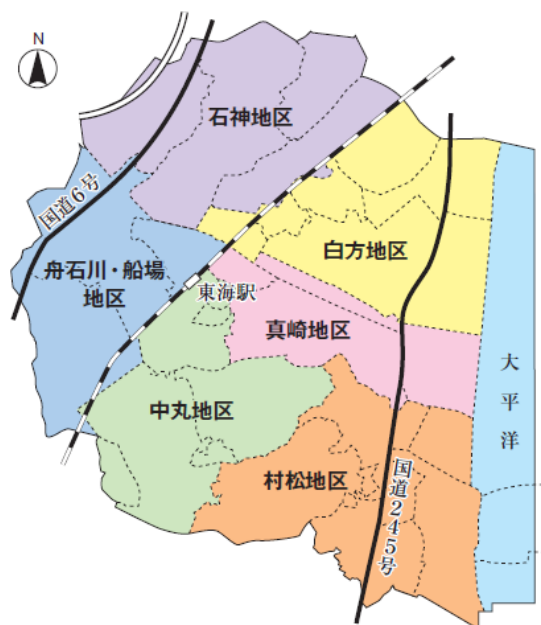
- ・東海村は、次頁の区分図にあるように、白方、村松、中丸、石神、舟石川・船場、真崎の6地区に区分されている。

2. 東海村の地域・交通特性

[平成22年 東海村全域写真(点線はおおむねの行政区域、実線はおおむねの市街化区域を表している)]



[6地区の区分]



②人口

現在(平成26年)：約38,000人(2.5人/世帯)／将来推計(平成32年度)：38,000～40,000人
地区別：白方、舟石川・船場、中丸の3地区で全人口の7割を占めている

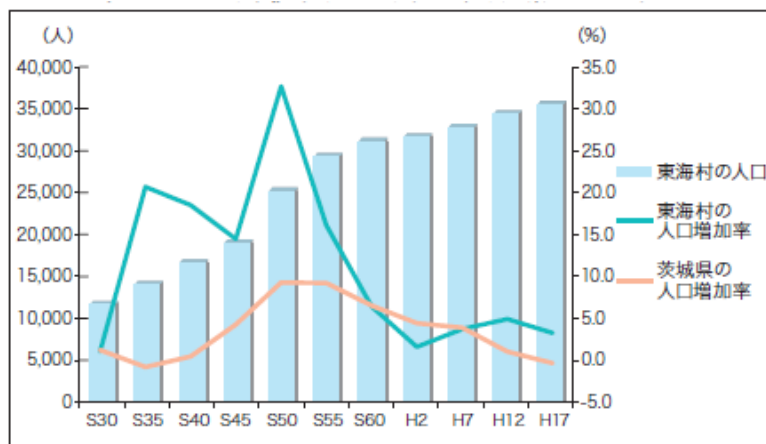
■1. 現在人口・世帯

- ・平成27年1月1日現在の人口は38,467人(男性19,425人、女性19,042人)、世帯数は15,547である。1世帯あたり人員は2.5人である。
- ・総面積が37.48km²であることから、人口密度は1,026人/km²である。

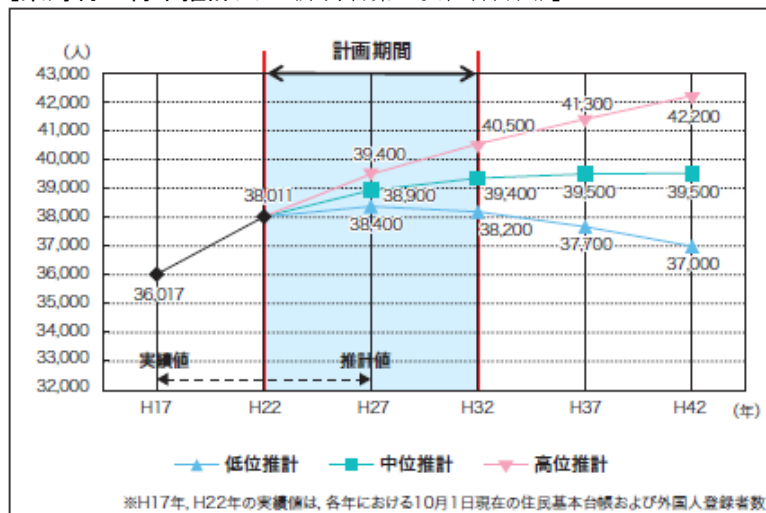
■2. 人口推移及び将来推計人口

- ・長期的な人口推移(国勢調査)をみると、昭和30年の11,583人から、平成17年の35,450人まで増加傾向が続いている。増加率の推移をみると、昭和50年以降は減少傾向にあったが、平成2年から微増傾向に転じている。
- ・平成22年は37,438人、現在人口(平成27年1月1日)は38,467人(平成22年から1,029人/0.3%増加)であることから、平成17年以降も増加傾向にあるといえる。
- ・将来推計人口は、第5次総合計画では、最終年度(平成32年度)の将来人口として、38,000～40,000人を想定している。

[東海村の人口の長期推移(総務省「国勢調査」、茨城県「常住人口調査」/東海村第5次総合計画)]



[東海村の将来推計人口(東海村第5次総合計画)]



■3. 地区別人口

- ・平成27年1月1日現在の地区別人口をみると、白方地区が10,209人で、全人口(38,467人)の26.5%である。
- ・次いで舟石川・船場地区が8,659人(22.5%)、中丸地区が8,056人(20.9%)となっており、白方地区を加えた3地区で26,924人、70.0%を占めている。

[東海村の地区別人口(平成27年1月1日現在)]

No	地区名	世帯数	人 口			(うち外国人)			
			総 数	男	女	世帯数	総 数	男	女
1	白 方	4,092	10,209	5,145	5,064	22	50	23	27
2	村 松	958	2,075	1,087	988	28	36	29	7
3	中 丸	3,125	8,056	4,037	4,019	14	40	19	21
4	石 神	1,927	5,030	2,446	2,584	8	24	14	10
5	舟石川・船場	3,528	8,659	4,361	4,298	11	41	19	22
6	真 崎	1,917	4,438	2,349	2,089	21	32	20	12
	合 計	15,547	38,467	19,425	19,042	104	223	124	99

③人口構成・高齢化状況

現在(平成26年)：15歳未満6,129人(15.9%)、15～64歳(生産年齢人口)23,505人(61.1%)、65歳以上(高齢者人口)8,833人(23.0%)
 高齢化：高齢者がいる世帯4,861(34.5%)／高齢者1人暮らし世帯778(16.0%)／夫婦共に前期高齢者757世帯、夫婦どちらかが後期高齢者214世帯、夫婦共に後期高齢者294世帯

■1. 現在の人口構成

- ・平成27年1月1日現在、15歳未満は6,129人(15.9%)、15～64歳(生産年齢人口)は23,505人(61.1%)、65歳以上(高齢者人口)は8,833人(23.0%)である。
- ・平成26年10月1日現在の茨城県の人口構成割合(茨城県常住人口調査)は、15歳未満が12.9%、15～64歳が61.2%、65歳以上が25.8%である。東海村は県全体と比べて、15歳未満人口の割合が高く、高齢者割合は低い状況にある。

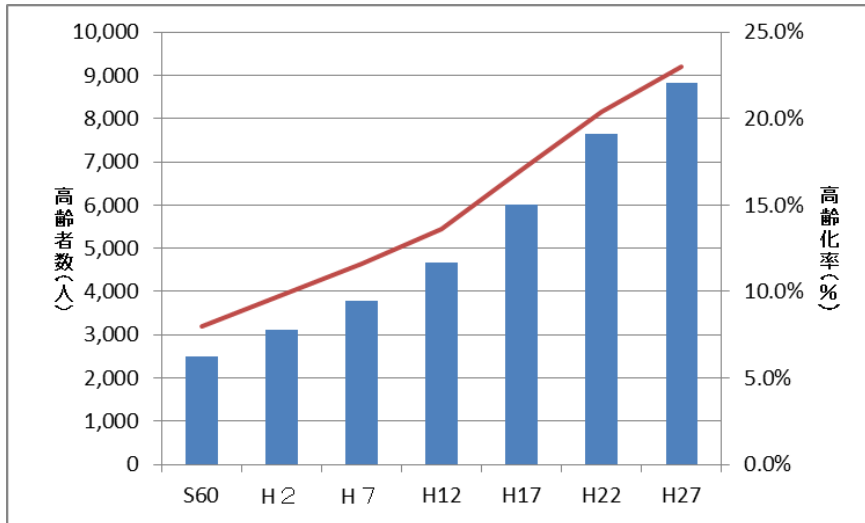
■2. 高齢化状況

- ・現在の高齢者人口のうち、65～74歳(前期高齢者)は5,045人(13.1%)、75歳以上(後期高齢者)は3,788人(9.9%)となっている。
- ・高齢者数(65歳以上人口)・率の推移をみると、昭和60年以降、いずれも増加傾向となっている。平成27年(8,833人)と平成2年(3,101人)を比較すると、5,732人、184.8%と2倍近い。

く増加している。

- ・高齢者数・率の将来推計は、第5次総合計画では、最終年度(平成32年度)の将来人口として、9,400人、高齢化率は23～25%を想定している。

[東海村の高齢者数(65歳以上人口)と高齢化率の推移(S60～H22：国勢調査、H27：住民基本台帳)]



■3. 地区別高齢者数・率

- ・平成27年1月1日現在の地区別の高齢化状況をみると、高齢者数は白方地区が2,357人で最も多く、次いで中丸地区が2,062人である。
- ・高齢化率は、石神地区が26.9%で最も高いが、白方・村松・中丸地区もいずれも23～25%となっている。舟石川・船場地区(20.5%)と真崎地区(19.0%)は比較的低い。

[東海村の地区別高齢者数・率(平成27年1月1日現在)]

No	地区名	老年人口(65歳以上)			高齢化率
		総数	男	女	
1	白方	2,357	1,097	1,260	23.09%
2	村松	491	210	281	23.66%
3	中丸	2,062	965	1,097	25.60%
4	石神	1,308	585	723	26.00%
5	舟石川・船場	1,773	825	948	20.48%
6	真崎	842	368	474	18.97%
	合計	8,833	4,050	4,783	22.96%

■4. 高齢世帯の状況（平成22年国勢調査）

- ・総世帯14,093のうち、65歳以上世帯員がいる世帯は4,861であり、34.5%を占める。
- ・高齢者の男女別内訳は、65歳以上でみると男性3,572人・女性4,071人、75歳以上では男性1,211人・女性1,852人、85歳以上では男性261人・女性637人である。
- ・65歳以上世帯員がいる世帯(4,861)の世帯人員をみると、2人世帯が2,105世帯で43.3%と半数近くを占めている。1人世帯(65歳以上高齢者の1人暮らし)は778世帯で16.0%を占めている。
- ・1人暮らしの高齢者778人のうち、75歳以上が386人、そのうち85歳以上が101人である。
- ・高齢夫婦世帯を夫と妻の年齢別にみると、夫婦共に前期高齢者(65～74歳)の世帯は757、夫婦のどちらかが後期高齢者(75歳以上)の世帯は214、夫婦共に後期高齢者の世帯は294である。

〔東海村の高齢世帯の状況(平成22年国勢調査)〕

65歳以上世帯員がいる世帯と世帯人員の割合					妻が60歳未満	妻が60～64歳	妻が65～69歳	妻が70～74歳	妻が75～79歳	妻が80～84歳	妻が85歳以上	計
総世帯数	65歳以上世帯員がいる世帯											
14,093	世帯人員が1人	778	16.0%	夫が60歳未満	1,110	24	1	—	1	—	—	1,136
	世帯人員が2人	2,105	43.3%	夫が60～64歳	185	220	18	3	—	—	—	426
	世帯人員が3人	959	19.7%	夫が65～69歳	44	320	251	34	3	1	—	653
	世帯人員が4人	460	9.5%	夫が70～74歳	3	39	313	159	14	4	1	533
	世帯人員が5人	257	5.3%	夫が75～79歳	1	2	28	141	90	10	—	272
	世帯人員が6人	211	4.3%	夫が80～84歳	—	—	2	18	80	56	5	161
	世帯人員が7人以上	91	1.9%	夫が85歳以上	—	1	1	1	6	31	16	56
	計	4,861	100.0%	計	1,343	606	614	356	194	102	22	3,237

夫婦共に前期高齢者(65～74歳)の世帯
 夫婦のどちらかが後期高齢者(75歳以上)の世帯
 夫婦共に後期高齢者(75歳以上)の世帯

④通勤・通学状況（平成22年国勢調査）

昼間人口：38,601人、1,163人の流入超過

水戸市・ひたちなか市・日立市間との移動が6～8割を占める

：通勤は3市へ6,882人(76.1%)、3市から7,247人(66.2%)が、通学は3市へ1,051人(85.0%)、3市から243人(84.1%)が通勤・通学をしている

交通手段：自家用車が7～9割を占める／鉄道は村外へ2,491人(24.2%)、村外から742人(6.6%)が利用／乗合バスは村外へ392人(3.8%)、村外から119人(1.1%)が利用

■1. 夜間・昼間人口

- ・夜間人口(総人口)37,438人に対して、昼間人口は38,601人であり、1,163人の流入超過となっている。

■2. 通勤の流動状況

□1. 村外への流動状況

- ・東海村の15歳以上の就業者(17,297人)のうち、村内の通勤者(自宅外)は6,641人、村外への通勤者は9,046人である。
- ・東海村外への通勤者数の内訳は、日立市が2,850人(31.5%)で最も多い。次いで、ひたちなか市が2,461人(27.2%)、水戸市が1,571人(17.4%)であり、この3市で6,882人となり、76.1%を占めている。
- ・他の周辺自治体への通勤者数は、那珂市が803人(8.9%)、常陸太田市が284人(3.1%)、高萩市が36人(0.4%)、北茨城市が22人(0.2%)であり、日立市、ひたちなか市、水戸市を加えた7市への通勤者が全体の88.7%を占めている。
- ・東海村からみて、JR常磐線に沿って北方向の3市(日立市、高萩市、北茨城市)へは2,908人(32.1%)、南方向の2市(水戸市、ひたちなか市)へは4,032人(44.6%)、常陸太田市、那珂市へは1,087人(12.0%)が通勤をしている。

□2. 村内への流動状況

- ・東海村外からの通勤者(15歳以上の就業者)の総数は10,942人である。内訳は、ひたちなか市が3,823人(34.9%)で最も多い。次いで、日立市が1,785人(16.3%)、水戸市が1,639人(15.0%)であり、この3市で7,247人、66.2%を占めている。
- ・他の周辺自治体からの通勤者数は、那珂市が1,238人(11.3%)、常陸太田市が876人(8.0%)、高萩市が90人(0.8%)、北茨城市が85人(0.8%)であり、ひたちなか市、日立市、水戸市を加えた7市からの通勤者が全体の87.2%を占めている。
- ・東海村からみて、JR常磐線に沿って北方向の3市(日立市、高萩市、北茨城市)からは1,960人(17.9%)、南方向の2市(水戸市、ひたちなか市)からは5,462人(49.9%)、常陸太田市、那珂市からは2,114人(19.3%)が通勤をしている。

2. 東海村の地域・交通特性

[東海村の通勤者数と流動状況(平成22年国勢調査)]

(人)

東海村民 (15歳以上) 就業者数	東海村内の就業者数(割合)				東海村外への就業者数(割合)				他自治体からの就業者数(割合)			
	総数				総数	周辺自治体への通勤者数			総数	周辺自治体からの通勤者数		
17,297	8,061	自宅	1,420	17.6%	9,046	水戸市	1,571	17.4%	10,942	水戸市	1,639	15.0%
		自宅外	6,641	82.4%		ひたちなか市	2,461	27.2%		ひたちなか市	3,823	34.9%
						日立市	2,850	31.5%		日立市	1,785	16.3%
						高萩市	36	0.4%		高萩市	90	0.8%
						北茨城市	22	0.2%		北茨城市	85	0.8%
						常陸太田市	284	3.1%		常陸太田市	876	8.0%
						那珂市	803	8.9%		那珂市	1,238	11.3%
						計	8,027	88.7%		計	9,536	87.2%

※東海村内と村外への就業者数の計と村民(15歳以上)就業者数が同一ではないのは就業地不詳者が含まれているため

[東海村外への通勤流動(人)]



[東海村内への通勤流動(人)]



■3. 通学の流動状況

□1. 村外への流動状況

- ・東海村の15歳以上の通学者(1,602人)のうち、村内の通学者は354人、村外への通学者は1,236人である。
- ・東海村外への通学者数の内訳は、水戸市が490人(39.6%)で最も多い。次いで、日立市が346人(28.0%)、ひたちなか市が215人(17.4%)であり、この3市で1,051人となり、85.0%を占めている。
- ・他の周辺自治体への通学者数は、常陸太田市が14人(1.1%)、那珂市が9人(0.7%)、高萩市が4人(0.3%)、北茨城市が3人(0.2%)といずれも少ない。
- ・東海村からみて、JR常磐線に沿って北方向の3市(日立市、高萩市、北茨城市)へは353人(28.5%)、南方向の2市(水戸市、ひたちなか市)へは705人(57.0%)、常陸太田市、那珂市へは23人(1.8%)が通学をしている。

□2. 村内への流動状況

- ・東海村外からの通学者(15歳以上の通学者)の総数は289人である。内訳は、ひたちなか市が150人(51.9%)で最も多く、過半数を占めている。次いで、水戸市が61人(21.1%)、那珂市が33人(11.4%)、日立市が32人(11.1%)であり、この4市で276人、95.5%を占めている。
- ・他の周辺自治体からの通学者数は、常陸太田市が4人(1.4%)、高萩市と北茨城市は0人といずれも少ない。
- ・東海村からみて、JR常磐線に沿って北方向の3市(日立市、高萩市、北茨城市)からは32人(11.1%)、南方向の2市(水戸市、ひたちなか市)からは211人(73.0%)、常陸太田市、那珂市からは37人(12.8%)が通学をしている。

[東海村の通学者数と流動状況(平成22年国勢調査)]

(人)

東海村民 (15歳以上) 通学者数	東海村内 の通学者数	東海村外への通学者数(割合)				他自治体からの通学者数(割合)			
		総数	周辺自治体への通学者数			総数	周辺自治体からの通学者数		
1,602	354	1,236	水戸市	490	39.6%	289	水戸市	61	21.1%
			ひたちなか市	215	17.4%		ひたちなか市	150	51.9%
			日立市	346	28.0%		日立市	32	11.1%
			高萩市	4	0.3%		高萩市	0	
			北茨城市	3	0.2%		北茨城市	0	
			常陸太田市	14	1.1%		常陸太田市	4	1.4%
			那珂市	9	0.7%		那珂市	33	11.4%
			計	1,081	87.5%		計	280	96.9%

※東海村内と村外への通学者数の計と村民(15歳以上)通学者数が同一ではないのは通学地不詳者が含まれているため

[東海村外への通学流動(人)]



[東海村内への通学流動(人)]



2. 東海村の地域・交通特性

■4. 通勤・通学の交通手段

- ・東海村民(15歳以上)の通勤・通学について、村内の通勤・通学者(6,995人)の交通手段は、自家用車が5,113人で最も多く、73.1%を占めている。次いで、自転車(1,090人(15.6%))である。公共交通の利用は、鉄道・電車が28人(0.4%)、乗合バスが21人(0.3%)、ハイヤー・タクシーが11人(0.2%)といずれも1%に満たない利用状況である。勤め先・学校のバスは148人(2.1%)である。
- ・東海村外への通勤・通学者(10,282人)の交通手段は、自家用車が7,629人(74.2%)で最も多い。次いで、鉄道・電車が2,491人(24.2%)、自転車(915人(8.9%))となっている。鉄道以外の公共交通の利用は、乗合バスが392人(3.8%)、ハイヤー・タクシーが7人(0.1%)である。勤め先・学校のバスは46人(0.4%)である。
- ・他の自治体から東海村内への通勤・通学者(11,231人)の交通手段は、自家用車が10,130人で90.2%を占めている。公共交通の利用は、鉄道・電車が742人で6.6%であるが、乗合バス(119人/1.1%)とハイヤー・タクシー(12人/0.1%)は少ない。勤め先・学校のバスは190人(1.7%)である。

[東海村の通勤・通学者数と流動状況、交通手段(平成22年国勢調査)]

(人)

東海村民(15歳以上/自宅外) 就業・通学者数	東海村内の就業・通学者の交通手段				東海村外への就業・通学者の交通手段				他自治体からの就業・通学者の交通手段			
	総数	交通手段別の人数(割合)			総数	交通手段別の人数(割合)			総数	交通手段別の人数(割合)		
17,289	6,995	徒歩だけ	593	8.5%	10,282	徒歩だけ	40	0.4%	11,231	徒歩だけ	11	0.1%
		鉄道・電車	28	0.4%		鉄道・電車	2,491	24.2%		鉄道・電車	742	6.6%
		乗合バス	21	0.3%		乗合バス	392	3.8%		乗合バス	119	1.1%
		勤め先・学校のバス	148	2.1%		勤め先・学校のバス	46	0.4%		勤め先・学校のバス	190	1.7%
		自家用車	5,113	73.1%		自家用車	7,629	74.2%		自家用車	10,130	90.2%
		ハイヤー・タクシー	11	0.2%		ハイヤー・タクシー	7	0.1%		ハイヤー・タクシー	12	0.1%
		オートバイ	115	1.6%		オートバイ	96	0.9%		オートバイ	124	1.1%
		自転車	1,090	15.6%		自転車	915	8.9%		自転車	396	3.5%
		その他	89	1.3%		その他	102	1.0%		その他	118	1.1%
		計	7,208	103.0%		計	11,718	114.0%		計	11,842	105.4%

※利用交通手段は複数回答のため、就業・通学者の総数と交通手段8区分の合計は一致しない

⑤産業動向

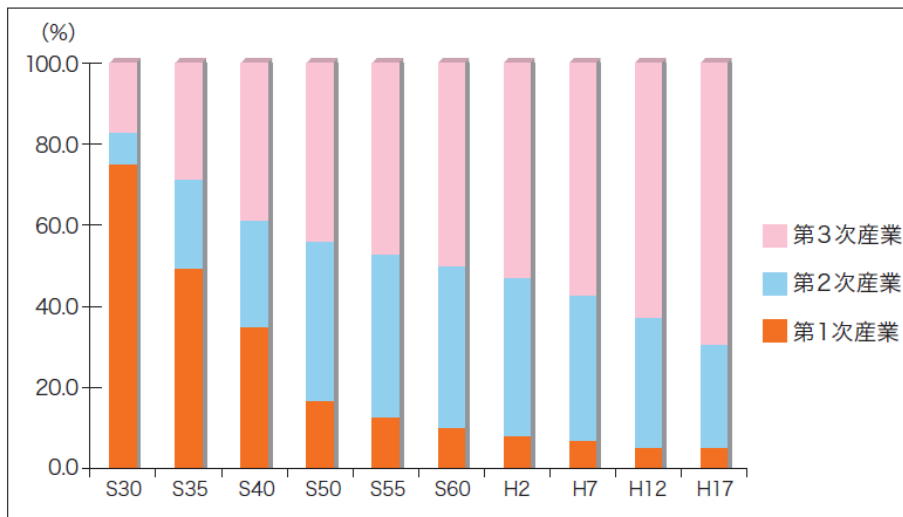
**就業構造(平成22年)：第1次産業539人(3.1%)、第2次産業4,224人(24.4%)、
第3次産業12,534人(72.5%)**

工業事業所数(平成22年)：48事業所

■1. 就業構造

- ・東海村の就業構造は、第1次産業の割合が減少傾向にあり、第3次産業の割合が増加傾向にある。平成17年の就業者数は、第1次産業が896人(5.3%)、第2次産業が4,273人(25.3%)、第3次産業が11,698人(69.4%)、合計16,867人である。
- ・平成22年の就業者数は、第1次産業が539人(3.1%)、第2次産業が4,224人(24.4%)、第3次産業が12,534人(72.5%)、合計17,297人でことから、平成17年以降も、第1次産業が減少し、第3次産業が増加傾向にあるといえる。

〔東海村の人口の長期推移(総務省「国勢調査」、茨城県「常住人口調査」/東海村第5次総合計画)〕



■2. 事業所数 (工業統計調査)

- ・東海村内の工業事業所数(従業者4人以上)の推移をみると、平成13年が62、平成16年が57、平成19年が58、平成22年が48と微減傾向にある。

⑥地域施設

東海駅を中心としたエリアに商業施設(4)・公共施設が比較的集積／総合病院は2施設、高校は1校／周辺自治体に集客施設／事業所は東側の海岸沿いと西側の国道6号に集中

■1. 商業施設

- ・東海村内の商業施設は、舟石川駅東4丁目(東海駅前)にイオン東海店、東海3丁目にカスミ・フードスクエア舟石川店、村松北2丁目にカスミ・FOOD OFFストッカー東海店、村松北1丁目にステーションコム東海店がある。
- ・東海村から比較的近い隣接自治体には、カインズホーム日立店(日立市留町字前川)、ひた

2. 東海村の地域・交通特性

ち海浜公園に隣接して、ジョイフル本田ニューポートひたちなか店(ひたちなか市新光町)周辺に商業施設が立地している。

■2. 医療施設

- ・総合病院は、照沼に茨城東病院がある(診療科目：内科、呼吸器科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科)。
- ・村松には村立東海病院がある(診療科目：内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻いんこう科、婦人科、リハビリテーション科、小児歯科、歯科、歯科口腔外科)。
- ・東海村内の診療所は19(平成23年現在)ある。

■3. 公共・教育施設

- ・福祉・文化・スポーツ活動関連の主な施設は以下のとおりである(各地区のコミュニティセンターを除く)。

なごみ東海村総合支援センター※¹(舟石川駅東3丁目)／東海村中央公民館(船場)／
総合福祉センター「絆」※²(村松)／東海村立図書館(船場)／
東海村総合体育館(船場)／東海スイミングプラザ(船場)／東海村テニスコート(船場)／
東海文化センター(船場)／東海ステーションギャラリー(舟石川駅西1丁目)／
東海村研究交流プラザ(白方)／東海村姉妹都市交流会館(東海3丁目)

このうち、東海駅に近い船場地区に、中央公民館、図書館、総合体育館、スイミングプラザ、テニスコート、文化センターが集積している。

※1. なごみ東海村総合支援センター

高齢者の介護予防支援等を行う『地域包括支援センター』、障がい者の就労支援や障がい児の保育事業等を行う『地域生活支援センター』、幼児・児童・生徒の発達支援等を行う『発達支援センター』の3つの機能を有する複合施設。

※2. 総合福祉センター「絆」

福祉と保健の一元的・総合的サービスを提供する拠点として、1：社会福祉協議会の活動拠点となる「地域福祉センター」2：高齢者のレクリエーション、生きがいづくりの場としての「高齢者センター」3：在宅障がい者の生活を支援する「障害者センター」4：児童の健全育成と子育てを支援する「児童センター」5：住民の皆さんの健康増進を図る「保健センター」の5つの機能を一か所に集約した拠点施設。

- ・東海村には、小学校は6校、中学校は2校、高校は1校(茨城県立東海高等学校)。
- ・県立東海高校の生徒数は、平成2年度の888人をピークに減少傾向にあり、平成22年度は453人である(茨城の学校統計/学校基本調査結果報告書)。

■4. 集客施設

- ・東海村に隣接する広域的な集客施設は、ひたち海浜公園(ひたちなか市馬渡)、笠松運動公園(ひたちなか市佐和)、道の駅 日立おさかなセンター(日立市みなと町)などがある。

■5. 事業所(工場)

- ・東海村には、原子力関係機関を中心に、主に下記の事業所が立地している。

[JR常磐線の東側(海岸沿い)]

日本原子力発電／日本原子力研究開発機構原子力科学研究所／

日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所／東京電力常陸那珂火力発電所／

日立電線ロジック／原子燃料工業／河村製作所／日立電器製作所

[JR常磐線の西側(国道6号沿線)]

三菱原子燃料／三菱マテリアル・日本原子力研究開発機構(那珂市)

2. 東海村の地域・交通特性

[東海村の主な施設分布]



(2) 交通特性

①道路交通

南北方向に国道・県道が整備されており、交通量も多い

■1. 幹線道路の状況

- ・南北方向の幹線道路は、東から国道245号、県道284号(豊岡須和停車場線)、県道358号(日立東海線)、国道6号が、いずれも南西から北東方向に通っている。
- ・東西方向の幹線道路は、北から村道石神外宿原電線(原電通り)、県道62号(常陸那珂港山方線/原研通り)、東海駅富士山線(駅西大通り)・東海駅五反田線(駅東大通り)、駈上り動燃線(動燃通り)の各道路が、南北方向の幹線道路をつないでいる。
- ・西側の那珂市との行政区境に、常磐自動車道が通っている。

■2. 道路の整備状況 (茨城県道路現況調書, 道路台帳/東海村統計書 平成23年版)

- ・東海村内の道路の整備状況は、平成21年度現在で総延長が370,976m、舗装率は80.5%である。
- ・内訳は、高速道が1,421m(舗装率100%)、国道が9,826m(同100%)、県道が15,939m(同100%)、村道が343,790m(同79.0%)である。

■3. 交通量

- ・国道6号と国道245号は、24時間当たり(夏期)の交通量がいずれも20,000台を超えており、交通量が多い。特に大型自動車がいずれも4,000台以上通過している。
- ・県道284号と県道358号も12,000～13,000台であり、東海村を南北方向に移動する交通量が多い。

2. 東海村の地域・交通特性

[東海村の道路交通体系整備の方針図(東海村都市計画マスタープラン)]



[東海村の交通量調査結果(平成22年度自動車排ガス調査結果報告書/東海村統計書 平成23年版)]

路線名(調査地点)	交通量			
	総数	動力付二輪車類	普通自動車	大型自動車
国道6号線(レタスカフェ前)	24,475	212	19,629	4,634
県道豊岡佐和停車場線(琥珀前)	13,333	125	12,506	702
県道常陸那珂港山方線(東海地区交番隣)	11,619	147	11,061	411
国道245号線(村松コミュニティセンター前)	22,161	190	17,885	4,086
常磐自動車道(外宿浄水場脇)	24,775	90	18,291	6,394
路線名(調査地点)	交通量			
	総数	動力付二輪車類	普通自動車	大型自動車
県道日立東海線(JAにじのなか前)	12,339	128	11,659	552
村道駆上り動燃線(文化センター前)	14,037	132	13,248	657
村道遠間庚塚線(第7消防分団車庫前)	11,991	124	11,488	379
村道石神外宿原電線(第6消防分団車庫前)	8,671	67	7,440	1,164

(平成22年8・9月調査/24時間連続測定による一日の上下線の総計/単位:台)

②私的交通(自家用車・バイク)

車両台数：乗用車は増加傾向にあり、1世帯1台以上(1.15台/世帯/平成22年)の保有状況
運転免許：26,291人(平成25年)、保有率83%(男性90%、女性76%)、高齢者:所有者5,300人・未所有者3,200人(推定)

交通事故：235件(死者0人、傷者309人/平成22年)／1万人あたり死傷者数は平成2年の1.8倍

■1. 車両保有台数(関東運輸局茨城陸運支局, 東海村税務課/東海村統計書 平成23年版)

- ・東海村の車両台数(乗用)の推移をみると、平成2年が11,417台、平成7年が14,238台、平成12年が15,713台、平成17年が16,326台、平成22年が16,200台であり、一貫して増加傾向にある。平成22年は平成2年から4,783台、41.9%の増加となっている。
- ・平成22年の車両台数は、乗用が16,200台(普通車7,097台、小型車9,103台)、小型二輪車が578台、原動機付自転車(モト車)が1,327台である。
- ・平成22年の世帯数(国勢調査)が14,113であることから、1世帯あたりの保有乗用車数は、1.15台となる。

■2. 運転免許保有状況(交通白書 平成25年版/茨城県警察HP)

- ・東海村民の運転免許保有者数は、平成25年12月31日現在で26,291人(男性14,364人、女性11,927人)である。
- ・平成26年1月1日現在の16歳以上人口(住民基本台帳)が31,803人(男性16,034人、女性15,769人)であることから、免許保有率は村全体で82.7%、男性は89.6%、女性は75.6%となる。
- ・茨城県全体(平成25年12月31日現在)の運転免許保有者数に占める高齢者(65歳以上)の割合は20.1%で、前期高齢者(65～74歳)が14.5%、後期高齢者(75歳以上)が5.6%である。この割合から、東海村の高齢者の免許保有者数は5,284人(前期高齢者3,812人、後期高齢者1,472人)と推定される。
- ・平成26年1月1日現在の高齢者人口は8,526人(前期高齢者4,903人、後期高齢者3,623人)であることから、高齢者の運転免許未所有者は3,242人(前期高齢者1,091人、後期高齢者2,151人)と推定される。

■3. 交通事故発生状況(東海村環境政策課/東海村統計書 平成23年版)

- ・東海村の交通事故発生件数の推移をみると、平成2年が148件、平成7年が267件、平成12年が268件、平成17年が258件、平成22年の235件であり、平成2年から7年にかけて増加したが、それ以後は横ばいから減少傾向にある。人口1万人あたりの死傷者数でみると、平成2年の46.9人から、平成22年は82.8人と1.8倍となっている。
- ・平成22年の死傷者数は、死者0人、傷者309人である。死傷者の内訳は、歩行者10人・自転車32人、子ども(0～15歳)24人・老人27人である。
- ・平成22年の15歳未満人口が6,278人、65歳以上人口が7,643人(国勢調査)であることから、死傷者数の割合は、子ども、老人とも0.4%となる。

③公共交通

鉄道：JR常磐線・東海駅／上下線とも約50本（5～23時台/平日）の運行
高速バス：原子力機構前～東海駅～東京駅／東京行6本・東海行7本（平日）
空港バス：成田空港行（9往復）／羽田空港行（4.5往復）／茨城空港行（1往復）
路線バス：須和間線（東海駅～フローレスタ須和間、4往復/平日）
 笠松線（東海駅～笠松運動公園～水戸市、水戸行2本・東海行5本/平日）
タクシー：3社／企業送迎バス：主に東海駅～各事業所間の往復運行（朝昼夜）
デマンドタクシー：東海村民対象／東海村内（自宅や指定場所～目的地）／月～土曜日／
 8:00～16:30（土曜日のみ16:00）・30分間隔／1回300円

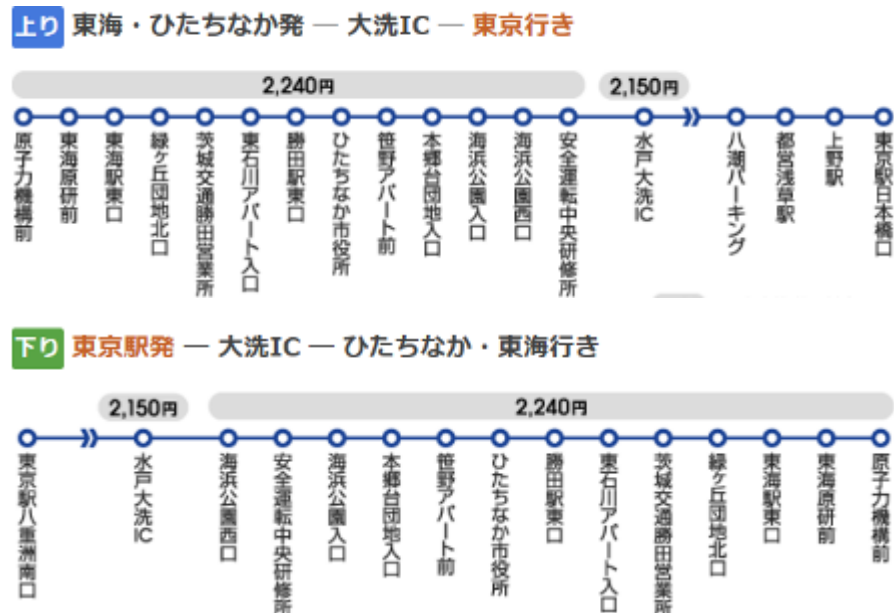
■1. 鉄道

- ・東海村には、上野駅（東京都）と仙台駅（宮城県）を結ぶJR常磐線が村内のほぼ中央部を運行している。
- ・村内の駅は東海駅である。現在（平成27年2月）、平日は5～23時台まで、上り（勝田・水戸・上野方面）は49本（小山行含/内、特急は7本）、下り（日立・いわき・竜田方面）は48本（内、特急は6本）である。
- ・東海駅からの主な駅間の普通切符運賃（大人）は、以下のとおりである。
 東海駅～佐和駅190円／～勝田駅200円／～水戸駅240円／～土浦駅1,140円／～上野駅2,270円
 東海駅～大甕駅200円／～日立駅320円／～大津港駅840円／～いわき駅1,320円／～竜田駅1,940円

■2. 高速バス

- ・東海村には、茨城交通が運行している東京駅行の高速バス「勝田・東海線」がある。
- ・原子力機構前を起終点として、東海駅東口、勝田駅を経由して、東京駅とを結んでいる。
- ・現在（平成27年2月）の運行時間帯・本数（原子力機構前～東京駅）は、東京駅行は原子力機構前6～16時台発で平日6本・土日祝日が7本、原子力機構前行は東京駅10～20時台発で平日・土日祝日とも7本である。
- ・運賃（大人/片道）は2,240円である。

〔高速バス「勝田・東海線」の運行経路と運賃（大人/片道）（茨城交通HP）〕



[高速バス「勝田・東海線」の時刻表]

(上り)

停留所名	毎日	毎日	毎日	土日祝日	毎日	毎日	毎日	毎日
原子力機構前	-	6:10	7:10	-	8:10	9:30	13:30	16:00
東海原研前 P	-	6:14	7:14	-	8:14	9:34	13:34	16:04
東海駅東口1番のりば	-	6:20	7:20	-	8:20	9:40	13:40	16:10
緑ヶ丘団地北口	-	6:26	7:26	-	8:26	9:46	13:46	16:16
茨城交通勝田営業所 P	5:34	6:34	7:34	8:04	8:34	9:54	13:54	16:24
東石川アパート入口	5:36	6:36	7:36	8:06	8:36	9:56	13:56	16:26
勝田駅東口4番のりば	5:40	6:40	7:40	8:10	8:40	10:00	14:00	16:30
ひたちなか市役所	5:44	6:44	7:44	8:14	8:44	10:04	14:04	16:34
笹野アパート前	5:46	6:46	7:46	8:16	8:46	10:06	14:06	16:36
本郷台団地入口	5:48	6:48	7:48	8:18	8:48	10:08	14:08	16:38
海浜公園入口 P	5:51	6:51	7:51	8:21	8:51	10:11	14:11	16:41
海浜公園西口	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	16:43
安全運転中央研修所	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	14:20
水戸大洗インター P	6:12	7:12	8:12	8:42	9:12	10:32	14:43	17:02
八潮パーキング	7:32	8:32	9:32	10:02	10:32	11:52	16:03	18:22
都営浅草駅	8:16	9:16	10:16	10:46	11:16	12:36	16:34	18:53
上野駅	8:21	9:21	10:21	10:51	11:21	12:41	16:39	18:58
東京駅日本橋口	8:36	9:36	10:36	11:06	11:36	12:56	16:54	19:13

(下り)

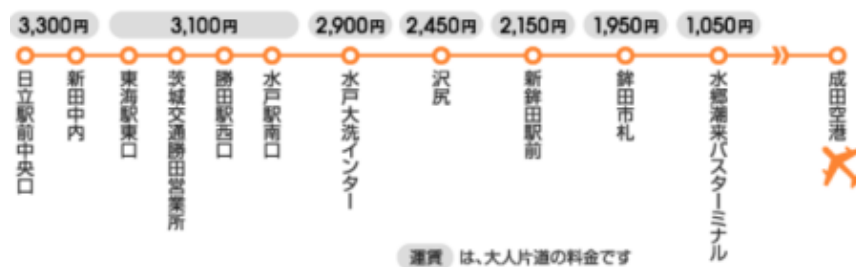
停留所名	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	土日祝日	毎日	毎日
東京駅八重洲南口(乗車のみ)	10:30	15:30	16:40	17:30	18:30	19:00	19:40	20:50
水戸大洗インター P	12:06	17:06	18:16	19:06	20:06	20:36	21:16	22:26
海浜公園西口	12:22	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
安全運転中央研修所	12:24	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
海浜公園入口 P	12:30	17:21	18:31	19:21	20:21	20:51	21:31	22:41
本郷台団地入口	12:33	17:24	18:34	19:24	20:24	20:54	21:34	22:44
笹野アパート前	12:35	17:26	18:36	19:26	20:26	20:56	21:36	22:46
ひたちなか市役所	12:37	17:28	18:38	19:28	20:28	20:58	21:38	22:48
勝田駅東口	12:41	17:32	18:42	19:32	20:32	21:02	21:42	22:52
東石川アパート入口	12:45	17:36	18:46	19:36	20:36	21:06	21:46	22:56
茨城交通勝田営業所 P	12:47	17:38	18:48	19:38	20:38	21:08	21:48	22:58
緑ヶ丘団地北口	12:55	17:46	18:56	19:46	20:46	-	21:56	23:06
東海駅東口	13:01	17:52	19:02	19:52	20:52	-	22:02	23:12
東海原研前 P	13:07	17:58	19:08	19:58	20:58	-	22:08	23:18
原子力機構前	13:11	18:02	19:12	20:02	21:02	-	22:12	23:22

■3. 空港バス

- ・東海村には、茨城交通が運行している成田空港、羽田空港、茨城空港の各空港へアクセスする空港バスがある。いずれの路線も東海村内は、東海駅東口が乗降場所となっている。
- ・現在(平成27年2月)の運行時間帯・本数(全日)は、以下のとおりである。
 成田空港線：空港行(東海駅4～15時台発)9本、東海駅行(空港7～20時台発)9本
 羽田空港線：空港行(東海駅3～6時台発)4本、東海駅行(空港13～20時台発)5本
 茨城空港線：空港行(東海駅6時台発)1本、東海駅行(空港12時台発)1本
- ・運賃(大人/片道)は、成田空港行は3,100円、羽田空港行は3,800円、茨城空港行は1,230円である。

[空港の運行経路と運賃(大人/片道)(茨城交通HP)]

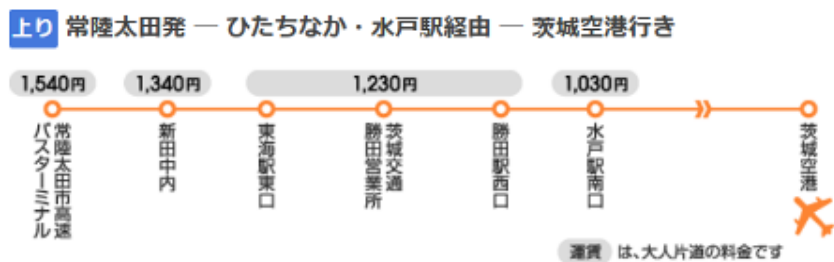
上り 日立駅発 — ひたちなか・水戸駅経由 — 成田空港行き



上り 日立駅発 — ひたちなか・水戸駅・石岡駅経由 — 羽田空港行き



2. 東海村の地域・交通特性



[空港バスの時刻表] ※茨城空港線のみ要変更

①羽田空港⇄日立駅 (上り)

停留所名	電鉄	茨交	京急	電鉄	茨交
日立駅中央口5番のりば	2:45	3:30	4:30	5:30	-
新田中内 P	3:05	3:50	4:50	5:50	-
東海駅東口1番のりば	3:15	4:00	5:00	6:00	-
茨城交通勝田営業所 P	3:25	4:10	5:10	6:10	8:50
勝田駅西口	3:35	4:20	5:20	6:20	9:00
水戸駅南口4番のりば	3:55	4:40	5:40	6:40	9:25
水戸大洗インター P	4:10	4:55	5:55	6:55	9:40
石岡(常磐道) P	4:35	5:20	6:20	7:20	10:05
↓	↓	↓	↓	↓	↓
羽田空港第2ターミナル	5:55	7:00	8:00	9:20	12:00
羽田空港第1ターミナル	6:00	7:05	8:05	9:25	12:05
羽田国際線ターミナル	6:10	7:15	8:15	9:35	12:15

(下り)

停留所名	電鉄	茨交	電鉄	茨交	京急
羽田国際線ターミナル1番	13:15	14:45	16:35	18:35	20:10
羽田空港第2ターミナル4番	13:25	14:55	16:45	18:45	20:20
羽田空港第1ターミナル4番	13:30	15:00	16:50	18:50	20:25
↓	↓	↓	↓	↓	↓
石岡(常磐道) P	14:55	16:25	18:25	20:25	21:45
水戸大洗インター P	15:20	16:50	18:50	20:50	22:10
水戸駅南口	15:35	17:10	19:05	21:00	22:20
勝田駅西口	15:55	17:35	19:25	21:15	22:35
茨城交通勝田営業所 P	16:05	17:45	19:35	21:20	22:40
東海駅東口	16:15	17:55	19:45	21:30	22:50
新田中内 P	16:30	18:10	19:55	21:40	23:00
日立駅中央口	17:00	18:35	20:15	22:00	23:20

②成田空港⇄日立駅 (上り)

停留所名	電鉄	茨交	千葉	電鉄	茨交	茨交	千葉	茨交	千葉
日立駅中央口5番のりば	4:10	5:00	5:30	7:30	9:00	10:30	12:10	13:30	15:00
新田中内 P	4:33	5:23	5:53	7:55	9:25	10:55	12:35	13:55	15:25
東海駅東口1番のりば	4:45	5:35	6:05	8:15	9:41	11:11	12:51	14:11	15:41
茨城交通勝田営業所 P	4:58	5:56	6:18	8:40	9:54	11:34	13:04	14:24	15:54
勝田駅西口	5:06	6:03	6:26	8:49	10:03	11:43	13:13	14:33	16:03
水戸駅南口4番のりば	5:29	6:23	6:49	9:13	10:27	12:07	13:37	14:57	16:27
水戸大洗インター P	5:44	6:35	7:04	9:31	10:44	12:24	13:54	15:14	16:44
沢尻	5:57	6:48	7:17	9:46	10:59	12:39	14:09	15:29	16:59
新幹線駅前 P	6:13	7:03	7:33	10:06	11:16	12:56	14:26	15:46	17:16
鉾田市札 P	6:25	7:15	7:45	10:18	11:28	13:08	14:38	15:58	17:28
水郷潮来バスターミナル P	6:56	7:46	8:16	10:47	11:57	13:37	15:07	16:27	17:57
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
成田空港第2ターミナル	7:23	8:13	8:43	11:13	12:23	14:03	15:33	16:53	18:23
成田空港第1ターミナル	7:28	8:18	8:48	11:18	12:28	14:08	15:38	16:58	18:28

(下り)

停留所名	千葉	茨交	千葉	電鉄	電鉄	千葉	茨交	茨交	電鉄
成田空港第2ターミナル	7:30	9:10	10:20	14:25	15:55	17:05	18:25	19:35	20:45
成田空港第1ターミナル	7:35	9:15	10:25	14:30	16:00	17:10	18:30	19:40	20:50
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
水郷潮来バスターミナル P	8:00	9:40	10:50	14:55	16:25	17:37	18:55	20:05	21:15
鉾田市札 P	8:29	10:09	11:19	15:24	16:54	18:08	19:24	20:33	21:43
新幹線駅前 P	8:41	10:21	11:31	15:36	17:06	18:20	19:36	20:45	21:55
沢尻	8:58	10:38	11:48	15:53	17:23	18:38	19:53	20:59	22:09
水戸大洗インター P	9:12	10:52	12:02	16:07	17:37	18:55	20:07	21:13	22:23
水戸駅南口	9:29	11:09	12:19	16:24	17:54	19:14	20:24	21:27	22:37
勝田駅西口	9:48	11:28	12:38	16:43	18:13	19:33	20:43	21:43	22:53
茨城交通勝田営業所 P	9:56	11:36	12:46	16:51	18:21	19:41	20:51	21:51	23:01
東海駅東口	10:08	11:48	12:58	17:03	18:33	19:53	21:03	22:10	23:10
新田中内 P	10:23	12:03	13:13	17:18	18:48	20:08	21:28	22:22	23:32
日立駅中央口	10:46	12:26	13:36	17:41	19:11	20:31	21:51	22:41	23:41

③茨城空港⇄常陸太田市 (上り)

停留所名	茨交	茨交	茨交	茨交
常陸太田市高速バスターミナル P	6:50	-	-	-
新田中内 P	7:07	-	-	-
東海駅東口1番のりば	7:23	-	-	-
茨城交通勝田営業所 P	7:49	-	-	-
勝田駅西口	7:58	-	-	-
水戸駅南口4番のりば	8:40	11:10	13:50	17:20
↓	↓	↓	↓	↓
茨城空港	9:20	11:50	14:30	18:00

(下り)

停留所名	茨交	茨交	茨交	茨交
茨城空港 2番のりば	10:15	12:35	15:20	19:00
↓	↓	↓	↓	↓
水戸駅南口	10:55	13:15	16:00	19:40
勝田駅西口	-	-	16:27	-
茨城交通勝田営業所 P	-	-	16:36	-
東海駅東口	-	-	16:52	-
新田中内 P	-	-	17:08	-
常陸太田市高速バスターミナル P	-	-	17:25	-

■4. 路線バス

- 東海村内の路線バスは、以前は7路線あったが、現在は2路線(須和間線、笠松線)となっており、いずれも茨城交通が運行している。なお、2路線とも公的補助は受けていない。

□1. 須和間線

- 須和間線は、東海駅東口と須和間にある住宅団地(フローレスタ須和間)を結ぶ路線であり、運行経路は以下のとおりである。

東海駅東口～東海文化センター入口～中丸小学校入口～勝木田団地入口～

東海村総合福祉センター入口～押延交差点～押延～緑ヶ丘団地北口～緑ヶ丘団地南口～

須和間宿入口～南台南～南台中央～南台北～フローレスタ南(片道5.5km/10分)

- ダイヤは以下のとおりである。

東海駅東口→フローレスタ南：平日4本(10:30発、12:45発、16:35発、18:10発)

土日祝日3本(10:30発、16:35発、18:10発)

フローレスタ南→東海駅東口：平日4本(7:10発、9:35発、13:10発、16:50発)

土日祝日3本(9:35発、13:10発、16:50発)

- 運賃は距離制の運賃体系であり、初乗り170円、最高運賃は310円である。

□2. 笠松線

- ・笠松線は、東海駅西口から笠松運動公園を経由し、ひたちなか市内、水戸市内を通り、水戸駅または茨大前営業所を結ぶ路線（2系統）であり、運行経路は以下のとおりである。
東海駅前（西口）～舟石川～東海橋～内宿入口～大山台～東海団地入口～石神二軒茶屋～舟石川入口～舟石川西～笠松～笠松運動公園前～孫目～（ひたちなか市内）～（水戸駅市内）～水戸駅北口（片道17.1km/32分）～茨大前営業所（片道22.3km/54分）
- ・ダイヤは以下のとおりである（平日のみの運行）。
東海駅前→水戸駅：1本（6:30発）／東海駅前→茨大前営業所：1本（8:15発）
茨大前営業所→東海駅前：2本（16:37発、18:05発）
水戸駅→東海駅前：3本（7:15発、16:57分、18:25発）※他に笠松運動公園止りの便が6本
- ・運賃は距離制の運賃体系であり、初乗り170円、最高運賃は水戸駅間は770円、茨大前営業所間は930円である。

[東海村の路線バスの運行ルート図]



■5. タクシー

- ・現在、東海村内のタクシー事業者は3社(サンタクシー、東海タクシー、常東タクシー)、車両保有台数は3社合計で約45台である。
- ・東海駅から原子力関係機関等への移動に利用されていると思われる(東海駅東口～原研正門前：約3km、運賃約1,500円)。

■6. 企業送迎バス

- ・原子力関係機関等の通勤者用に、各事業所と東海駅や勝田駅、東海村内の寮を結ぶ送迎バスを運行(バス事業者へ委託)している。
- ・各事業所によって、朝(主に7時台)・日中・夜の一定時間帯に運行している。

[東海村内事業所の送迎バスの運行状況]

		日本原子力研究開発機構	東京電力常陸那珂火力発電所	日本原子力発電(株)	原子燃料工業(株)	三菱原子燃料(株)
バス		自社所有	委託	自社所有 (中型2台、マイクロ1台)	委託 (マイクロ1台)	自社所有 (マイクロ1台)
ドライバー		委託	委託	自社社員	委託	自社社員
運行頻度	朝	○	○	○	○	○
	昼 (事業所⇄東海駅)	○	×	○ (事業所⇄東海駅、寮)	○ (事業所⇄東海駅、勝田駅)	×
	夜	○	○	○	○	○

■7. デマンドタクシー

- ・東海村では、平成18年4月よりデマンドタクシー「あいのりくん」を運行している。

□1. 運行対象者(「利用登録票」参照)

- ・東海村居住者(年齢制限等はなし)。
- ・事前の登録手続きが必要となっている。登録に際しては、住所・氏名・連絡先などに加えて、運転手に事前に把握しておいてもらいたい事項(庭まで車が入ってほしくないの道路路上で乗降するなど)を記載することができる。登録後に登録証を発行している。

□2. 運行システム・利用方法(「利用案内・サービス案内パンフレット」参照)

- ・タクシー車両を使用(車いすも乗降可能)。平日は6台、土曜日は4台で運行している。
- ・運行範囲は東海村内であり、自宅や指定場所から目的地まで利用可能である。
- ・運行日は月～土曜日で、日祝日と年末年始(12月29日～1月3日)は運休となっている。
- ・運行時間・便が設定されており、月～金曜日は8:00～16:30、土曜日は8:00～16:00の間で、30分間隔(00分・30分)で運行している(乗合のため、予約時間より遅れる場合がある)。
- ・利用料金(運賃)は、1回300円で利用券で支払いをする(利用券は東海村役場と総合福祉センターで購入可能)。障がい者と要介護認定者、6歳未満児童及び同乗の保護者(1名)は100円となっている。
- ・予約は電話またはFAXで行う。予約は2日前から利用時間の30分前まで受け付けており、帰りの便も同時に予約をすることができる。受付担当のオペレーターは、平日は3人、土曜日は2人である。

□3. 運営形態

- ・運営形態は、東海村と東海村社会福祉協議会が委託契約を締結し、社会福祉協議会内の情報センターが予約・配車を行っている。運行は、社会福祉協議会との賃貸借契約によって、タクシー組合(東海駅構内ハイヤー組合／村内タクシー事業者3社：常東タクシー、東海タクシー、サントタクシー<平成27年4月以降>)が行っている。
- ・予約・配車は、NTT東日本の「デマンド交通システム」を使用している。
- ・平成25年度の運行経費は約55,000千円、運賃収入は約10,000千円、東海村の公的負担額は約45,000千円となっている。

[デマンドタクシーの利用登録票(東海村HP)]

東海村デマンドタクシー

利用登録票

住 所	東海村			区名	
フリガナ		性別	男・女	生年月日	M T S H 年 月 日
世帯主名					
ご自宅の電話番号	029 - -	世帯主の携帯番号	- -		
世帯主との続柄	フリガナ ご 家 族 名	性別	生年月日 (明治 大正 昭和 平成) M T S H	お持ちの方は 携帯電話番号 (緊急時・外出先からの連絡用)	
記入例 母	トウ カイ ハナ コ 東 海 花 子	男・女 男・女	10 年 11 月 1 日 M T S H	090-1234-5678	
		男・女	年 月 日 M T S H	- -	
		男・女	年 月 日 M T S H	- -	
		男・女	年 月 日 M T S H	- -	
		男・女	年 月 日 M T S H	- -	
		男・女	年 月 日 M T S H	- -	

運転手に知っておいてもらいたい事項(例：庭まで入ってほしくないの、道路までにしてほしい)

★上記登録者の中で、次に該当する方は、氏名を記入し、要件の該当欄に○をつけてください。

氏 名	要 件
	1 身体障がい者 2 精神障がい者 3 知的障がい者 4 要介護認定者

★この登録により取得した個人情報は、デマンドタクシーの運行以外の目的に使用されることはありません。

なお、記入内容の確認のため、庁内の担当課に照会する場合があります。

★利用登録票は、役場まちづくり国際化推進課、社会福祉課、介護福祉課、社会福祉協議会でもお預かりします。

★ご不明な点は、役場まちづくり国際化推進課(電話：282-1711)へご連絡ください。

〔デマンドタクシーの利用・サービス案内(東海村HP)〕

東海村デマンドタクシー 「あいのりくん」サービス案内

電話またはファクシミリで利用の予約を入れてください。ご自宅や指定場所(村内)までお迎えに行き、希望する目的地(村内)へお送りします。

デマンドタクシーは乗り合いタクシーのため、送迎の時間は多少前後します。



東海村デマンドタクシー 「あいのりくん」利用のご案内

ご案内

東海村デマンドタクシー「あいのりくん」は、公共施設や医療機関等への外出が容易にできない住民の方の交通手段を確保し、村内商業の活性化と環境に配慮したまちづくりを推進することを目的とした、乗り合いタクシー方式による送迎サービスです。
運行範囲は村内で、村内にお住まいの方などにも、ご自宅や指定場所から目的地(戸口から戸口)まで、電話予約等によりご利用になれます。

事前登録のお願い

「あいのりくん」を利用する方には「利用登録票」による事前登録をお願いしています。
なお、登録は随時受け付けていますが登録には10日ほどのお時間をいただいています。

●登録の方法

- 裏面の「東海村デマンドタクシー利用登録票」に必要事項を記入し、①郵送、②ファクシミリ、③持参のいずれかの方法でご提出ください。
- ☆郵送の場合は... 裏面の登録票を切り取り、封筒に入れて封筒を作成し、投函(切手不要)してください。
- ☆ファクシミリの場合は... 東海村役場 まちづくり推進課へ送付してください。(ファクシミリ番号:029-287-0317)
- ☆持参の場合は... 東海村役場(まちづくり推進課、社会福祉課、介護福祉課)または東海村社会福祉協議会(総合福祉センター「絆」)ボランティア市民活動センター「えがね」でお預かりします。

ご利用上の注意

- ①事前利用登録が必要です。(上記「事前登録のお願い」をご参照ください)
- ②利用する際は、電話またはファクシミリで予約を入れ、ご自宅や指定場所等でお待ちください。
なお、運行範囲は、東海村内のみとなります。
- ③「あいのりくん」は、「あいのりくん」時刻表を目標として運行します。
- ④ご利用の予約は、利用予定の30分前までに「東海村デマンドタクシー情報センター」へご連絡ください。

電話 306-2828
ファクシミリ 287-1919

- ※予約は利用日の2日前から受け付けています。
- ※車いすをご利用の方は1週間前まで予約を受け付けています。
- ※予約を変更(キャンセル等)したい場合は、直前にご連絡ください。
- ⑤「あいのりくん」は、通常のタクシーと異なり、複数の利用者と乗り合わせでのご利用となりますので、時間にご乗込みください。
- また、「相乗り」ができないよう、乗客の乗降順序や乗降場所などの指示をお願いします。
- ⑥利用料金は1回利用ごとに300円です。ただし、1回利用ごとに100円となります。
- ※身障者(身体障害者・知的障害者・精神障害者)・要介護認定者・6歳未満児
※予約の際にお申し込みいただく乗降順序や乗降場所などの指示をお願いします。
- ⑦運行は月曜日から土曜日までです。日曜日・祝日・12/29~1/3は運休します。
- ⑧未就学児(6歳未満)のご利用の際は、保護者の同乗をお願いします。
- ⑨営業のためのご利用はできません。
- ⑩登録された方には、別途、利用券購入方法などの利用案内と登録証をお送りします。
(利用登録証を受け付けてから10日程かかります)

「あいのりくん」時刻表

午前	午後
8:00	0:00
8:30	0:30
9:00	1:00
9:30	1:30
10:00	2:00
10:30	2:30
11:00	3:00
11:30	3:30
	4:00
	4:30
	(月~金)

※乗り合いタクシーのため、時間は多少前後します。



東海村内なら
どこからでも、どこへでも予約のお電話一本で、目的地まで行くことができます。

問い合わせ

東海村社会福祉協議会ボランティア市民活動センター 電話 283-4538
東海村 村長 公室 まちづくり推進課 電話 282-1711 (代表)

(3) 東海村における公共交通への取組経緯

平成9年運行の福祉循環バス(無料)の利用低迷、路線バスの廃止(7路線中5路線)を受けて、新たな公共交通システムとして、平成18年4月にデマンドタクシーの運行を開始

■1. 福祉循環バスの運行と路線バスの廃止

- ・東海村では、平成9年7月に交通弱者対策として(一般住民も利用可能)運賃無料の福祉循環バスの運行を開始した。
- ・東海駅を基点とした4路線(北コースA・B、南コースA・B)を小型バス2台で、村内をできる限りカバーする循環形態で、月・水・金曜日と火・水・土曜の2パターンのダイヤで運行した。
- ・運行開始後、「本数が少ない」「停留所が遠い」「目的地まで時間がかかる」といった利用者の意見や批判が寄せられたため、毎年、停留所の増設や早朝の増便といった利便性向上のための改善を行った。
- ・しかし、利用者数は年間34,444人、117.2人/日(平成16年度)と少なく、利用者の増加にはつながらなかったことから、平成18年1月に運行を終了し、デマンドタクシーへの移行を図った。
- ・一方、村内には路線バスが7路線運行していたが、利用者数の減少傾向が続いたため、平成17・18・22年に合わせて5路線を廃止している。

■2. デマンドタクシーの導入

- ・福祉循環バスは運行システムを改善しても、利用者の増加につながらなかったため、東海村では、平成15年度より福祉循環バスに代わる新たな公共交通システムの検討を始めた。
- ・平成15～16年度に、村民及び福祉循環バス利用者を対象にアンケート調査を実施、また社会福祉協議会による村民を対象とした交通手段に関する調査を行っている。
- ・その結果をもとに、関係部局による勉強会を開始し、他自治体の先進事例の視察などをふまえて、デマンド交通導入に向けた調査と協議を行った。
- ・平成17年度からは、デマンド交通運行委員会(東海村地域公共交通会議の前身組織)を設置、検討・協議を行っている。
- ・平成17年12月1日にデマンドタクシーの試行運転を開始し、平成18年4月1日より本格運行へ移行している。

■3. デマンドタクシーの運行システムの改善

- ・本格運行移行当初は平日4台、土曜日3台で運行を行っていたが、平成18年8月に平日午前を5台へ増車、平成20年4月に平日午後も5台へ増車、平成22年6月からは平日は6台、土曜日は4台へ増車し、現在に至っている。
- ・予約受付のオペレーターも、平成18年8月に平日の午前を2人から3人へ増員、平成20年4月より平日の午後も2人から3人へ増員し、現在に至っている。
- ・利用料金(運賃)は一律200円で開始した後、平成22年6月に300円へ値上げを行っている。その後、平成24年4月に一部変更して、障がい者と要介護認定者及び6歳未満児は100円としている。

2. 東海村の地域・交通特性

[デマンドタクシー「あいのりくん」の導入経緯]

○平成9年7月1日

福祉循環バスの運行開始

- ・対象 基本的に交通弱者を対象とするが、一般の住民も利用可能
- ・料金 無料
- ・内容 24人乗り小型バス2台で4路線を循環運行
- ・運行 茨城交通㈱に委託

運行開始後「本数が少ない」、「停留所が遠い」、「目的地まで時間がかかる」、等の意見や批判が寄せられ、毎年、停留所の検討（増設）、増便（早朝）を設けるなど利便性の向上を図ったが利用者の増加につながらなかった。

○平成15年12月22日

企画財政課による「福祉循環バス運行に関するアンケート実施」（第1弾）

- ・対象：小学校区単位の人口比により16歳以上を1,000人抽出
- ・回答率：30.18%

○平成16年2月5日～2月10日

企画財政課による「福祉循環バス運行に関するアンケート実施」（第2弾）

- ・対象：福祉バス車中にアンケート用紙を置き利用者に依頼：200部限定
- ・回答率：50.50%

○平成16年7月5日

デマンド交通システムについて関係部局（当時の高齢福祉課，社会福祉課，企画財政課）による勉強会開始

運行主体の検討において、最終的には公共交通の観点から担当課を企画財政課，利用者が高齢者等の交通弱者が多いとの現実から，社会福祉協議会に委託することに関係部局での合意を得た。

○平成16年7月

社会福祉協議会による「交通手段に関する調査」実施

- ・対象：20才以上の方から抽出した村内在住の1,000人
- ・回答率：31.5%

○平成16年8月5日

導入自治体視察「福島県小高町」（関係部局8名参加）

○平成16年10月18日

政策会議付議（デマンド交通システム導入について）

福祉バスに替わる新たな公共交通手段として「デマンド交通」の導入について協議。

○平成17年1月25日～3月25日

デマンド交通システム導入調査業務委託（NTT）

○平成17年5月9日

庁議報告（デマンド交通システム導入調査結果）

○平成17年7月4日

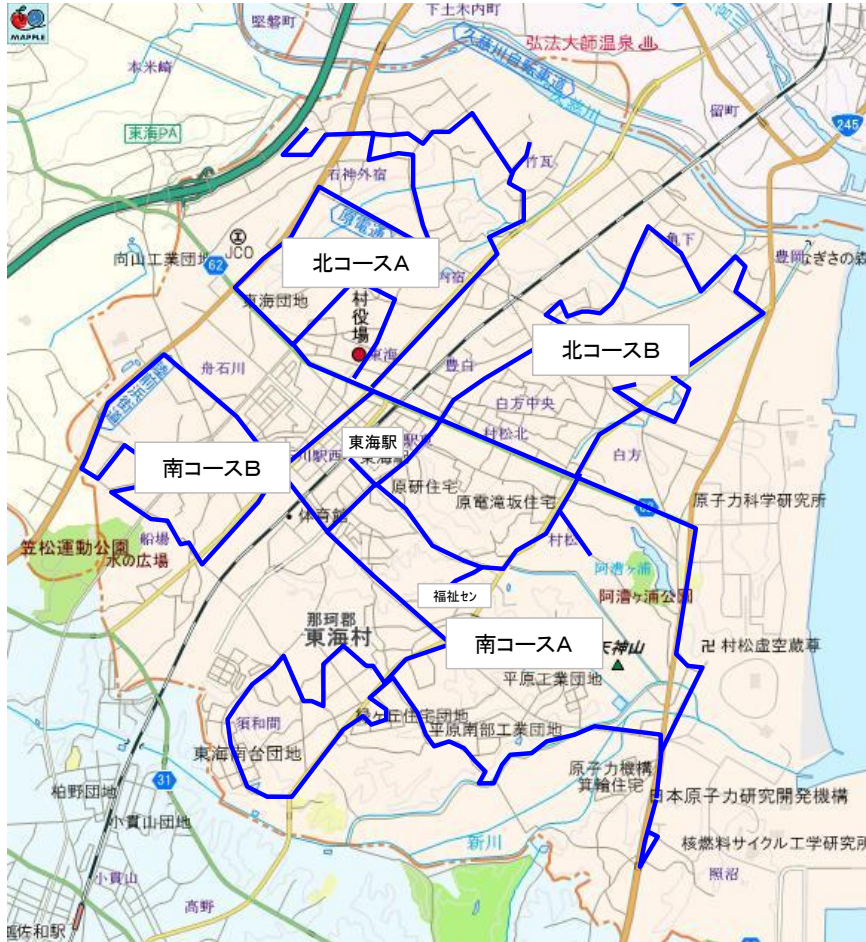
第1回デマンド交通運行委員会開催（運行までに全4回）

- ・委員16名及びオブザーバー（関東運輸局茨城運輸支局・NTT東日本）を委嘱

- 平成17年9月29日
議会全員協議会において説明
- 平成17年10月3日
庁議「デマンドタクシー試行運転について」報告
- 平成17年12月1日（試行運転～平成18年3月31日）
東海村デマンドタクシー出発式
・登録990世帯（全世帯の7.5%）・2,000人
- 平成18年1月31日
福祉循環バスの運行終了
- 平成18年4月1日
デマンド交通本格運行開始

2. 東海村の地域・交通特性

[旧福祉循環バスの運行ルート]



[東海村の路線バス(現行路線と廃止路線)]



3. 公共交通の利用実態と課題・ニーズ

(1) 公共交通の利用実態

① 鉄道(東海駅)

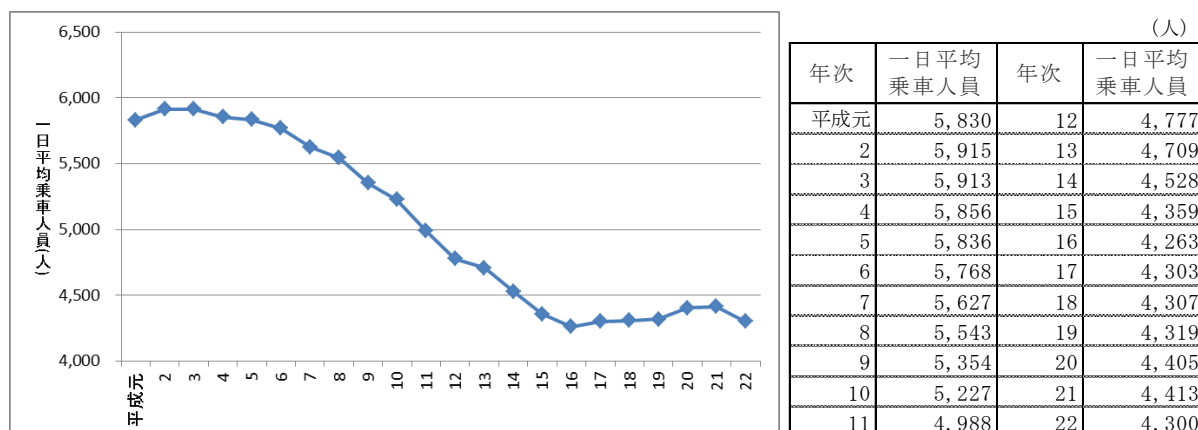
1日平均乗車人員：減少傾向にあり、平成22年は4,300人である

通勤・通学：東海村外への利用は、行きは7～8時台前半、帰りは18～19時台に比較的集中、東海村内への利用は、行き帰りとも特定の時間(電車)に集中する傾向にある

■1. 東海駅の1日平均乗車人員

- ・ JR常磐線東海駅の平成元年以降の1日平均乗車人員は、平成2年の5,915人をピークとして、平成16年の4,263人まで減少傾向にある。
- ・ 平成17年(4,303人)以後は、平成21年(4,413人)まで微増が続いたが、平成22年(4,300人)は前年より微減となっている。
- ・ 平成22年は4,300人であり、平成2年の5,915人と比べて、1,615人(27.3%)減少している。

[東海駅の1日平均乗車人員の推移(JR東海駅「JR東日本HP」/東海村統計書 平成23年版)]



■2. 東海駅の通勤・通学時間帯の乗降傾向

- ・ 東海駅の平日の通勤・通学時間帯の電車別乗降者数調査から、以下のような傾向が見受けられる。

□1. 朝(行き)の利用傾向

- ・ 東海村外への通勤・通学利用(乗車)は、上り(水戸・ひたちなか市方面への利用)は6時台(6:57)と8時台(8:12)が150～180人程度、7時台(7:20、7:37、7:56)は220～250人程度と多くなっている。
- ・ 下り(日立・いわき市方面への利用)は、7時台(7:00、7:17、7:30、7:39)が概ね100～150人程度、8時前後(7:54、8:15)は200～270人程度と多くなっている。
- ・ 東海村内への通勤・通学利用(降車)は、下り(水戸・ひたちなか市方面からの利用)は7:54と8:15のみが100人以上であり、このうち8:15はほとんどが県立東海高校への通学生で

ある。

- ・ 上り(日立・いわき市方面からの利用)は、全般的に少なく、8:12が約50人で最も多い。
- ・ 7:30～8:00の時間帯には、事業所の送迎バスが運行している。
- ・ 特急の利用は、7:34の上野行が50人乗車するが、それ以外は上り・下りともに少ない。

□2. 夕方～夜(帰り)の利用傾向

- ・ 東海村内からの帰宅利用(乗車)は、通学(県立東海高校生)は、上り(水戸・ひたちなか市方面への利用)は16時台(16:04、16:24、16:58)に集中している。下り(日立・いわき市方面への利用)も16時台(16:26、16:39)と17時台(17:08)が比較的多い。
- ・ 通勤を含めた帰宅利用(乗車)は、上り(水戸・ひたちなか市方面への利用)は17:27が50～70人、18:02が80～100人と多いが、それ以外は17～20時台まで20～40人程度で平均化している。下り(日立・いわき市方面への利用)は、特に多い電車はなく、10～30人程度で平均化している。
- ・ 東海村外からの帰宅利用(降車)は、下り(水戸・ひたちなか市方面からの利用)は、17:50、18:29、18:56、19:13、19:40が90～200人程度と多くなっている。上り(日立・いわき市方面からの利用)は、18時台(18:02、18:15、18:44、18:51)が50～130人程度、19時台(19:19、19:48)も70～140人と多くなっている。

[東海駅の通勤・通学時間帯(平日)の乗降者数調査結果(ダイヤは調査日時点のもの)]

平成26年11月18日(火)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り	6:57 水戸	150	20	通勤 通学 その他	
下り	7:00 高萩	60	5	通勤 通学 その他	
下り	7:17 いわき	130	20	通勤 通学 その他	
上り	7:20 上野	220	20	通勤 通学 その他	
下り	7:30 竜田	110	20	通勤 通学 その他	
上り	7:34 上野	50	0	通勤 通学 その他	ビジネスマン
上り	7:37 水戸	250	15	通勤 通学 その他	この時間帯企業の送迎バス東口に入りしている
下り	7:39 高萩	150	40	通勤 通学 その他	
下り	7:54 いわき	250	100	通勤 通学 その他	
上り	7:56 水戸	250	30	通勤 通学 その他	
上り	8:12 土浦	180	50	通勤 通学 その他	
下り	8:15 高萩	200	140	通勤 通学 その他	降車はほぼ東海高校生
下り	8:34 いわき	41	60	通勤 通学 その他	
上り	8:40 水戸	46	16	通勤 通学 その他	
上り	8:47 土浦	25	10	通勤 通学 その他	
下り	8:54 高萩	20	60	通勤 通学 その他	降車外人技術者?多数
上り	9:00 上野	26	0	通勤 通学 その他	ほぼ一般客
下り	9:01 高萩	3	20	通勤 通学 その他	
上り	9:07 水戸	27	4	通勤 通学 その他	
上り	9:22 水戸	36	4	通勤 通学 その他	
上り	9:31 上野	60	6	通勤 通学 その他	
下り	9:32 竜田	25	10	通勤 通学 その他	

平成26年11月18日(火)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り	15:45 水戸	34	36	通勤 通学 その他	東海高校生
下り	15:53 いわき	20	44	通勤 通学 その他	
上り	16:04 水戸	118	50	通勤 通学 その他	
上り	16:24 水戸	68	33	通勤 通学 その他	
下り	16:26 いわき	35	131	通勤 通学 その他	乗車ほぼ外人技術者
上り	16:39 上野	8	0	通勤 通学 その他	
下り	16:39 高萩	16	80	通勤 通学 その他	
上り	16:58 水戸	62	60	通勤 通学 その他	
下り	17:08 いわき	23	120	通勤 通学 その他	
上り	17:27 水戸	72	90	通勤 通学 その他	
下り	17:30 高萩	25	91	通勤 通学 その他	
下り	17:50 いわき	21	114	通勤 通学 その他	
上り	18:02 小山	100	100	通勤 通学 その他	
上り	18:15 水戸	30	68	通勤 通学 その他	
下り	18:29 いわき	34	160	通勤 通学 その他	
上り	18:39 上野	16	0	通勤 通学 その他	
上り	18:44 水戸	25	80	通勤 通学 その他	
上り	18:51 土浦	26	50	通勤 通学 その他	
下り	18:56 広野	20	95	通勤 通学 その他	
下り	19:13 高萩	13	113	通勤 通学 その他	
上り	19:19 水戸	40	86	通勤 通学 その他	
下り	19:40 いわき	16	110	通勤 通学 その他	
上り	19:48 水戸	20	136	通勤 通学 その他	
下り	19:59 高萩	1	16	通勤 通学 その他	
上り	20:13 上野	10	1	通勤 通学 その他	
上り	20:27 水戸	23	98	通勤 通学 その他	
下り	20:29 高萩	15	140	通勤 通学 その他	

平成26年11月20日(木)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り	6:57 水戸	171	40	通勤 通学 その他	
下り	7:00 高萩	112	15	通勤 通学 その他	
下り	7:17 いわき	145	24	通勤 通学 その他	
上り	7:20 上野	256	20	通勤 通学 その他	
下り	7:30 竜田	120	15	通勤 通学 その他	
上り	7:34 上野	50	0	通勤 通学 その他	ビジネスマン
上り	7:37 水戸	250	20	通勤 通学 その他	この時間帯企業の送迎バス東口に入りしている
下り	7:39 高萩	112	50	通勤 通学 その他	
下り	7:54 いわき	270	141	通勤 通学 その他	
上り	7:56 水戸	240	30	通勤 通学 その他	
上り	8:12 土浦	180	42	通勤 通学 その他	
下り	8:15 高萩	200	110	通勤 通学 その他	降車はほぼ東海高校生
下り	8:34 いわき	42	60	通勤 通学 その他	
上り	8:40 水戸	60	15	通勤 通学 その他	
上り	8:47 土浦	24	5	通勤 通学 その他	
下り	8:54 高萩	15	62	通勤 通学 その他	降車外人技術者?多数
上り	9:00 上野	26	0	通勤 通学 その他	ほぼ一般客
下り	9:01 高萩	0	26	通勤 通学 その他	
上り	9:07 水戸	23	5	通勤 通学 その他	
上り	9:22 水戸	30	5	通勤 通学 その他	
上り	9:31 上野	35	6	通勤 通学 その他	
下り	9:32 竜田	30	15	通勤 通学 その他	

平成26年11月20日(木)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り	15:45 水戸	25	35	通勤 通学 その他	東海高校が早く終わった為、乗車数が少ない
下り	15:53 いわき	9	65	通勤 通学 その他	
上り	16:04 水戸	25	37	通勤 通学 その他	
上り	16:24 水戸	27	58	通勤 通学 その他	
下り	16:26 いわき	26	118	通勤 通学 その他	乗車ほぼ外人技術者
上り	16:39 上野	14	0	通勤 通学 その他	
下り	16:39 高萩	8	70	通勤 通学 その他	
上り	16:58 水戸	58	63	通勤 通学 その他	
下り	17:08 いわき	12	105	通勤 通学 その他	
上り	17:27 水戸	57	66	通勤 通学 その他	
下り	17:30 高萩	20	83	通勤 通学 その他	
下り	17:50 いわき	20	127	通勤 通学 その他	
上り	18:02 小山	83	128	通勤 通学 その他	
上り	18:15 水戸	31	89	通勤 通学 その他	
下り	18:29 いわき	28	200	通勤 通学 その他	
上り	18:39 上野	20	0	通勤 通学 その他	
上り	18:44 水戸	25	72	通勤 通学 その他	
上り	18:51 土浦	10	44	通勤 通学 その他	
下り	18:56 広野	17	96	通勤 通学 その他	
下り	19:13 高萩	11	101	通勤 通学 その他	
上り	19:19 水戸	43	70	通勤 通学 その他	
下り	19:40 いわき	12	120	通勤 通学 その他	
上り	19:48 水戸	25	142	通勤 通学 その他	
下り	19:59 高萩	0	22	通勤 通学 その他	
上り	20:13 上野	8	1	通勤 通学 その他	
上り	20:27 水戸	30	122	通勤 通学 その他	
下り	20:29 高萩	17	153	通勤 通学 その他	

②高速・空港バス

高速バス（東京行）：90,412人/年・248人/日／東海村内9,428人/年・26人/日（原子力機構前3.8人、東海原研前6.6人、東海駅東口13.0人、緑ヶ丘団地北口2.4人）
空港バス：成田空港行28,584人/年・78人/日／東海駅東口1,756人/年・5人/日
羽田空港行13,900人/年・38人/日／東海駅東口500人/年・1人/日

■1. 高速バス「勝田・東海線」の利用者数

- ・高速バス「勝田・東海線」の利用者数（平成25年/補助年度：平成24年10月～平成25年9月）は、90,412人である。1日平均利用者数は247.7人となる。
- ・東海村内の利用者数は9,428人（乗車4,250人、降車5,178人）であり、1日平均利用者数は25.8人となる。
- ・バス停別にみると、原子力機構前が1,372人（3.8人/日）、東海原研前が2,416人（6.6人/日）、東海駅東口が4,754人（13.0人/日）、緑ヶ丘団地北口が886人（2.4人/日）であり、東海駅東口が最も多い。

■2. 空港バスの利用者数

□1. 成田空港線

- ・成田空港線の利用者数（平成24年10月～平成25年9月）は、28,584人である。1日平均利用者数は78.3人となる。
- ・東海駅東口の利用者数は1,756人（乗車905人、降車851人）であり、1日平均利用者数は4.8人となる。

□2. 羽田空港線

- ・羽田空港線の利用者数（平成24年10月～平成25年9月）は、13,900人である。1日平均利用者数は38.1人となる。
- ・東海駅東口の利用者数は500人（乗車263人、降車237人）であり、1日平均利用者数は1.4人となる。

[高速バス・空港バスの茨城県内停留所の年間利用者数(平成24年10月～平成25年9月)]

高速バス 勝田・東海線

上り(原子力機構前→東京駅)

停留所(=東海村内)	乗車人員(人)
原子力機構前	644
東海原研前	1,260
東海駅東口	1,957
緑ヶ丘団地北口	389
勝田営業所	4,706
東石川アパート	1,796
勝田駅前	4,129
ひたちなか市役所	1,005
笹野アパート前	2,360
本郷台団地入口	4,464
海浜公園入口	7,440
海浜公園西口	67
安全運転中央研修所	429
水戸大洗IC	14,559
合計	45,206

下り(東京駅→原子力機構前)

停留所(=東海村内)	降車人員(人)
水戸大洗IC	13,501
安全運転中央研修所	139
海浜公園西口	81
海浜公園入口	6,935
本郷台団地入口	5,444
笹野アパート前	2,161
ひたちなか市役所	913
勝田駅前	5,456
東石川アパート	1,676
勝田営業所	3,722
緑ヶ丘団地北口	497
東海駅東口	2,797
東海原研前	1,156
原子力機構前	728
合計	45,206

空港バス 成田空港線

上り(日立駅→成田空港)

停留所(=東海村内)	乗車人員(人)
日立駅中央口	1,565
新田中内	1,101
東海駅東口	905
勝田営業所	848
勝田駅西口	2,089
水戸駅南口	4,524
水戸大洗インター	1,123
沢尻	17
新鉾田駅前	280
鉾田市札	87
水郷潮来BT	1,753
合計	14,292

下り(成田空港→日立駅)

停留所(=東海村内)	降車人員(人)
水郷潮来BT	1,219
鉾田市札	129
新鉾田駅前	315
沢尻	40
水戸大洗インター	1,232
水戸駅南口	5,040
勝田駅西口	2,385
勝田営業所	638
東海駅東口	851
新田中内	1,020
日立駅中央口	1,423
合計	14,292

空港バス 羽田空港線

上り(日立駅→羽田空港)

停留所(=東海村内)	乗車人員(人)
日立駅中央口⑤	501
新田中内	798
東海駅東口①	263
勝田営業所	661
勝田駅西口	1,007
水戸駅南口④	2,116
水戸大洗インター	1,099
石岡	506
合計	6,950

下り(羽田空港→日立駅)

停留所(=東海村内)	降車人員(人)
石岡	462
水戸大洗インター	1,064
水戸駅南口	2,671
勝田駅西口	1,059
勝田営業所	575
東海駅東口	237
新田中内	538
日立駅中央口	344
合計	6,950

③路線バス

須和間線：5,314人/年・15人/日／定期外が9割／須和間団地～東海駅間の利用

笠松線：28,854人/年・118人/日／通学定期4割・通勤定期1割／東海村内の利用は約7人

■1. 須和間線

□1. 利用者数

- ・須和間線の年間利用者数(平成25年10月～平成26年9月)は、5,314人である。1日平均利用者数は14.6人となる。
- ・内訳は、定期利用者が542人(全員が通勤定期)で10.2%、定期外利用者が4,772人で89.8%となっている。定期外利用者は、回数券利用が2,274人(47.7%)、普通券利用(現金)が2,498人(52.3%)とほぼ同数である。

□2. バス停別利用状況

- ・乗降調査結果(平成26年6月)からバス停別の乗降率をみると、東海駅東口が50.0%を占めている。
- ・次いで、南台北と南台南が11.9%、南台中央が9.5%、フローレスタ南が7.1%であり、須和間団地内の利用が多い。
- ・他のバス停は、押延交差点(4.8%)と緑ヶ丘団地北口(2.4%)で利用があるが、それ以外は0人となっている。

■2. 笠松線

□1. 利用者数

- ・笠松線の年間利用者数(平成25年10月～平成26年9月)は、28,854人である。東海駅～水戸駅系統が5,078人、東海駅～茨大前営業所系統が23,776人である。1日平均利用者数は118.3人(水戸駅系統20.8人、茨大前営業所系統97.5人)となる。
- ・内訳は定期利用者が13,299人で46.1%、定期外利用者が15,555人で53.9%となっている。定期利用者は通勤定期が2,941人(22.1%)、通学定期が10,358人(77.9%)、定期外利用者は回数券利用が8,485人(54.5%)、普通券利用(現金)が7,070人(45.5%)とほぼ同数である。

□2. バス停別利用状況

- ・乗降調査結果(平成26年6月)からバス停別の乗降率をみると、水戸駅系統は水戸駅が43.5%、茨大前営業所系統は银杏坂が26.7%で最も多い。
- ・他のバス停は、水戸駅系統は佐和工場前が19.6%となっているが、その他のバス停は10%未満と少なく、0人のバス停は24カ所ある。茨大前営業所系統は、银杏坂以外のバス停は10%未満で、0人のバス停は20カ所ある。
- ・東海村内のバス停は、水戸駅系統は東海駅西口と石神二軒茶屋、舟石川入口で2.2%の利用があり、1日平均利用者数が20.8人であることから、それぞれ0.5人、合計1.5人の利用者数となる。同様に茨大前営業所系統(97.5人/日)は、東海駅西口2.5%(2.4人/日)、舟石川入口1.7%(1.7人/日)、東海橋と内宿入口が各0.8%(0.8人/日)、合計5.7人となる。

[東海村の路線バスの年間利用者数(平成26年/補助年度：平成25年10月～平成26年9月)]

路線名	年間利用者数内訳(人)						
	合計	定期外計	内普通券	内回数券	定期計	内通勤定期	内通学定期
須和間線(東海駅東口～フローレスタ南)	5,314	4,772	2,498	2,274	542	542	0
笠松線	28,854	15,555	7,070	8,485	13,299	2,941	10,358
茨大前～水戸駅～笠松運動公園～東海駅西口	23,776	12,012	6,248	5,764	11,764	2,469	9,295
水戸駅～笠松運動公園～東海駅西口	5,078	3,543	822	2,721	1,535	472	1,063

[東海村の路線バスの停留所別の乗降率(平成26年6月の乗降調査結果)]

須和間線

停留所	乗降率
フローレスタ南	7.1%
南台北	11.9%
南台中央	9.5%
南台南	11.9%
須和間宿入口	2.4%
緑ヶ丘団地南口	0.0%
緑ヶ丘団地北口	2.4%
押延	0.0%
押延交差点	4.8%
福祉センター入口	0.0%
勝木田団地入口	0.0%
中丸小学校入口	0.0%
東海文化C入口	0.0%
東海駅東口	50.0%
	100.0%

笠松線(水戸駅系統)

停留所(東海村内)	乗降率	停留所	乗降率
東海駅西口	2.2%	佐和工場前	19.6%
舟石川	0.0%	太田街道口	2.2%
東海橋	0.0%	中田彦	0.0%
内宿入口	0.0%	田彦	0.0%
大山台	0.0%	水戸工場前	4.3%
東海団地入口	0.0%	那珂工場前	0.0%
石神二軒茶屋	2.2%	市毛北町	6.5%
舟石川入口	2.2%	市毛十文字	2.2%
舟石川西	0.0%	市毛火の見下	0.0%
笠松	4.3%	筑波台	2.2%
笠松運動公園	0.0%	枝川	2.2%
孫目	0.0%	枝川舟付	0.0%
堤入口	0.0%	水戸職安前	0.0%
佐和上宿	4.3%	水府町	0.0%
佐和	0.0%	市民プール入口	0.0%
佐和十文字	0.0%	水府橋	0.0%
稲田十文字	0.0%	大手門下	0.0%
鹿島台入口	0.0%	三の丸ホテル前	2.2%
東海工場前	0.0%	水戸駅	43.5%
			100.0%

笠松線(茨大前営業所系統)

停留所(東海村内)	乗降率	停留所	乗降率
東海駅西口	2.5%	筑波台	1.7%
舟石川	0.0%	枝川	1.7%
東海橋	0.8%	枝川舟付	3.3%
内宿入口	0.8%	水戸職安前	0.8%
大山台	0.0%	水府町	2.5%
東海団地入口	0.0%	市民プール入口	0.8%
石神二軒茶屋	0.0%	水府橋	0.8%
舟石川入口	1.7%	大手門下	2.5%
舟石川西	0.0%	三の丸ホテル前	1.7%
笠松	0.8%	水戸駅	8.3%
笠松運動公園	1.7%	銀杏坂	26.7%
孫目	0.0%	南町2丁目	0.0%
堤入口	0.0%	南町3丁目	2.5%
佐和上宿	0.0%	泉町1丁目	1.7%
佐和	0.8%	泉町3丁目	4.2%
佐和十文字	0.0%	大工町	0.0%
稲田十文字	0.0%	栄町1丁目	1.7%
鹿島台入口	0.0%	栄町2丁目	0.0%
東海工場前	0.0%	茨城高校入口	4.2%
佐和工場前	0.8%	末広町2丁目	1.7%
太田街道口	0.8%	末広町3丁目	5.8%
中田彦	0.8%	上水戸入口	0.0%
田彦	0.0%	盲学校前	0.8%
水戸工場前	3.3%	袴塚2丁目	0.0%
那珂工場前	0.0%	袴塚3丁目	0.0%
市毛北町	0.8%	茨大前	0.8%
市毛十文字	1.7%	茨大前営業所	4.2%
市毛火の見下	4.2%		
			100.0%

④デマンドタクシー

登録者・利用者数：8,009人(村民の20.9%)・45,060人/年(全村民が1.2回利用)・153.3人/日
(登録者の1.9%)／8.6人/便・1.5人/台(平成25年度)
利用者：年間を通して一定の利用／女性が8割／70～90歳代が約6割(60歳代を含めると約7割)
行先・想定利用者数：イオン東海店が29人/日、村立東海病院17人/日、総合福祉センター「絆」
12人/日、なごみ東海村総合支援センター8人/日
利用時間帯：9～11時台が3割／お断り:0.7件/日・キャンセル:8.8件/日(平成25年度)
平均利用料金：222円/人・公的負担：999円/人(平成25年度)

■1. 登録者数・利用者数の推移

□1. 登録者数

- ・デマンドタクシーの登録者数は、試行運転を開始した平成17年度に3,900人、以後、毎年度増加し、平成25年度末の段階で累計8,009人となっている。
- ・平成26年4月1日現在の人口が38,399人であることから、村民の20.9%が登録していることになる。

□2. 年間利用者数

- ・年間利用者数は、試行運転を開始した平成17年度(12～3月)の7,301人、本格運行へ移行した平成18年度は39,214人である。以降の推移は、平成20年度の47,871人が最も多く、平成21年度からは減少傾向となり、平成23年度は37,904人であった。
- ・利用料金(運賃)を一部変更した平成24年度は43,101人と増加傾向に転じ、平成25年度は45,060人と、平成23年度の37,904人と比べて7,156人、18.9%の増加となっている。
- ・平成26年4月1日現在の人口が38,399人であることから、全村民が年間1.2回利用したことに相当する。

□3. 1日平均利用者数

- ・1日平均利用者数は、年間利用者数と同様に、平成17年度(12～3月)の77.7人以降、平成20年度の163.4人までは増加傾向に、平成23年度は132.1人と最も少なくなり、平成25年度は153.3人となっている。
- ・平成25年度末の累計登録者数が8,009人であることから、1日平均で登録者の1.9%が利用していることになる。

■2. 利用状況

□1. 月別利用者数

- ・平成25年度(45,060人/年)の月別の利用者数は、7月が4,162人で最も多く、次いで10月の4,090人となっているが、最も少ない月が1月の3,282人であり、月別に大きな差はない。
- ・1日平均利用者数で比較すると、9月が162.3人で最も多く、次いで12月の161.0人、7月の160.1人であり、最も少ないのは1月の142.7人であることから、年間を通して一定の利用者数となっている。

□2. 1 便・1 台平均利用者数

- ・平成25年度(45,060人/年)の年間運行便数は5,242便(平日244日×18便、土曜日50日×17便)であることから、1 便平均利用者数は約8.6人となる。
- ・平成25年度の1 台あたりの乗車人数(乗合率)は1.5人、1 台1 日あたりの走行距離は115.8kmとなっている。

□3. 平均利用料金・東海村の公的負担

- ・平成25年度の利用者数が45,060人、運賃収入が約10,000千円であることから、利用者1 人あたりの利用料金(平均運賃)は、221.9円/人となる。
- ・平成25年度の運行経費は約55,000千円、東海村の公的負担額は約45,000千円であることから、利用者1 人あたりの運行経費は1,220.6円/人、公的負担は998.7円/人となる。

■3. 利用者の特性と利用傾向

□1. 性別

- ・平成25年度の性別利用状況は、男性が19.4%、女性が80.6%である。
- ・女性が約8割を占める割合は、試行運転を開始した平成17年度以降、大きな変化はない。

□2. 年齢層

- ・平成25年度の年齢別利用状況をみると、70歳代が30.5%で最も多く、次いで80歳代が29.3%、60歳代が10.9%である。90歳代が2.8%であることから、70～90歳代の高齢者が62.6%を占めており、60歳代も含めると73.5%となる。
- ・平成25年度の1 日平均利用者数が153.3人であることから、それぞれの年代の1 日平均に換算すると、60歳代16.7人、70歳代46.8人、80歳代44.9人、90歳代4.3人と推測される。
- ・平成26年4月1日現在の60歳代人口が4,775人、70歳代人口が4,124人、80歳代人口が1,617人、90歳代人口が366人であることから、各年代人口の利用比率は、60歳代0.3%、70歳代1.1%、80歳代2.8%、90歳代1.2%となる。
- ・50歳代以下の利用は、50歳代以下は3.4～6.7%であり、合計で26.1%であり、1 日平均に換算すると40.0人である。

□3. 行先

- ・平成25年度の利用場所(行先)をみると、帰りの利用となる乗車場所はイオン東海店が約26%で最も多く、次いで、総合福祉センター「絆」が約8%、村立東海病院が約7%、カスミ フードスクエア舟石川店となごみ東海村総合支援センターが共に約6%であり、この上位5ヵ所で約53%を占めている。
- ・行きの利用となる降車場所は、村立東海病院が約15%で最も多く、次いでイオン東海店が約12%、東海駅が約11%、総合福祉センター「絆」が約7%、なごみ東海村総合支援センターが約5%であり、この上位5ヵ所で約50%を占めている。
- ・平成25年度の1 日平均利用者数が153.3人であることから、往復利用がそれぞれ半数と想

定すると、行き(降車場所)は、村立東海病院が11.5人、イオン東海店が9.2人、東海駅が8.4人、総合福祉センター「絆」が5.4人、なごみ東海村総合支援センターが3.8人と推定される。

- ・同様に推定すると、帰り(乗車場所)は、イオン東海店が19.9人、総合福祉センター「絆」が6.1人、村立東海病院が5.4人、カスミ フードスクエア舟石川店が4.6人、なごみ東海村総合支援センターが3.8人となる。
- ・往復を合わせると、1日平均で最も利用者が多いのは、イオン東海店が29.1人となる。次いで、村立東海病院が16.9人、総合福祉センター「絆」が11.5人、なごみ東海村総合支援センターが7.6人となる。

□4. 利用時間帯

- ・平成25年度の利用時間帯別の年間利用者数をみると、10:00便が7.7%で最も多く、次いで、9:30便が7.2%、10:30便が7.0%、16:00便が6.9%、11:00便が6.4%となっている。
- ・上位5便のうち4便は9～11時台の便であり、合わせて28.3%を占めている。

□5. お断り件数・キャンセル件数

- ・お断り件数(予約時に全車両が配車済で予約を断った件数)は、平成19年度は3,385件(11.5件/日)、平成20年度は1,519件(5.1件/日)、平成21年度は1,964件(6.7件)と、いずれも年間1,000件以上であった。
- ・平日6台、土曜日4台への増車を行った平成22年度は287件(1.0件/日)と大幅に減少し、平成23年度が74件(0.2件/日)、平成24年度が214件(0.7件/日)、平成25年度は206件(0.7件/日)となっている。
- ・キャンセル件数(予約した事の失念、行先で会った知人に送迎してもらう等)は、平成21年度の2,644件(9.1件/日)以後、平成23年度(1,648件、5.7件/日)、平成24年度(2,480件、8.5件)、平成25年度(2,581件、8.8件/日)と増加傾向にある。

[デマンドタクシーの利用状況]

年度別利用実績

年度	新規登録者	累計	利用者計 (年間)	稼働日	1日あたり 利用者数	お断り件数	キャンセル
17	3,900人	-	7,301人	94日	77.7人	-	-
18	1,091人	4,991人	39,214人	294日	133.4人	-	-
19	689人	5,680人	43,818人	294日	149.0人	3385件	-
20	587人	6,267人	47,871人	293日	163.4人	1519件	-
21	456人	6,723人	45,859人	292日	157.1人	1964件	2644件
22	433人	7,059人	40,636人	278日	146.2人	287件	2057件
23	211人	7,285人	37,904人	287日	132.1人	74件	1684件
24	364人	7,649人	43,101人	293日	147.1人	214件	1480件
25	360人	8,009人	45,060人	294日	153.3人	206件	2581件

年齢別利用状況

年度	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
17	1.8%	0.9%	1.0%	1.8%	4.9%	14.8%	40.1%	28.7%	2.3%
18	2.1%	0.7%	1.3%	1.7%	7.1%	16.1%	43.4%	24.6%	1.9%
19	3.2%	1.0%	1.6%	2.2%	7.5%	14.3%	42.4%	25.4%	2.3%
20	4.4%	0.9%	2.7%	2.0%	8.2%	13.1%	40.0%	26.7%	2.0%
21	4.9%	1.6%	2.3%	1.5%	7.4%	12.8%	39.6%	27.5%	2.2%
22	3.6%	2.9%	2.3%	1.9%	7.3%	11.8%	38.3%	28.7%	3.2%
23	3.3%	2.2%	2.5%	2.9%	7.6%	12.7%	34.7%	30.1%	3.8%
24	6.5%	2.7%	5.0%	5.0%	6.6%	10.1%	30.0%	30.2%	3.7%
25	5.9%	3.4%	4.3%	5.8%	6.7%	10.9%	30.5%	29.3%	2.8%

男女別利用状況

年度	男性	女性
17	16.4%	79.8%
18	14.3%	84.5%
19	17.0%	82.8%
20	17.6%	82.3%
21	17.3%	82.5%
22	17.4%	82.6%
23	16.7%	83.3%
24	18.0%	82.0%
25	19.4%	80.6%

利用場所ランキング【平成25年度】

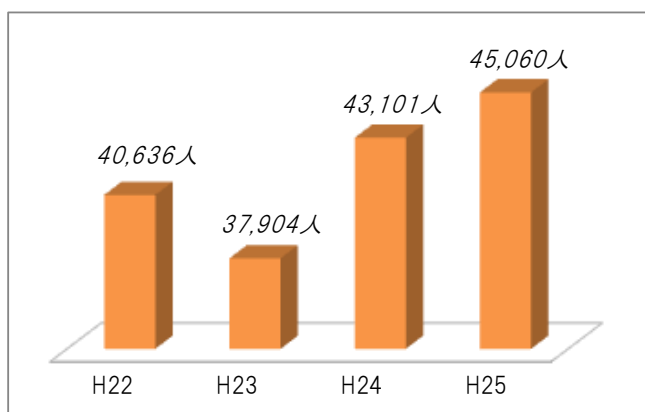
	乗車場所	降車場所
1	イオン東海店	村立東海病院
2	絆	イオン東海店
3	村立東海病院	東海駅
4	カスミ舟石川店	絆
5	なごみ	なごみ

利用時間帯ランキング【平成25年度】

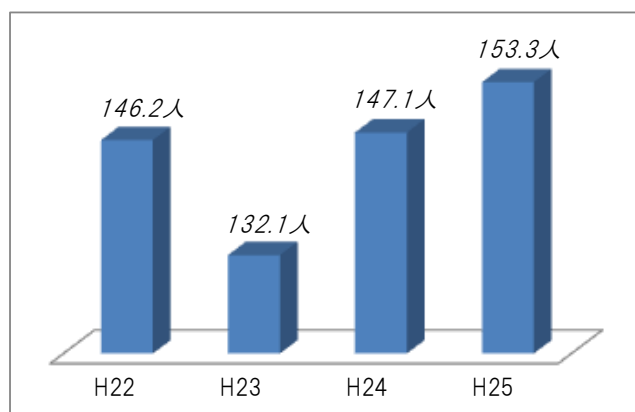
	時間帯	利用者数	割合
1	10:00	3,684	7.7%
2	9:30	3,430	7.2%
3	10:30	3,311	7.0%
4	16:00	3,273	6.9%
5	11:00	3,056	6.4%

3. 公共交通の利用実態と課題・ニーズ

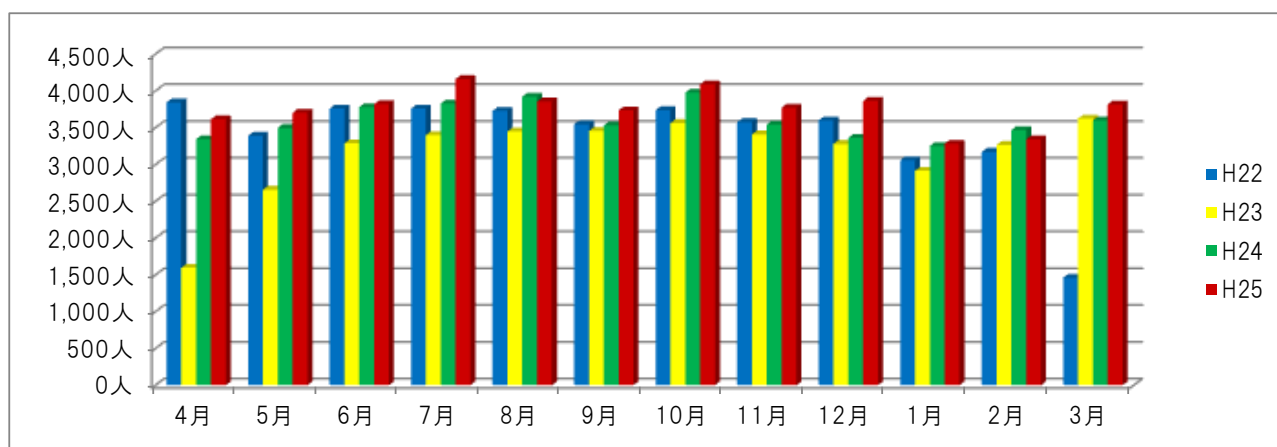
利用者数推移<年度別>



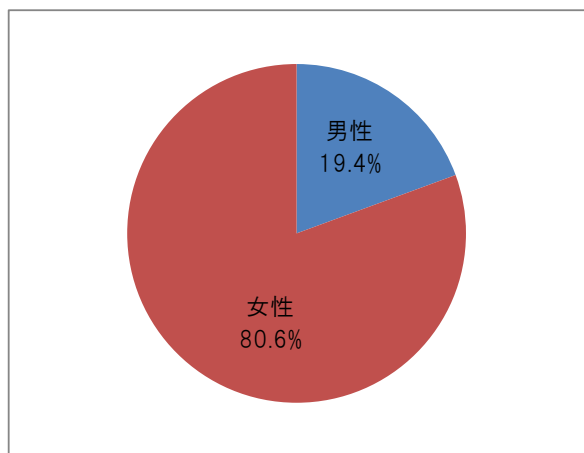
1日あたりの利用者推移<年度別>



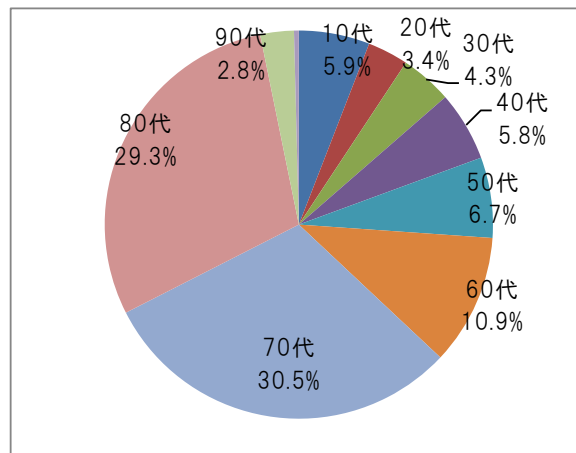
利用者数推移<年度別/月別>



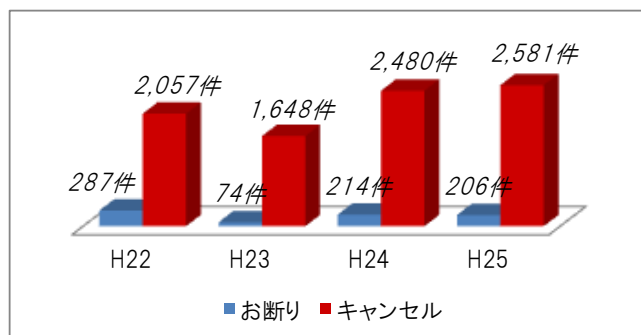
男女別利用状況<平成25年度>



年齢別利用状況<平成25年度>



お断り及びキャンセル件数<年度別>



(2) 公共交通の課題とニーズ

①地域特性からみた利点と課題

【地域特性】

- ・東西、南北共に約8km(面積37km²)のコンパクトな圏域であり、平坦な地形である。
- ・東海駅を中心に商業・公共施設が比較的集積、村内に2つの総合病院がある。
- ・人口は増加傾向にあり、平成32年度の将来人口も横ばいの想定である。
- ・高齢者数(率)は8,833人(23.0%/男性4,050人、女性4,783人)で増加傾向にあり、平成32年度の想定は9,400人・23~25%である。
- ・高齢者がいる世帯は4,861、高齢者1人暮らし世帯は778、夫婦共に前期高齢者は757、夫婦どちらかが後期高齢者は214、夫婦共に後期高齢者は294世帯である。
- ・通勤・通学は水戸市・ひたちなか市・日立市間との移動が多く、通勤は3市へ6,882人(76.1%)、3市から7,247人(66.2%)が、通学は3市へ1,051人(85.0%)、3市から243人(84.1%)が移動している。
- ・通勤・通学の交通手段は、自家用車が7~9割を占める。鉄道は村外へ2,491人(24.2%)、村外から742人(6.6%)が利用、乗合バスは村外へ392人(3.8%)、村外から119人(1.1%)が利用している。

【公共交通の観点からみた利点と課題】

- ・徒歩や自転車での移動が容易であり、東海駅を中心に生活施設が立地しているため、村内での公共交通利用の必要性は比較的低い。
- ・高齢者の男女別人口から独居高齢者は女性が多いと想定され、家族に送迎を頼めないことから、買物や通院等に出かけにくい状態にあると予想される。
- ・高齢者夫婦世帯においても、夫が高齢で車の運転への不安があり、公共交通の利用意向があると思われる。
- ・通勤・通学は車が大半で公共交通利用は少ないが、水戸市・ひたちなか市・日立市を中心とした村外への移動では鉄道(JR常磐線)利用者が約2,500人/日いることから、東海駅へのアクセス手段として、公共交通利用の可能性はある。
- ・高校生の通学は、東海駅まで家族の送迎が多いと予想され、その負担軽減が求められる。

②交通特性にみる利点と課題

【交通特性】

- ・ 南北方向に国道・県道が整備されており、交通量も多い。
- ・ 乗用車は増加傾向にあり1.15台/世帯。運転免許保有率は83%（男性90%、女性76%）、高齢者保有者（推定）は5,300人、未所有者は3,200人（前期高齢者1,100人、後期高齢者2,100人）。
- ・ 1万人あたり交通事故死傷者数は増加傾向にある。
- ・ 通勤・通学のJR常磐線利用は、東海村外へは、行きは7～8時台前半、帰りは18～19時台に比較的集中、東海村内へは、行き帰りとも特定の時間（電車）に集中している。
- ・ 東海村内の既存バスの利用者は、須和間線（15人/日）、笠松線（7人/日）、東京駅行高速バス（26人/日）、空港バス（成田空港行5人/日、羽田空港行1人/日）と少ない。

[デマンドタクシーの利用者数・利用傾向]

- ・ 45,060人/年・153.3人/日（登録者の1.9%）、8.6人/便・1.5人/台。女性が8割、70～90歳代が6割（60歳代を含めると7割）である。
- ・ 高齢者の利用者数と人口に対する利用率
60歳代17人/日（0.3%）、70歳代47人/日（1.1%）、80歳代45人/日（2.8%）、90歳代4人/日（1.2%）。
- ・ デマンドタクシーの主な利用先は、イオン東海店（29人/日）、村立東海病院（17人/日）、総合福祉センター「絆」（12人/日）、なごみ東海村総合支援センター（8人/日）。
- ・ 利用時間帯は9～11時台が3割、お断り；0.7件/日・キャンセル；8.8件/日。
- ・ 平均利用料金222円/人・公的負担999円/人。

【公共交通の観点からみた利点と課題】

- ・ 水戸市・ひたちなか市・日立市間の車での通勤が多いことから、朝夕の通勤時間帯はバスも交通渋滞により、定時性確保が難しくなる。
- ・ 高齢者、特に高齢女性は車を運転できない・しにくい人が多いことから、その日常生活の足を確保することが求められる。
- ・ 高齢者による近隣者・友人等の送迎は、交通事故への不安を抱えていることが多い。高齢ドライバーによる交通事故防止の観点から、運転免許を返納しても移動できる公共交通サービスが求められている。
- ・ 東海駅への公共交通利用（需要）を開発するためには、通勤・通学利用が多い電車（朝は乗車、夕方～夜は降車）と接続させる必要がある。
- ・ 既存バス、特に日常生活の移動である路線バスの利用者数を増加させる必要がある。
- ・ デマンドタクシーは高齢女性を中心に一定の利用者数を確保しているが、高齢者人口に対する利用率からは、潜在需要の開発余地があると考えられる。
- ・ デマンドタクシーの利用先として茨城東病院が少ないことから、別のアクセス手段を検討する必要がある。
- ・ 公的負担の妥当性を検討した上で、必要に応じて負担額を軽減する方策を検討・実施する。

③デマンドタクシー登録者アンケート調査結果にみるニーズと課題(平成26年7月実施)

【登録者(回答者)の特徴】

- ・女性が75%。無職49%・専業主婦(夫)30%。村松(照沼)地区を除いて、各地区とも約2割で同程度となっている。
- ・1人暮らし59%、2人家族32%。65歳以上がいる割合66%(内1人50%、2人47%)。
- ・運転免許未所持が63%。自分で車を運転しない人が67%。自由に使える車がない・家族に送迎してもらえない人は43%。

【デマンドタクシーに対する評価】

- ・総合的な使い勝手として、改善が必要とする回答が35%ある。
- ・予約の空き状況の問題性は、「空きがなく困ることがよくある」が17%、「もう少し希望通りになるとよい」が34%と多い。
- ・所要・到着時間が不便という回答が38%ある。
- ・料金(運賃)の金額は妥当(妥当65%、より安ければ頻繁に利用する29%)、購入方法も問題ない(84%)とする回答が多い。
- ・今後の利用意向は、「時々利用」が50%、「定期的に利用」が29%と計8割を占めるが、「利用しない」が9%ある。
※登録者を対象とした調査のため、登録していても利用していない人が含まれている。

【日常の外出傾向】

- ・外出時間は、平日は8～10時台、日曜日は9～10時台が多く、帰宅時間は、平日は11時台と16～18時台、日曜日は11時台と14～17時台が多い。
- ・外出目的は、平日は買物、私用、通院が、日曜日は買物と私用が多い。
- ・交通手段は、平日は自動車、家族と知人の送迎、徒歩がいずれも約2割、日曜日は送迎が約4割を占める。デマンドタクシー利用(平日)は、約1割である。
- ・外出頻度は、通院は月1回(46%)、買物は食料・日用品は週1～2回(44%)、衣料品は月1回以下(72%)である。
- ・買物先は、村内はイオン東海店、カスミ・フードスクエア舟石川店、カスミ・FOOD OFF ストッカー東海店、ステーションコム東海店で、週1～2回が約5割を占める。
- ・村外は、ジョイフル本田ひたちなか店が37%、カインズホーム日立店が16%で、2週間に1回以下が74%を占める。

【利用者増加に向けた改善・利用促進の方向性】

- ・登録者のうち、デマンドタクシーを利用しているのは約1割と少ないことから、システムの改善や利用促進方策を検討・実施して、利用割合を向上させる必要がある。
- ・人口・高齢者数共に最も多い白方地区は、東海駅及び周辺施設まで比較的遠方であるが、人口比で見ると登録者数が少ないことから、その理由をふまえて利用促進を図る。
- ・高齢者夫婦・1人暮らし、車を運転できない・自由に使えない人の登録者が多いことから、未登録の高齢者(世帯)への登録・利用の呼びかけ(P R)を行う。
- ・お断り件数は0.7件/日と少ないが、予約の空き状況の改善要望があることから、より具体的な理由を把握して、可能な範囲で改善をすることが考えられる。
- ・所要時間・到着時間への改善要望に対しては、増車による対応が考えられるが、運行経費増の問題がある。一方で、デマンド・乗合方式のため、時間がかかることへの理解を求めることも重要である。
- ・高齢者は午前中に用事をすませて、昼までに帰宅する傾向にあることから、それをふまえて改善方策を検討する。
- ・通院は要望は強いが、利用回数は少ないため、利用者数(運賃収入)を増加させるためには、買物利用を考慮する必要がある。
- ・村外への買物は、利用回数が2週間に1回以下と少ないため、村内の移動の利便性を優先することが考えられる。

【隣接市への外出移動と要望】

- ・隣接市への外出先は、水戸駅とその周辺が最も多く、ひたち海浜公園と周辺商業施設、勝田駅とその周辺である。
- ・目的は買物が最も多く、次いで通院であり、2週間に1回以下が6～7割を占める。
- ・交通手段は送迎、次いで自動車が多いが、JR常磐線も自動車と同程度となっている。デマンドタクシーも約1割である（JR常磐線との乗継利用）。
- ・隣接市への外出先へ行く回数が増える条件は、デマンドタクシーで直接行けるが48%、バスで直接行けるが35%である。
- ・デマンドタクシーと鉄道・バスを乗り継ぐ場合の乗継時間は30分以内が60%、片道の合計運賃は500円程度が29%で最も多い。
- ・バス（デマンドタクシーからの乗り継ぎを含む）で行きたい場所は、ひたち海浜公園と周辺商業施設が28%で最も多い。



【利用者増加に向けた改善・利用促進の方向性】

- ・村外の外出先で、JR常磐線では行きにくいのは、ひたち海浜公園と周辺商業施設である。そのアクセス手段の整備が考えられるが、外出頻度が少ないことに留意する必要がある。
- ・村外へアクセスする場合、できる限り乗り継ぎがないシステムとすることが望ましいが、他の交通機関との競合を避けること、効率的な運行とするためには、ひたち海浜公園を優先することが考えられる。

「デマンドタクシー登録者アンケート調査結果にみる外出先の要望」

日常の外出についてのアンケート
集計結果反映シート

<H26.9.12(金) 東海村402会議室>



④事業所ヒアリング調査結果にみるニーズと課題

【各事業所の送迎バスの実情と路線バスへの要望】

[事業所A]

- ・送迎バスの利用者は少ない。
- ・研究者の残業を考慮すると、20時位までは運行して欲しい。
- ・東海駅発着の特急に接続した便があると、出張時に利用できる。

[事業所B]

- ・東海駅及び勝田駅からの利用者は少なく、村内の寮(東海中学校近く)からの利用が中心である。
- ・寮は県道62号から住宅地内に入った場所にあるため、寮近くにバス停が必要となる。

[事業所C]

- ・送迎バスの利用者は少ないが、構内まで入ってきているため、国道245号のバス停では事業所まで遠く、抵抗感が大きいと思われる。

[事業所D]

- ・送迎バスは約4年前から車両・運行を全て委託しているため、直ぐに取りやめることは難しい。利用者は平均2～4人と少ない。
- ・東海駅と勝田駅を結ぶ昼間の送迎バスを、住民も利用できるよう検討することも可能である。

[事業所E]

- ・送迎バスの利用者が少ないため、10人乗りワゴン車への変更も検討している。
- ・路線バスが東海駅から自社周辺(国道6号沿いのバス停でも)まで結ばれれば、ある程度の利用者が見込まれると思われる。
- ・周辺の事業所にも同様の需要がある。

【公共交通の観点からみた利点と課題】

- ・海岸沿いの事業所への通勤では、国道245号沿いのバス停では事業所まで遠いため、構内に入る送迎バスに比べて、利用されないと考えられる。
- ・原子力関係機関であるため、路線バスが構内に入ることは難しく、走行距離が伸びることから効率的な運行ができなくなる。
- ・国道6号沿いの事業所は、路線バスによる通勤利用の可能性が考えられる。事業所近くにバス停を設置すると共に、通勤利用が多いJR常磐線に接続するダイヤとすることで、通勤利用を開発する。
- ・専用の送迎バスから路線バス利用への通勤者の抵抗感があると考えられる。そのため、事業所と協議、協力を得ることで、送迎バスから路線バスへの転換を図り、社員への利用促進を働きかけることが必要となる。

4. 計画の方針と考え方

(1) 地域公共交通の活性化及び再生の推進に向けた取組の方向性

① まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性

：上位・関連計画における東海村の将来像と公共交通が果たすべき役割と効果

東海村第5次総合計画及び東海村都市計画マスタープラン、第2次東海村環境基本計画における各基本目標と、それに基づく将来像や方針・施策をふまえて、公共交通が果たすべき役割(機能)とそれによって期待される成果(効果)は、以下のように整理される(次頁図参照)。

■1. 公共交通が果たすべき役割(機能)面

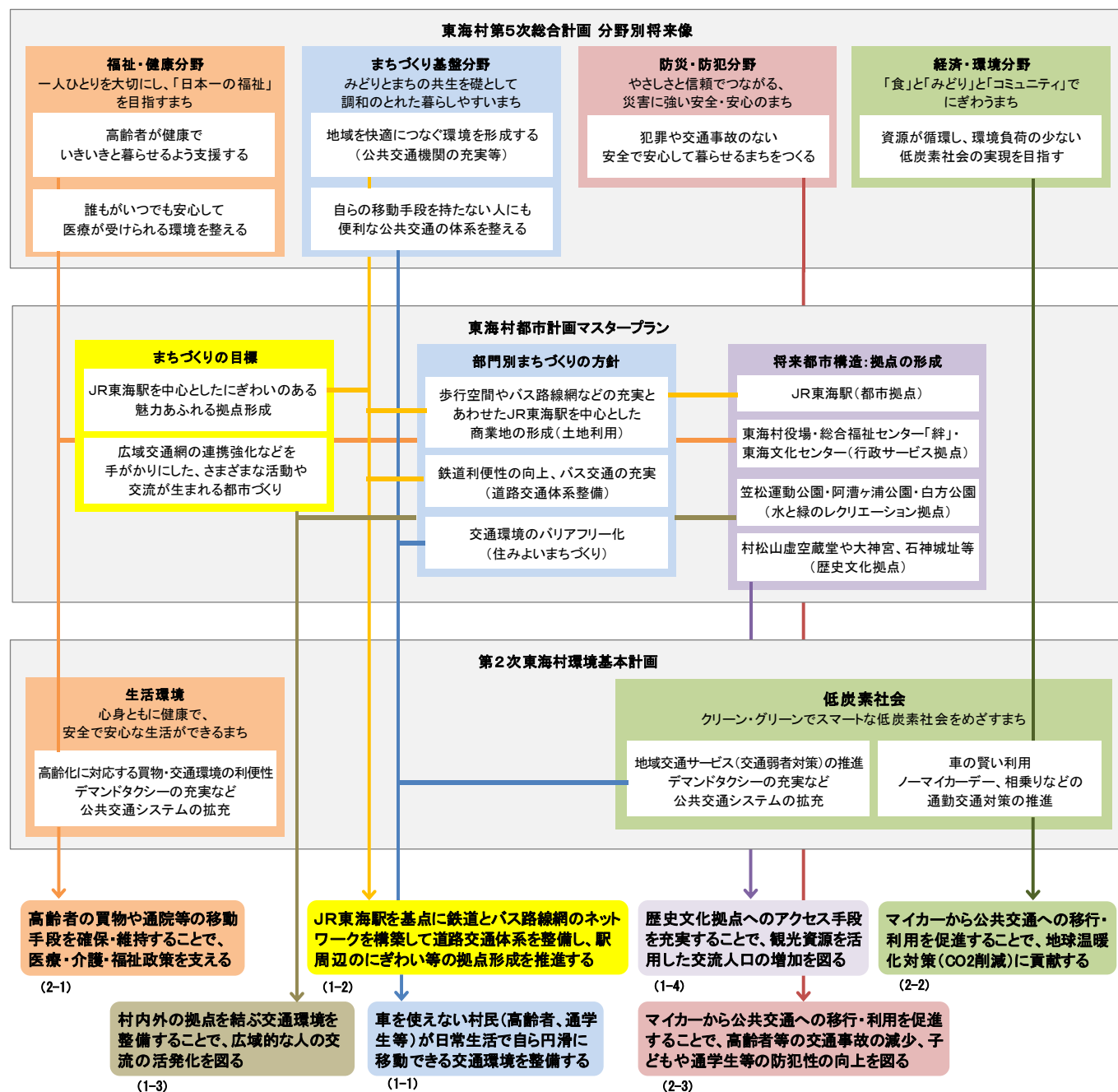
1. 車を使えない村民(高齢者・通学生等)が日常生活で自ら円滑に移動できる交通環境を整備する。
2. JR東海駅を基点に鉄道とバス路線網のネットワークを構築して道路交通体系を整備し、駅周辺のにぎわい等の拠点形成を推進する。
3. 村内外の拠点を結ぶ交通環境を整備することで、広域的な人の交流の活発化を図る。
4. 歴史文化拠点へのアクセス手段を充実することで、観光資源を活用した交流人口の増加を図る。

■2. 公共交通がもたらす効果(成果)面

1. 高齢者の買物や通院等の移動手段を確保・維持することで、医療・介護・福祉政策を支える。
2. マイカーから公共交通への移行・利用を促進することで、高齢者等の交通事故の減少、子どもや通学生等の防犯性の向上を図る。
3. マイカーから公共交通への移行・利用を促進することで、地球温暖化対策(CO₂削減)に貢献する。

4. 計画の方針と考え方

【上位・関連計画における東海村の将来像と公共交通が果たすべき役割と効果】



②地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成と

地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せの方針

東海村の公共交通の運行形態(運行範囲、運行日・時間帯、運行本数、運賃)と利用状況(利用者数、利用者層、行先・利用目的、利用者が多い時間帯)、評価・改善要望等は以下のよう
に整理される。

【東海村の公共交通の運行形態と利用状況、評価・改善要望】

	鉄道(JR常磐線)	高速・空港バス	路線バス 笠松線 須和間線		デマンドタクシー	タクシー	企業送迎バス
運行範囲 (エリア)	広域(東海村外)				域内(東海村内)		
運行日 運行時間帯 (平日/発着時間)	全日・5～23時台	全日・3～23時台	平日 6～19時台	全日 7～18時台	月～土曜日 8～16時台(発)	全日・24時間	平日 朝・日中・夜
運行本数 (平日)	上下線とも約50本	高速:往復13本 空港:往復2～18本	東海駅発2 /着5本	東海駅 発4/着4本	月～金曜:18本 土曜:17本	—	
運賃 (片道/初乗り他)	190円 ～大壺・勝田駅200円 ～水戸駅240円	高速:2,240円 空港:1,230～ 3,800円	170円/ 最高930円	170円/ 最高310円	300円(障がい者、要 介護認定者100円)	東海駅～原研正 門前約1,500円	無料
利用者数 (H25/1日平均/ []内は村内)	4,300人(H22)	高速:248人[26人] 空港:羽田38人[1人] 成田78人[5人]	118人 [7人]	15人	153人 (8.6人/便、1.5人/台)		384人(H22国勢 調査、勤め先・学校 のバス利用者計)
主な利用者層	水戸市・ひたちなか 市・日立市等間との 通勤・通学者(約3200 人/H22国勢調査)		通学生、 (笠松運動公 園利用者)	須和間 団地住民 (高齢者等)	高齢女性(70～80歳代、 1～2人家族、車を使えな い・送迎してもらえない)		事業所通勤者
主な行先 (利用目的)	水戸市・ひたちなか 市・日立市内への通 勤・通学、村内への		水戸市内の 高校等	東海駅 (買物等)	イオン東海店、村立東海 病院、総合福祉センター 「絆」、なごみ東海村総 合支援センター		事業所
利用者が 多い時間帯	7～8時台前半 18～19時台				9～11時台		7:30～8:00
評価、改善要望等					希望通りに予約できない 所要・到着時間が不便 村外へのアクセス要望 (ひたち海浜公園等)		原子力関係機関 は構内まで入る 必要がある

■1. デマンドタクシーの運行成果と高齢者(移動制約者)の潜在需要

上記に示しているように、公共交通に求められている、移動制約者(車を使えない・使いにくい高齢者や通学生等)の日常生活の移動手段の確保という観点では、高齢女性の東海村内の買物や通院、福祉施設へのアクセスは、デマンドタクシーによって一定程度、確保されているといえる。

しかしながら、想定される高齢の移動制約者(高齢者1人暮らし世帯778、夫婦共に後期高齢者世帯294、免許を持っていない高齢者約3,200人等)及び、デマンドタクシーの利用者数(1日平均)の高齢者人口に対する比率(60歳代0.3%、70～90歳代1.2～2.6%)、登録者数に対する比率(1.9%)を考え合わせると、デマンドタクシーによって、移動制約者の全ての需要を充足しているとは考えにくい。

■2. デマンドタクシーに対する改善要望

デマンドタクシーの運行システムに対しては、予約の空き状況や所要時間・到着時間への改善要望がある。また外出頻度は少ないが、村外の施設(ひたち海浜公園とその周辺、水戸駅周辺、勝田駅周辺等)への要望がある。

これは、家族や友人等との「お出かけ」的な要素が大きく、デマンドタクシーが運行していない日曜日の外出が多いと考えられる。これらの要望に対応するには、車両の増車及び運転士とオペレーターの増員が必要となり、公的負担の増額を招く恐れが高いことから、安易に対応することは難しい。

【デマンドタクシー登録者の外出先の要望と想定される移動需要】



■3. デマンドタクシーでは対応できない移動需要

一方、JR常磐線による通勤や高校生等の通学は、デマンドタクシーの運行時間外の移動であり、かつ事前予約・乗合型のデマンド方式では対応しきれない需要である。通勤・通学は、水戸市・ひたちなか市・日立市の3市間との移動が、通勤は約7割、通学は約8割を占めている。

その交通手段は車が大半であるが、村民の3市への通勤・通学移動ではJR常磐線を1日平均約2,500人が利用している。路線バスは、一部を除いて通勤・通学の利用はされていないことから、通勤・通学時間帯に、村内各地から東海駅へのアクセス手段(夕方～夜間はその帰りの移動)が求められている。

また、企業送迎バスによる、主に東海駅から国道6号・245号沿線の事業所への通勤は、事業所別の事情から、国道6号沿線の事業所への対応がより必要と考えられる。

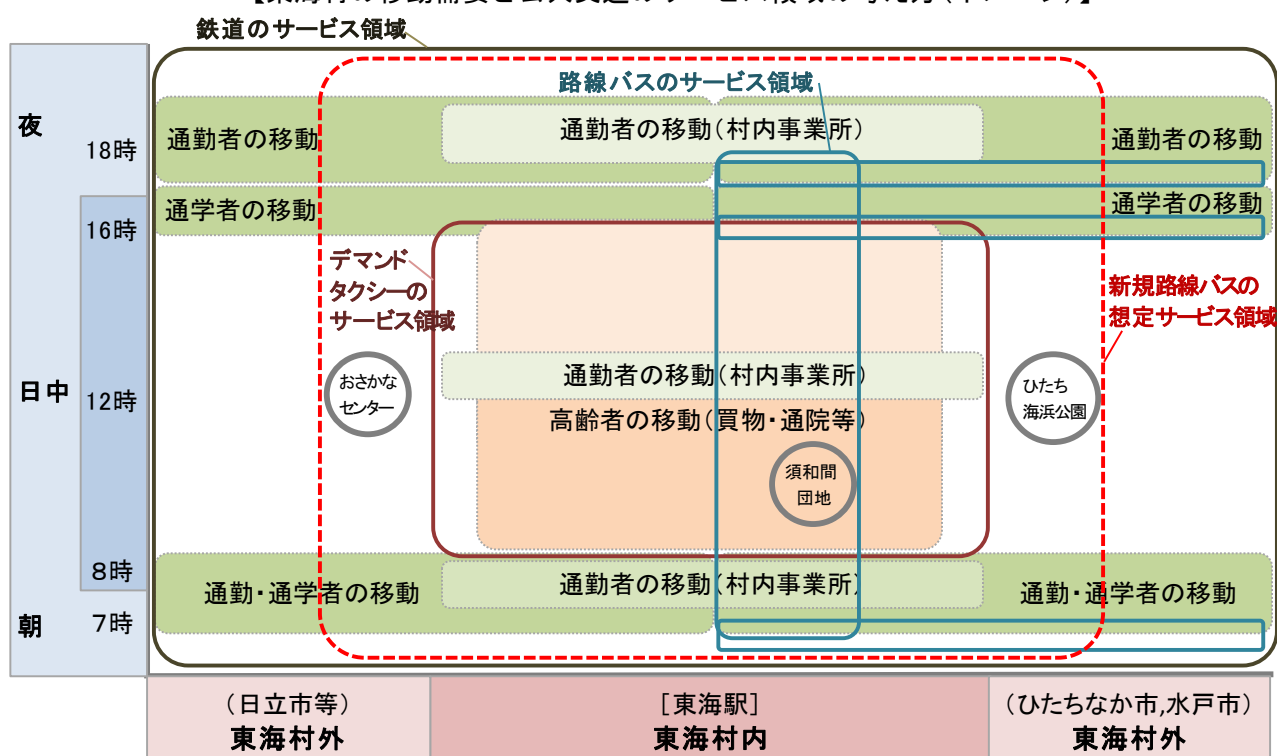
■4. 新規の路線バスによる対応

以上のようなデマンドタクシーでは対応できない移動需要に対しては、バスが有効な交通手段となる。しかし、運行を終了(廃止)した福祉循環バスのように、村内をくまなく回る循環形態では、目的地まで時間がかかってしまい利用されない。村内各地域と目的地を短時間で、往復とも同じ道路を運行する路線バスがその役割を担えることから、現行の路線バスに加えて、新規の路線を設定する必要がある。

デマンドタクシーは、運行システムへの改善要望への対応は行う必要性はあるが、デマンドタクシーという単一の交通モードで、全ての移動需要を担うことは不可能なことから、公的負担という持続性の観点から、可能な範囲で改善を行うこととする。

新規路線バスとデマンドタクシーは、約37km²とコンパクトな東海村全域をその運行範囲(エリア)とするが、利用対象者は異なることから、それぞれが担う導入(運行)目的にそって役割分担を行うといえる。

【東海村の移動需要と公共交通のサービス領域の考え方(イメージ)】



■5. 新規路線バスの運行方針

東海村は、過去に運賃無料の福祉循環バスを運行終了(廃止)するとともに、路線バスも7路線から2路線へと減少(廃止)した経緯から、運賃収入だけでは運行に要するコストを賄えない地域といえる。

したがって、新規路線バスは、有料運賃で一定の収入を確保しつつ、それでは賄えない経費については、デマンドタクシー同様、公的支援を行うことで持続的な運行を確保する。公的負担額を軽減するためには、効率的な運行(より少ない車両・運転士による運行)を行いつつ、多くの運賃収入(利用者数)を確保しなければならない。

そのために、試行運行として一定期間(半年間)の運行を行い、その利用者数等のデータを収集・分析し、利用者の評価や改善要望を把握する。それらの結果を検証した上で、改めて運行システムやサービス水準を、本計画(東海村地域公共交通網形成計画)に反映させ、必要な改善・見直しを行って本格運行へ移行することとする。その後、3年間を目安として、評価・検証及び公的支援の状況等を協議することとする。

■6. 持続的な公共交通ネットワークの形成

持続的な公共交通ネットワークを形成するためには、公共交通が運賃収入に加えて、実質的な委託料である公的負担(補助金)を含めて、運行コストを賄えることが重要となる。したがって、路線バスとデマンドタクシーは、効率的な運行と利用者数の確保(拡大)を常に目指さなければならない。そのために、行政と交通事業者、地域が一体となって、継続的な利用促進方策を行う。

既存の路線バス(2路線)は、新規の路線バスの試行運行の影響とその検証結果を参考にしながら、本格運行への移行に合わせて、ネットワーク形成に向けた必要な改善を行うこととする。

タクシーは、他の公共交通が運行していない時間帯や複数人による移動、荷物が多い時や移動に困難を伴う場合の移動といった重要な役割を担っており、路線バスとデマンドタクシーのどちらでも対応できない需要に対する交通手段となる。

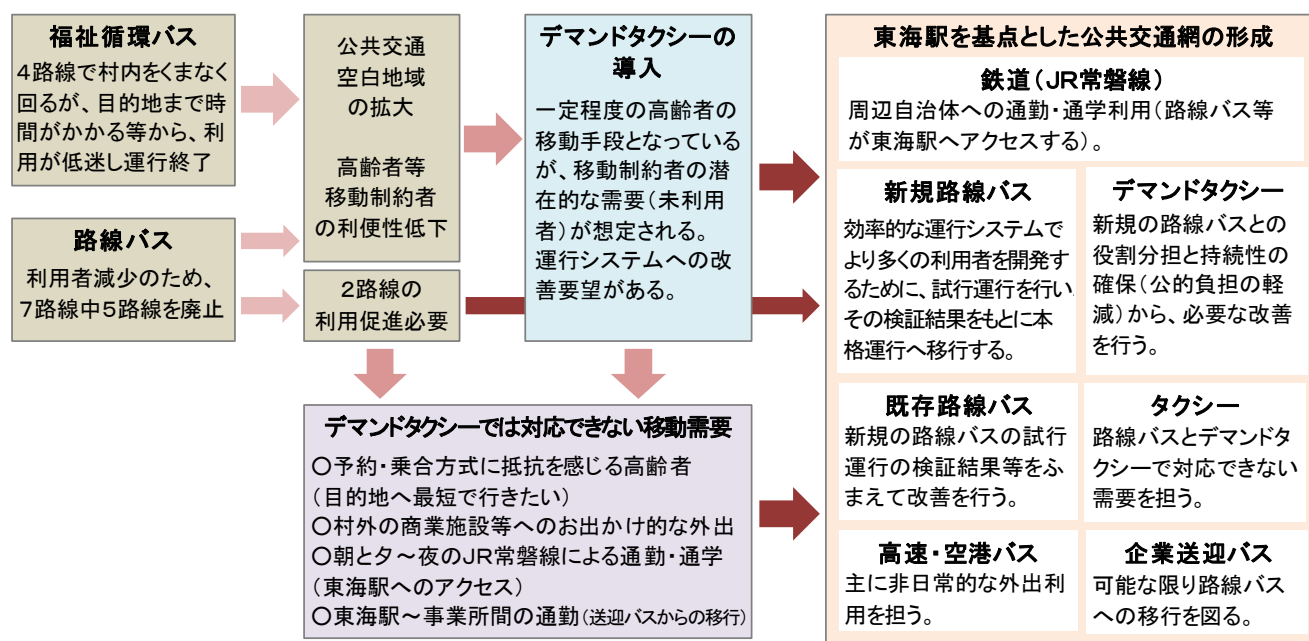
企業送迎バスについては、企業側へ働きかけて、可能な限り路線バスへの利用移行を図る。

高速・空港バスは、鉄道と同じ広域交通であるが、日常の通勤・通学利用よりも、遊びや旅行といった非日常的な利用が主となることから、補完的な位置付けとする。

なお、新規路線バスは、村外の外出先の要望のうちJR常磐線では行きにくい、隣接するひたちなか市のひたち海浜公園と、日立市のおさかなセンターへアクセスする。自治体が運行主体となる、または運行を支援する公共交通(コミュニティバス、デマンド交通等)は、行政区域内の運行とすることが多い。住民の生活圏(移動範囲)は、必ずしも行政区域と一致しないため、行政区境は公共交通の空白地域となる。

新規路線バスがひたち海浜公園とおさかなセンターへアクセスすることで、それぞれひたちなか市のコミュニティバス(勝田駅行等)、日立市のひたちBRT(大甕駅行)と接続が可能となり、隣接市を含めた公共交通ネットワークの形成に寄与することになる。

【東海村の地域公共交通網形成の考え方】



③住民の協力を含む関係者の連携

■1. 住民・地域団体との連携及び住民・利用者ニーズの把握

東海村においては、「2(3)公共交通への取組経緯」にあるように、福祉循環バスの利用低迷を受けて、デマンドタクシーを導入している。検討にあたっては、平成17年度に「デマンド交通運行委員会」を設置している（平成26年度に、「地域公共交通の在り方検討委員会」と統合して、道路運送法に基づく「地域公共交通会議」を設置）。

デマンド交通運行委員会には、住民・利用者代表及び関係団体・機関として下記のような多様な関係者・団体・機関が参画してシステムの検討・協議を行い、平成17年12月からの試行運転、平成18年4月から本格運行へ移行している。

民生委員・児童委員協議会／老人クラブ連合会／身体障害者福祉協議会／地域福祉計画推進委員会／女性団体連絡協議会／ボランティア連絡協議会／商工会／社会福祉協議会／交通事業者／国土交通省（茨城運輸支局）／警察／村議会／東海村関係部局（福祉部、教育委員会他）

※ 団体名については当時の名称

デマンドタクシーの導入に際しては、まず、福祉循環バスの利用実態とシステムへの評価を把握するために、2回のアンケート調査を実施している（第1弾：16歳以上の村民1,000人を対象に実施、第2弾：バス車中に調査票を置いて利用者200人を対象に実施）。さらに、20歳以上の村民1,000人を対象に、交通手段に関するアンケート調査を実施している。

これらのニーズ把握調査及び、デマンド交通運行委員会の4回に渡る検討・協議の結果、デマンドタクシーの試行運転開始段階で、990世帯・2,000人が利用登録を行っている。その後も登録者数は毎年度増加し、平成25年度末で累計8,009人となっている。

平成26年度の新規路線バスの検討にあたっては、デマンドタクシーの登録者1,000人を対象

にアンケート調査を実施して、デマンドタクシーのシステム評価と、日常の移動実態(村内と村外)や隣接市への移動需要などを把握した。

地域公共交通会議では、アンケート調査結果等をふまえて、新規路線バスの運行計画について検討・協議を行っている。そして、地域公共交通活性化・再生法の改正を受けて、デマンドタクシーと既存の路線バス、鉄道を含めた東海村地域公共交通網形成計画を策定することとなった。そのために、第5回会議において、設置要綱の一部を改正するとともに新たな委員の参画も得て、地域公共交通活性化・再生法に基づく法定協議会も兼ねる会議体へ移行している。第7回の会議において、東海村地域公共交通網形成計画を策定(承認)している。

■2. 行政と専門家・交通事業者との連携

地域公共交通会議で協議を行うにあたっては、事務局(村長公室 まちづくり推進課)と学識経験者(山田稔氏／茨城大学工学部都市システム工学科教授)、交通事業者(茨城交通・みちのりホールディングス)による三者協議会を定期的を開催している。

三者協議会では、デマンドタクシー登録者へのアンケート調査の実施方法や設問内容、新規路線バスの試行運行計画(ルート・バス停留所、ダイヤ、運賃体系等)、新規路線バスの利用促進方策(広報・PR等)、新しい制度(改正地域公共交通活性化・再生法)の活用方針、地域公共交通網形成計画の検討などを行っている。

■3. 関係機関・企業等との連携

新規路線バスは、隣接市との行政区境を越えて運行する(ひたち海浜公園とおさかなセンターへアクセス、那珂市内の一部運行)。そのため、地域公共交通会議を地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会として設置(道路運送法に基づく地域公共交通会議の機能に付加)した際に、関係自治体として、日立市、ひたちなか市、那珂市の公共交通担当部署の参画を得ている。

新規路線バスの試行運行計画(ルート・バス停留所、ダイヤ、運賃体系)の協議は、日立市のひたちBRT及び、ひたちなか市・コミュニティバス「スマイルあおぞらバス」の運行概要(ルート、時刻表)を共有して行っている。

企業との連携においては、村内の主要事業所に対してヒアリング調査を行い、通勤者の実態や送迎バスの運行方法、路線バスへの移行可能性などを把握している。新規路線バスの試行運行の計画確定後は、その説明と共に、社員(通勤者)への案内や送迎バスからの移行等の働きかけを行っている。

(2) 東海村地域公共交通網形成計画の基本的な方針

前節「(1)地域公共交通の活性化及び再生の推進に向けた取組の方向性」をふまえて、東海村地域公共交通網形成計画の基本的な方針を以下のように定める。

行政、村民・関係者、交通事業者との協働により

東海村及び周辺地域の公共交通の活力を創造する

1. 快適な村民生活とまちの発展を支えるインフラとしての地域公共交通を充実する
2. 持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する
3. 村民の日常生活の移動手段を確保し、移動制約者の外出を支援することで元気な高齢者を増やす
4. 安全・安心、環境、まちづくりに貢献すると共に、隣接自治体との交流促進を目指す

■1. 快適な村民生活とまちの発展を支えるインフラとしての地域公共交通を充実する

交通計画をまちづくり計画と一体になって検討・推進するという「交通まちづくり」の考え方によって、地域社会(コミュニティ)や地域経済の活性化を支えるサブシステムとしての公共交通網の構築を目指す。

■2. 持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する

村民(利用者)をはじめ誰もが使いやすく利便性が高い公共交通機関をつくり、持続可能な公共交通システムを構築する。

マイカー等私的交通から公共交通への利用転換を促進する取り組みを幅広く展開し、公共交通から離れてしまった村民を呼び戻し、バランスのとれた交通体系を目指す。

■3. 村民の日常生活の移動手段を確保し、移動制約者の外出を支援することで元気な高齢者を増やす

車を使えない高齢者や高校生などの移動制約者の外出行動時(買物、通院、通学、用事等)において、自ら円滑に移動できる公共交通ネットワークの構築を目指す。

高齢化のさらなる進展によって、今後運転ができなくなる人や運転をしたくない人、あるいは家族から運転を止められる人が増えることが予測される。その状況に対応できる日常生活の足(公共交通)を確保する。

■4. 安全・安心、環境、まちづくりに貢献すると共に、隣接自治体との交流促進を目指す

公共交通の利用を促進することで、高齢者等の交通事故の減少、子どもや通学生等の防犯性

の向上、地球温暖化対策(CO₂削減)に貢献する。

東海村の観光資源の活用及び、産業活動やその歴史を観光の観点でとらえる産業観光の実現に向けて多様な主体との連携を強め、さらに隣接市との協働を図って、公共交通サービスによる交流人口の増加を目指す。

(3) 地域公共交通網形成計画の区域

■東海村地域公共交通網形成計画は東海村全域とする

本計画は、東海村全域を計画区域とする。

なお、「(1)地域公共交通の活性化及び再生の推進に向けた取組の方向性」に記載しているように、東海村は約37km²とコンパクトな圏域であるため、村民の通勤・通学及び買物や遊びの外出先(要望)は隣接市にまたがっている。そのため、新規路線バスは、隣接するひたちなか市と日立市にある観光施設等へもアクセスを図ることになっている。その施設において、ひたちなか市のコミュニティバスと、日立市のひたちBRTと接続することで、両市を含めた広域的な公共交通ネットワーク形成に資することとなる。

また、路線の一部は道路事情等により、同じく隣接する那珂市を運行することから、地域公共交通会議に3市の担当部署の参画を得て、計画の検討・協議を行っている。

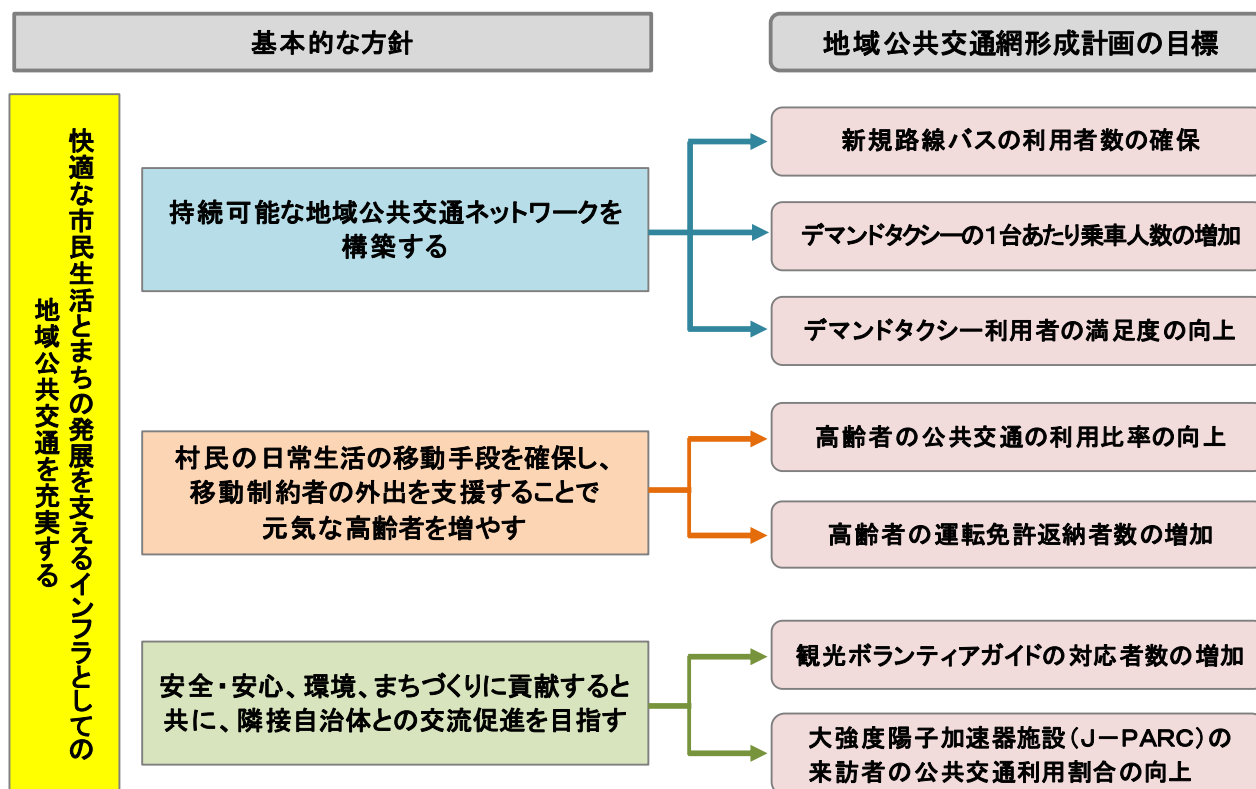
(4) 地域公共交通網形成計画の目標と事業・実施主体、達成状況評価

①地域公共交通網形成計画の目標

■1. 目標の設定

「(2)東海村地域公共交通網形成計画の基本的な方針」に即して、東海村地域公共交通網形成計画の目標を以下のように定める。

【東海村地域公共交通網形成計画の目標設定】



■2. 数値目標の設定

各目標の数値目標は次のように設定する。東海村地域公共交通網形成計画の期間は平成27年度から平成32年度までの6年間とする(「(5)①計画期間」参照)ことから、中間目標は定めないこととする。目標の中には、数値(データ)の公表までに期日を要するものがあるため、その目標値は基準年度から6年後の値とする。

なお、新規路線バスは、一定期間(半年間)の試行運行を行い、その検証結果を地域公共交通網形成計画に反映させ、必要な改善・見直しを行って本格運行へ移行することとしている。また、デマンドタクシーと既存路線バスの利用状況は、新規路線バスの運行の影響を受けることが予想される。そのため、数値目標は、新規路線バスの試行運行の結果により、必要に応じて見直しを行って再設定することとする(「(4)③地域公共交通網形成計画の達成状況の評価」に詳細な記載をしているとおり、新規路線バスは本格運行後3年間を目安に評価を行うが、本計画全体の評価ではなく、主に新規路線バスの公的支援と運行のあり方を協議するために行うものである)。

□1. 新規路線バスの利用者数の確保

新規路線バスは、運賃収入と実質的な委託費となる公的支援によって、運行を行うこととしている。持続可能な地域公共交通とするには、公的支援額を軽減するために、一定の利用者数(運賃収入)を確保することが必要となる。そのため、平成18年に運行を終了(廃止)した福祉循環バスの年間利用者数(34,444人/平成16年度)及び、既存路線バス・須和間線の年間利用者数(5,314人/平成26年度)、廃止をした路線バス5路線(系統)の中で、最も利用者が多かった晴嵐荘病院線(東海駅～晴嵐荘病院/現・茨城東病院)の年間利用者数(39,165人/平成20年度)を参考に、60,000人を目標値として設定する。

※新規路線バス4路線の内、1路線(東海駅東口～茨城東病院線)は旧晴嵐荘病院線とほぼ同じルート・運行本数となること、他の3路線は須和間線を参考に4路線計として目標値を設定している(「2(3)東海村における公共交通への取組経緯」「5. 新規路線バスの試行運行計画」参照)。

目標	基準	目標値(平成32年度)
新規路線バスの利用者数の確保	—	年間60,000人

□2. デマンドタクシーの1台あたりの乗車人数(乗合率)の増加

デマンドタクシーは、一定の高齢者の移動手段として評価を受けている。しかし、想定される高齢の移動制約者(高齢者1人暮らし世帯778、夫婦共に後期高齢者世帯294、免許を持っていない高齢者約3,200人等)及び、1日平均の高齢者人口に対する比率(60歳代0.3%、70～90歳代1.2～2.6%)を考え合わせると、高齢者を中心に潜在的な需要が考えられる。そのため、必要なシステム改善を行って、利用者数の増加を図ることとする。その目標値は、乗合というデマンド・乗合方式の特性を表す1台あたりの乗車人数(乗合率)とし、平成25年度の1.5人/台から1.8人/台とすることを目指す。

目標	基準	目標値(平成32年度)
デマンドタクシーの1台あたり乗車人数の増加	1.5人/台(平成25年度)	1.8人/台

□3. デマンドタクシー利用者の満足度の向上

デマンドタクシーの利用者数を増加させるために、システム改善を行うことを想定している。平成26年度に実施した登録者(1,000人)を対象としたアンケート調査では、利便性に対する設問として、利用券の購入・支払、料金の妥当性、予約時の空き状況、乗車時間・所要時間・到着時間について、個別に満足度を把握している。その上で、総合的な使い勝手の満足度を4段階で把握した結果、改善を必要とする回答が約35%(「やや使いにくい」「もっと改善が必要」の計)あり、満足度は約60%(「とても使いやすい」「特に問題ない」の計)であった。そのため、必要なシステム改善を行うことで、改善を必要とする回答を減少させて、満足度の値を70%とすることを目指す。

[デマンドタクシー登録者アンケート調査結果]

とても使いやすい:20.2%/特に問題ない:39.9%/やや使いにくい点がある:25.1%/

もっと改善が必要：9.5％／その他：5.3％

目標	基準	目標値(平成32年度)
デマンドタクシー利用者の満足度の向上 (登録者アンケート調査における総合的な使い 勝手に関する満足評価の回答割合)	60%(平成26年度調査)	70%

□4. 高齢者の公共交通(デマンドタクシー)の利用比率の向上

デマンドタクシーは、60歳以上の利用者が約8割を占め、買物や通院、福祉施設への移動手段として利用されている。しかし、1日平均利用者(153人／平成25年度)の年齢別利用者数(推定)の各年代人口に対する比率は、60歳代が0.3%、70歳代が1.2%、80歳代が2.6%、90歳代が1.5%であり、合計では1.0%となっている。そのため必要なシステム改善を行い、高齢者に対する利用促進を行うことで、この比率を倍増させることを目指す。

目標	基準	目標値(平成32年度)
高齢者の公共交通の利用比率の向上 (デマンドタクシーの60～90歳代の1日平均 利用者数の年代別人口に対する比率)	1.0%(平成25年度)	2.0%

□5. 高齢者の運転免許返納者数の増加

東海村の高齢者の運転免許保有者数(平成25年12月31日現在)は、5,284人(前期高齢者3,812人、後期高齢者1,472人)と推定される。高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となっている中で、高齢化の進展によって、運転ができなくなる人や運転をしたくない人、あるいは家族から運転を止められる人が増えることが予測される。そうした高齢者が車の運転を止めても、日常生活の移動に困らない地域公共交通ネットワークを構築することで、運転免許返納者の増加を図る。

目標	基準	目標値(平成32年度)
東海村の高齢者の運転免許返納者数の増加	17人(平成25年度)	34人

□6. 観光ボランティアガイドの対応者数の増加

東海村では、観光ボランティアガイド(ボランティア市民活動センター「えがお」の登録団体「とうかい村いきいきガイドの会」)が観光客等に対して、村松山虚空蔵堂と大神宮等の観光ガイドを行っている。村内の観光資源を活用した交流人口の増加を目指すことから、観光ボランティアガイドによる対応者数をその指標とし、その目標値は6,000人とする。

目標	基準	目標値(平成32年度)
観光ボランティアガイドの対応者数の増加	5,000人(平成25年度)	6,000人

□7. 大強度陽子加速器施設(J-PARC)の来訪者の公共交通利用割合の向上

日本原子力研究開発機構原子力科学研究所内にある大強度陽子加速器施設(J-PARC)は、原子力工学等の分野において、世界最高クラスの大強度陽子ビームを生成する加速器と、その大強度陽子ビームを利用する実験施設で構成される、最先端科学の研究施設である。国内外から多数の研究者が訪れている。そのため、新規路線バスがアクセスすることで、公共交通による来訪者の増加を目指す。その指標は、入構時の登録申請において把握する、来訪手段の公共交通利用割合を用いることし、目標値は25%とする。

目標	基準	目標値(平成32年度)
大強度陽子加速器施設(J-PARC)の 来訪者の公共交通利用割合の向上	—	25%

②目標を達成するために行う事業及びその実施主体

■1. 公共交通のサービス領域・全体像と取り組む事業

前節までに示したように、東海村では、デマンドタクシーによって、一定程度の高齢女性(移動制約者)の東海村内の買物や通院、福祉施設への移動は確保されている。しかし、予約・乗合方式に抵抗を感じる、また村外の施設(ひたち海浜公園とその周辺、水戸駅周辺、勝田駅周辺等)への要望がある。加えて、JR常磐線による主に水戸市・ひたちなか市・日立市の3市間との通勤・通学は、デマンドタクシーの運行時間外の移動であり、かつ事前予約・乗合型のデマンド方式では対応しきれない需要であるが、既存の路線バスでは対応しきれていない。また、東海駅から村内(国道6号・245号沿線)の事業所への通勤は、企業送迎バスで対応しているが、公共交通への移行が求められているといえる。

以上のようなデマンドタクシーでは対応できない移動需要に対応し、東海村の地域公共交通ネットワークを形成するために、以下の方針(サービス水準)で事業を実施する。

□1. 新規路線バスの運行

- ・村内各地区と東海駅を接続して、JR常磐線を利用する通勤・通学者の移動手段の役割を担う。
- ・運行経費を可能な限り軽減するために、車両2台で効率的な運行ができるルートとし、最短で東海駅等の目的地へアクセスできるように、幹線道路を運行する。
- ・村内の事業所への通勤対応は、既存路線バス(笠松線)を補完し、東海駅から国道6号沿線の事業所へアクセスする。
- ・高齢者の通院先として、デマンドタクシーの利用が少ない茨城東病院へアクセスする。
- ・村外の外出先の要望のうちJR常磐線では行きにくい、ひたちなか市のひたち海浜公園と、日立市のおさかなセンターへアクセスする。
- ・上記の方針から、次の4路線を新設する。
 1. 東海駅と駅東側エリア(真崎地区)、茨城東病院を結ぶ路線
 2. 東海駅と駅東側エリア(真崎地区)、東南エリア(村松地区)を通り、ひたち海浜公園を結ぶ路線
 3. 東海駅と駅北西エリア(石神地区)を通り、おさかなセンターを結ぶ路線
 4. 東海駅と国道6号沿線の事業所、駅西側エリア(舟石川・船場地区)を結ぶ路線
- ・運行ダイヤは、朝と夕方～夜は通勤・通学者の乗車が多い電車及び、降車が多い電車(国道6号沿線事業所へ)と接続する。通勤・通学移動がない日中に、ひたち海浜公園とおさかなセンターへアクセスする。
- ・運賃無料の福祉循環バスの運行終了(廃止)の経緯をふまえ、一定期間(半年間/平成27年4～9月)の試行運行を行い、その評価・検証結果を地域公共交通網形成計画に反映(変更)させ、必要な改善・見直しを行って本格運行へ移行(平成27年10月予定)する。

※試行運行計画(運行ルート、運行ダイヤ、運賃体系等)は「5. 新規路線バスの試行運行計画」参照

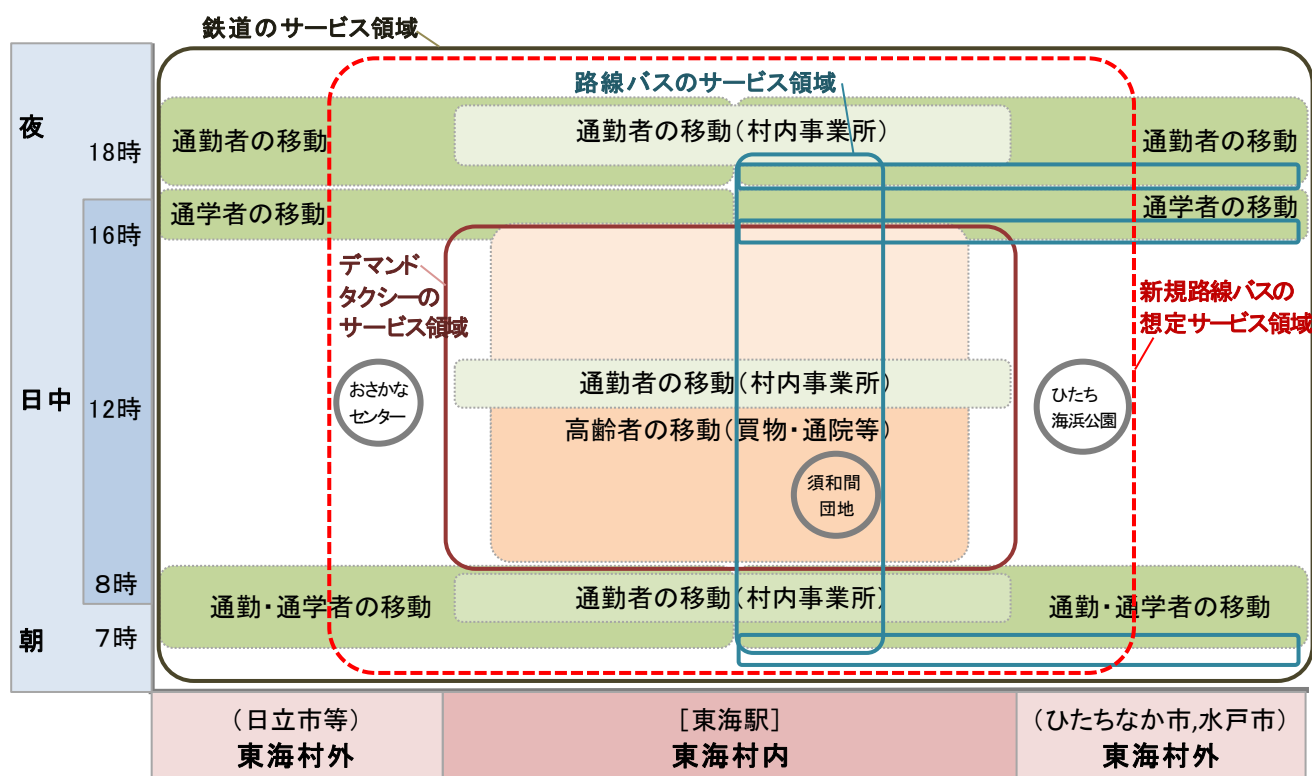
□2. デマンドタクシーの改善運行

- ・デマンドタクシーは、高齢女性の日常生活の移動需要を担っていることから、新規路線バスの試行運行による利用者数・層、利用状況等の変化を把握する。その上で、路線バスとの役割分担と持続性の確保(公的負担の軽減)の観点から、必要な改善方策を地域公共交通網形成計画に位置付け、新しいシステムによる運行を実施する(平成27年10月予定)。
- ・予約の取りやすさや所要時間・到着時間の短縮要望に対応するため、公的負担の増額を招かない範囲で、ダイヤ(運行時間・便)、車両台数、オペレーションシステム(予約受付)を改善する。

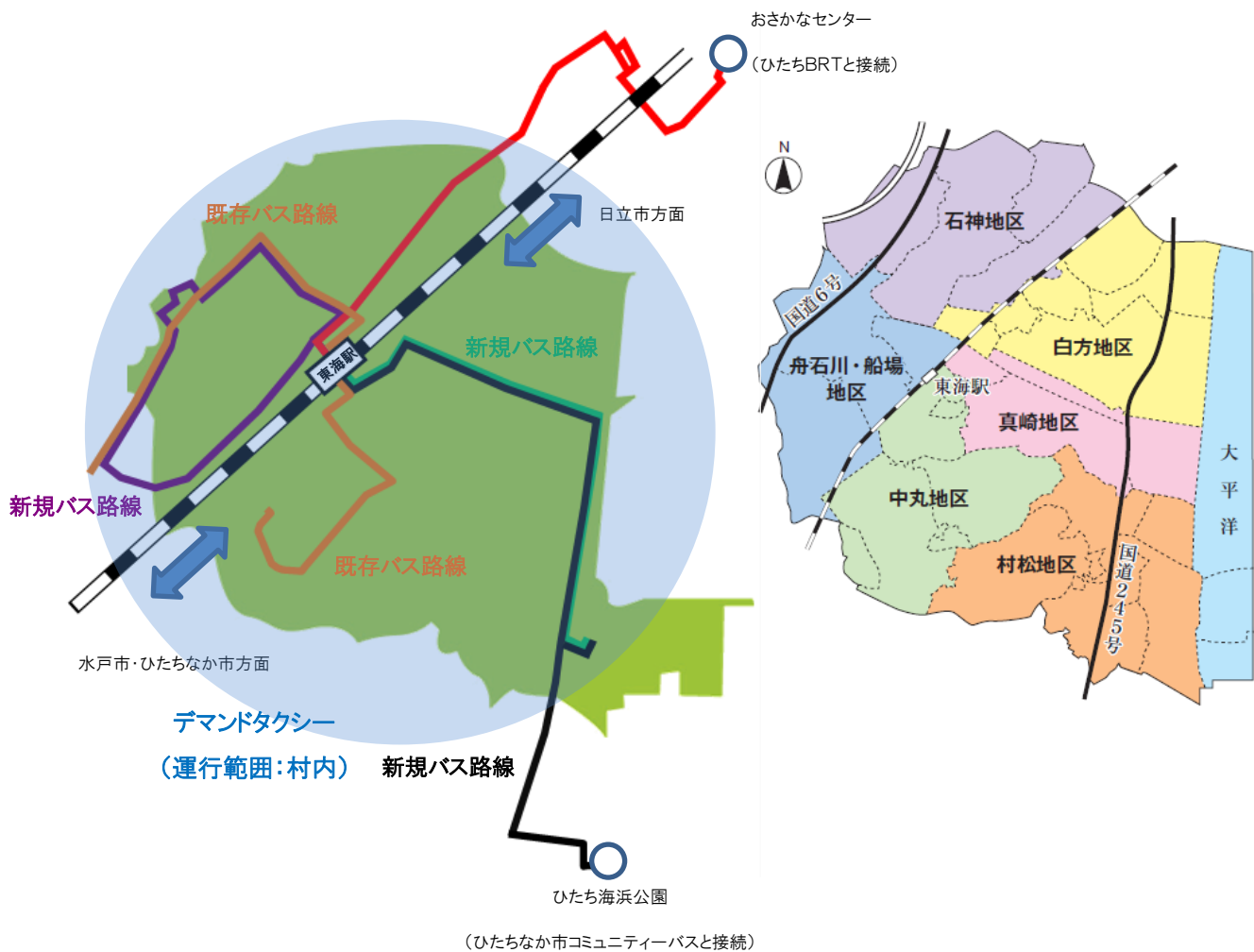
□3. 既存路線バスの改善運行

- ・路線バスは、運賃無料の福祉循環バスを運行終了(廃止)し、デマンドタクシーを導入する中で7路線から2路線へと減少(廃止)している。既存の2路線(須和間線、笠松線)は、公的支援を受けていないなかで、サービス水準(運行本数)を維持している。
- ・デマンドタクシー同様、新規路線バスの試行運行の影響と評価・検証結果をふまえて、新しい利用者(需要)の開発を目指した改善方策を地域公共交通網形成計画に位置付け、運行を実施する(平成27年10月予定)。
- ・笠松線は、新規路線バスの1路線(東海駅と国道6号沿線の事業所、駅西側エリアを結ぶ路線)と運行ルートの一部が重複する。しかし、既存路線バスの利用者は主に水戸市内の高校への通学生であることから、国道6号沿線の事業所への通勤利用者を主な対象とする新規路線バスとは相互補完が可能である。

【東海村の移動需要と公共交通のサービス領域の考え方(再掲)】



【東海村の地域公共交通ネットワークのイメージ】



■2. 利用促進のために取り組む事業

新規路線バスの運行とデマンドタクシー・既存路線バスの改善運行を行うと共に、利用者数の増加や利用者の満足度の向上、高齢者の利用率の向上といった目標を達成するために、次の事業を実施する。

□1. 乗継利便性の向上方策

- ・新規路線バスの試行運行の利用状況と、利用者の評価・要望などを把握して、バス路線同士、バス路線とデマンドタクシーの乗継利便性向上方策を実施する。
- ・乗継利用は、デマンドタクシーから新規路線バスへ乗り継いで、村外(ひたち海浜公園、おさかなセンター)へ行く利用が想定される。この場合、デマンドタクシーの運賃(300円)に新規路線バスの運賃(距離制/初乗り170円～最大520円)が加算される。デマンドタクシー登録者の要望では、片道500円程度が最も多いことから、乗継割引制度の導入が必要となる。また、新規路線バスの運賃をゾーン制とすることが考えられる。
- ・新規路線バスの実施主体である茨城交通では、平成28年3月までにＩＣカードを導入する予定であることから、乗継割引運賃やゾーン制運賃は精算が容易となるＩＣカード導入後とすることが考えられる。
- ・利用者の乗継抵抗感は、待ち時間と待合環境も大きい。そのため、東海駅や基点となるバス停留所にベンチや風・雨除け等を設置する。

□2. 利用促進方策

- ・新規路線バスの試行運行開始(平成27年4月)に合わせて案内パンフレットの作成・配布、ラッピングバスの導入、広報・ＰＲ活動を行う。具体的には以下の取り組みを実施する(「5(2)③利用促進方策」参照)。
 1. 案内パンフレット(チラシ)の作成と東海駅及びその他村内での配布
 2. 東海村広報への掲載
 3. 東海村と交通事業者(茨城交通)の各ＨＰへの掲載
 4. 各種団体(自治会、高齢者クラブ等)の会議・総会等におけるＰＲ
 5. 事業所への説明とＰＲ(通勤時の利用、送迎バスからの移行促進)
 6. 教育委員会との連携(子ども企画展・乗車体験、校外活動における利用促進)
 7. 村内中学生(3年生)・高校生への通学利用のＰＲ
 8. ラッピング車両の導入(2台/東海村観光協会キャラクター)
 9. バス車内広告スペースの活用(村のイベント等の案内)
 10. 交通事業者(茨城交通)によるＰＲ(水戸市内、ひたちなか市内営業所所属車両の車内における車内放送と広告掲載)
- ・平成27年10月に予定している新規路線バスの本格運行及び、デマンドタクシーと既存路線バスの改善運行による地域公共交通ネットワーク形成に向けた再編においては、上記の利用促進方策の成果をふまえて、より効果が期待できるよう実施する。

■3. 事業及びその実施主体

前項までに示した取り組む事業(実施目的、事業内容)と実施主体、実施予定時期は以下のとおりである。

	実施目的	事業内容	実施主体	実施予定時期
①新規路線バスの運行				
	・デマンドタクシーでは対応できない需要(予約・乗合方式に抵抗を感じる高齢者、村外の商業施設等への外出、朝・夕～夜の通勤・通学)に対応する。 ・隣接自治体と結ぶことで、村外からの交流人口の増加を図る。	・村内各地区と東海駅、東海駅と国道6号沿線の事業所、茨城東病院、ひたち海浜公園と周辺商業施設(ひたちなか市)、おさかなセンター(日立市)を結ぶ4路線を設定する。	東海村 (地域公共交通会議) 交通事業者 (茨城交通)	試行運行(平成27年4～9月)の評価・検証結果をふまえて、本格運行へ移行する(平成27年10月予定)。
②デマンドタクシーの改善運行				
	・新規路線バスの試行運行の影響と評価・検証結果をふまえて、路線バスとの役割分担と持続性の確保(公的負担の軽減)の観点から、必要な改善を実施する。	・予約の取りやすさや所要時間・到着時間の短縮要望に対応するため、公的負担の増額を招かない範囲で、ダイヤ(運行時間・便)、車両台数、オペレーションシステム(予約受付)を改善する。	東海村 (地域公共交通会議) 交通事業者 (東海駅構内ハイヤー組合)	新規路線バスの本格運行への移行に合わせ、必要な改善方を地域公共交通網形成計画に位置付けて実施する(平成27年10月予定)。
③既存路線バスの改善運行				
	・新規路線バスの試行運行の影響と評価・検証結果をふまえて、新しい利用者(需要)の開発を目指した改善を実施する。	・高齢者を中心に、新しい利用者の開発に向けて、ルート、ダイヤ(運行時間・便)を改善する。	東海村 (地域公共交通会議) 交通事業者 (茨城交通)	新規路線バスの本格運行への移行に合わせ、必要な改善方を地域公共交通網形成計画に位置付けて実施する(平成27年10月予定)。
④乗継利便性の向上方策				
	・新規バス路線の試行運行の利用状況と、利用者の評価・要望などを把握して、バス路線同士、バス路線とデマンドタクシーの乗継利便性向上方策を実施する。	・デマンドタクシーから新規路線バスへ乗り継いで、村外(ひたち海浜公園、おさかなセンター)へ行く場合の乗継割引運賃制度、新規路線バスの運賃のゾーン制に取り組む。 ・東海駅や基点となるバス停留所にベンチや風・雨除け等を設置する。	東海村 (地域公共交通会議) 交通事業者 (茨城交通) (東海駅構内ハイヤー組合)	新規路線バスの本格運行への移行(平成27年10月予定)に合わせて、方策を地域公共交通網形成計画に位置付けるが、交通事業者(茨城交通)のICカード導入(平成28年3月まで)後とする。
⑤利用促進方策				
	・新規路線バスの試行運行開始(平成27年4月)に向けて、案内パンフレットの作成・配布、ラッピングバスの導入、広報・PR活動を行う。その成果をふまえて、新規路線バスの本格運行移行、デマンドタクシーと既存路線バスの改善運行においても継続して実施する。	・案内パンフレット(チラシ)の作成と配布 ・村広報及び村と交通事業者(茨城交通)のHPへの掲載 ・各種団体(自治会、高齢者クラブ等)と事業所へのPR ・教育委員会との連携(子ども企画展・乗車体験等) ・中学生(3年生)・高校生(東海高校)へのPR ・ラッピング車両の導入と車内広告スペースの活用 ・交通事業者(茨城交通)の営業車内でのPR	東海村 (地域公共交通会議) 交通事業者 (茨城交通) (東海駅構内ハイヤー組合) 関係者・団体	新規路線バスの試行運行開始に向けて、平成27年2～3月に実施し、以降継続して実施する。

③地域公共交通網形成計画の達成状況の評価

■1. PDCAサイクルの実施と推進体制

東海村地域公共交通網形成計画は、平成27～32年度の6年間を計画期間とする。その期間に、「(4)①地域公共交通網形成計画の目標」に掲げた目標を達成するために、「PDCAサイクル(Plan→Do→Check→Action)」の考え方、つまり計画→実施→評価・検証→改善・見直しのプロセスで取り組むこととする。

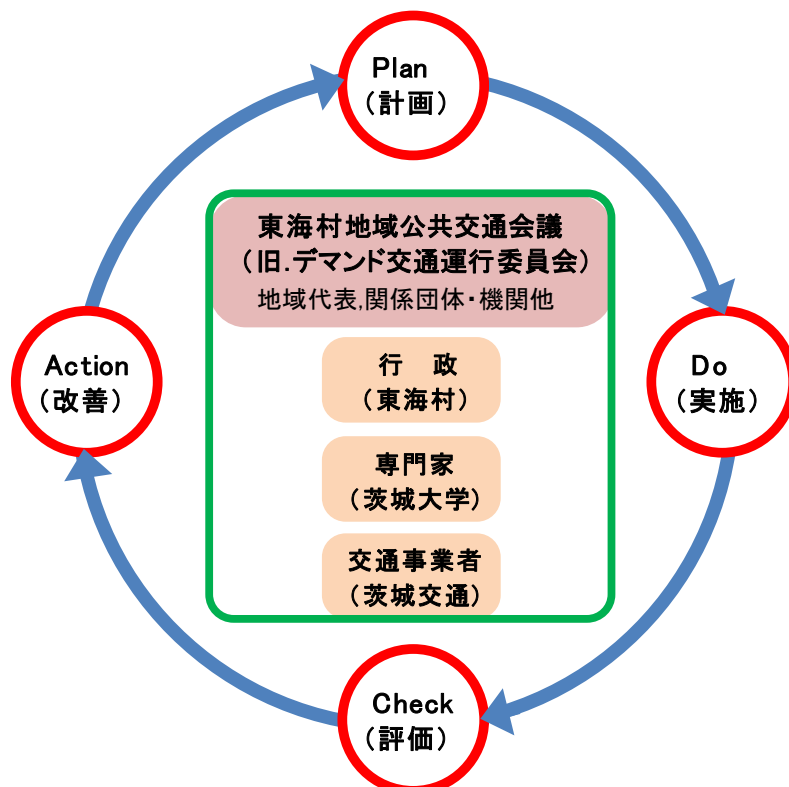
なお、新規路線バスは本計画をふまえて、平成27年度前半(4～9月)に試行運行を行い、その利用状況や利用者の評価等を検証し、地域公共交通網形成計画に反映させる。その上で、必要に応じて運行システムを見直して本格運行へ移行する。同時に、デマンドタクシーと既存路線バスも必要なシステム改善を行って、地域公共交通ネットワークの形成を目指す。それぞれの事業は、平成27年10月より実施することとし、その際、地域公共交通再編事業を活用することも検討する。

新規路線バスは、平成27年10月～平成30年9月までの3年間を目安に、その段階での評価を行う。利用者数や利用実態、運行収支、前項の数値目標の達成状況に加えて、公的支援額とその確保方策等をふまえた上で、運行のあり方を協議することとする。

新規路線バス、デマンドタクシー等の事業の実施は、交通事業者(東海駅構内ハイヤー組合)が行う。

評価・検証は、事務局と茨城大学(山田稔氏／茨城大学工学部都市システム工学科教授)、交通事業者が協力をして、アンケート調査やヒアリング調査等によって利用実態を把握する。これらの調査結果をふまえて、東海村地域公共交通会議において検討・協議を行い、必要に応じて、システムの改善・見直しや、利用促進方策等を展開していくこととする。

【東海村の地域公共交通網形成に向けた推進体制】



■2. 評価の方法：定量的データの把握と定性的効果の把握

目標の達成状況を評価するために、各目標の数値(データ)は、次頁表のような方法と主体により把握する。把握するデータのうち、新規路線バスやデマンドタクシーの利用者数は、運行主体である交通事業者が日々の実績を蓄積して、定期的に東海村(まちづくり推進課)へ報告する。その他の数値(データ)は、アンケート調査等の利用実態把握調査の結果をもとに算定、東海村の担当部署や関係機関・団体より資料を入手して把握する。

また、目標の達成状況として、数値には表れない・表しにくい効果として、以下のような事項が想定される。

□1. 移動制約者の日常生活の移動手段の確保・元気な高齢者の増加

- ・福祉・文化施設で催される各種会合・イベント・習い事等へ的高齢者の参加促進。
- ・医療・介護・福祉面への貢献による社会的便益(介護を必要としない元気な高齢者の増加や医療・介護経費の軽減等)。

□2. 安全・安心、環境、まちづくりへの貢献

- ・地域経済への波及効果(高齢者の外出機会の増加や交流人口の活発化による地元商店街やJ A等物産施設の活性化等)。
- ・マイカーから公共交通への移行(東海駅における通勤・通学者の送迎車の減少、駅周辺の駐輪自転車の減少等)。
- ・交通安全・防犯効果(交通事故件数の減少、通学生が安心して帰宅できる等)。
- ・地球温暖化対策(CO₂削減)への貢献

これらの効果については、関係資料・データの収集、利用者等へのアンケート調査やヒアリング調査などによって可能な範囲で把握し、評価を行うこととする。

【地域公共交通網形成計画の目標値等の把握方法】

目標	把握するデータ	データの把握方法	実施主体
新規路線バスの利用者数の確保	路線別の利用者数 (便別、日別、月別、年間)	運転士による調査(カウント)を基本とする (利用者が多い便は別途方を検討する)	運行事業者 (茨城交通)
デマンドタクシーの1台あたり 乗車人数の増加	利用状況に関する各種データ	現行実施している方法で継続して行う	運行事業者 (タクシー組合)
デマンドタクシー利用者の満足度の向上	総合的な使い勝手に対する評価 予約時のお断り件数	登録者を対象としたアンケート調査を平成 25年度と同様の設問で実施する。	運行事業者 (タクシー組合) 調査研究受託者 (茨城大学)
高齢者の公共交通(デマンドタクシー)の 利用率の向上	デマンドタクシーの年齢別利用割合 東海村の年齢別人口	デマンドタクシーの年齢別利用割合は現行 実施している方法で継続して行う。 年齢別人口は住民基本台帳データから抽出する。	運行事業者 (タクシー組合) 東海村
高齢者の運転免許返納者数の増加	東海村の運転免許返納者数	警察本部の協力を得て、データを提供してもらう。	東海村 (茨城県警察本部)
観光ボランティアガイドの対応者数の増加	観光ボランティアガイドの対応者数 等のデータ	ボランティア市民活動センターの協力を得て、データを提供してもらう。	東海村 (ボランティア市民活動センター)
大強度陽子加速器施設(J-PARC)の 来訪者の公共交通利用割合の向上	J-PARCの訪問者の来訪手段 (入構登録の申請書に記載)	J-PARCの協力を得て、資料を提供してもらう。	東海村 (J-PARC)

(5) 地域公共交通網形成計画の期間と実施スケジュール

①計画期間

■東海村地域公共交通網形成計画の期間は平成27年度から平成32年度までの6年間とする

本計画は、平成27年度から、東海村第5次総合計画の目標年次となる平成32年度までとする。

なお、東海村第5次総合計画は、基本構想は10年間不変、基本計画は5年間で見直すという前提条件の下で、平成23～27年度を前期基本計画、平成28～32年度を後期基本計画の期間としている。

後期基本計画は、平成26年11月より「東海村総合計画審議会」のほか、職員と協働で計画案を検討する村民を委員とする「合同ワーキング委員会」を設置して、平成27年12月の決定を目指して検討・協議を開始している。策定にあたっては、「総花的とはせず、各分野の明確な取組課題を意識しながら、課題解決や地域振興の方向性を示すものとすべき」、「取組の大きな方向性のみを規定し、具体化のための肉付けは「実施計画」に委ねることとする」（基本計画中には指標は盛り込まず、実施計画に施策指標掲げる）の2点を基本的な考え方としている。そのため、後期基本計画の検討・協議において、公共交通施策に関する分野については、本計画の内容を反映させて計画期間を含めた整合性を図る。

②事業の実施スケジュール

■実施スケジュールと計画の手直し手順

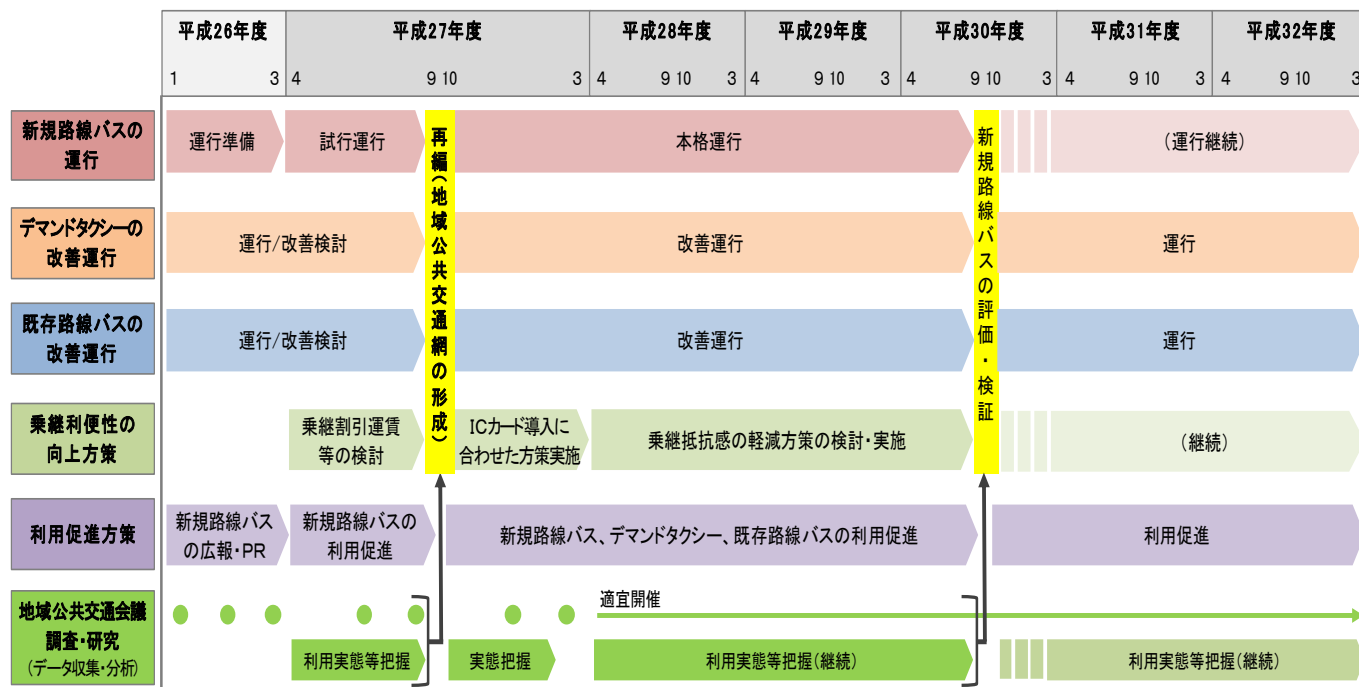
東海村地域公共交通網形成計画は、平成27～32年度の6年間を計画期間としており、次のような実施スケジュールで進める。

新規路線バスは、平成27年4月から9月は試行運行期間とし、利用者数等のデータを収集、アンケート調査やヒアリング調査によって利用実態や利用者の評価等を把握する。その検証結果をもとに、デマンドタクシーと既存路線バスを含めて、地域公共交通ネットワーク形成に向けて必要となるシステムの改善方策や乗継利便性の向上方策を検討し、東海村地域公共交通会議で検討・協議を行って、地域公共交通網形成計画に反映させる。そして、平成27年10月に新規路線バスの本格運行移行と、デマンドタクシーと既存路線バスのシステム改善を実施することとし、その際、地域公共交通再編事業を活用することも検討する。

利用促進方策は、新規路線バスの試行運行開始に向けて、平成26年度内(平成27年2～3月)に各種広報・PR活動に取り組み、4月からの試行運行、10月からはデマンドタクシーと既存路線バスも含めた取り組みを継続して行う。

新規路線バスは、本格運行移行後、平成30年9月までの3年間を目安に、その段階での評価を行うこととする。利用者数や利用実態、運行収支、数値目標の達成状況に加えて、公的支援額とその確保方策等をふまえた上で、運行継続について東海村の方針をもとに、地域公共交通会議において協議する。その検討と合わせて、デマンドタクシーと既存路線バスの運行についても、さらなるシステム改善を含めて検討を行うこととする。

【東海村地域公共交通網形成計画の実施スケジュール】



5. 新規路線バスの試行運行計画

(1) 事業計画

前節「(4)計画の方針と考え方」に記載しているとおり、新規路線バスは、平成27年4月から9月は試行運行として運行し、その利用者数等のデータを収集・分析し、利用者の評価や改善要望を把握する。それらの結果を検証した上で、改めて運行システムやサービス水準を、東海村地域公共交通網形成計画に反映させ、必要な改善・見直しを行って本格運行へ移行する方針としている。試行運行は以下のような計画で実施することとする。

① 全体方針

■1. 実施区域：東海村全域と隣接市との行政区境

新規路線バスは、デマンドタクシーでは対応しきれない需要に対応するが、村民の通勤・通学及び買物や遊びの外出先(要望)は隣接市にまたがっている。そのため、隣接するひたちなか市と日立市との行政区境に位置する観光施設等へアクセスを図る。その施設において、ひたちなか市のコミュニティバスと、日立市のひたちBRTと接続することで、両市を含めた広域的な公共交通ネットワーク形成に資する。

■2. 実施主体：東海村(地域公共交通会議)・交通事業者(茨城交通)

新規路線バスは、三者協議会(東海村、学識経験者、交通事業者)の場で計画案を検討し、東海村地域公共交通会議で協議を行って決定(承認)している。

運行は、交通事業者(茨城交通)が行い、運賃収入では賄えない経費については、デマンドタクシー同様、東海村による公的支援を得て運行する。

② 運行計画

■1. 運行ルート：4路線を設定する

1. 東海駅東口・茨城東病院線

東海駅東口～真崎十文字～原研前～茨城東病院／片道5.9km・約14分

2. 東海駅東口・海浜公園線

東海駅東口～真崎十文字～原研前～ジョイフル本田～海浜公園／片道10.5m・約26分

3. 船場・舟石川循環線

東海駅西口→石神二軒茶屋→笠松運動公園→船場→舟石川→東海駅西口／1周10.1km・約25分
※始発便のみ笠松運動公園→舟石川→東海駅西口

4. 東海駅西口・おさかなセンター線

東海駅西口～役場東～竹瓦～カインズホーム～おさかなセンター／片道6.9km・約19分

□1. 運行ルートの設定方針

- ・デマンドタクシー登録者アンケート調査結果(2頁参照)をふまえて、東海村内及び村外の買物先(イオン東海店、ジョイフル本田ひたちなか店、カインズホーム日立店)と、村外に行きたくても交通手段がないため行けない場所(ひたち海浜公園周辺)へアクセスする。
- ・通勤・通学需要を開発するために、東海駅(JR常磐線との接続)、国道6号・245号沿線の事業所へアクセスする。事業所へのヒアリング調査結果から、通勤利用の可能性が比較的高い三菱原子燃料(株)と三菱マテリアル(株)中央研究所は、会社の正門近くにアクセスする。
- ・運行経費を可能な限り軽減するために、車両2台で効率的な運行ができるルートとする。
- ・目的地まで最短で行けるルートとする(デマンドタクシーが運行しているため、旧福祉循環バスのような地区内を詳細に循環するルートとはしない)。
- ・既存バス路線(須和間線、笠松運行公園線)との重複をできる限り避ける。

□2. バス停留所の設定方針

- ・廃止した路線の停留所を基本とし、必要に応じて新しい停留所を設置する。
- ・設置にあたっては、行政と運行事業者が協力をして、交通管理者の確認及び、沿線住民や地権者の了解を得ることとする。
- ・東海駅の西口・東口は、送迎や配送の車が停車していることが多い。定時性・安全性確保のために、路面へのバス停標示や看板の設置等を行うとともに、新規にバスが運行することの広報・周知活動を行う必要がある。同様に、茨城東病院の敷地内から側道への出口付近は、通勤時間帯は一般車によってふさがれてしまい、バスが出られない恐れがあるため、病院出入口前の側道に停車禁止の路面標示を行う。

【新規路線バスの運行ルート】

■バス停(凡例)

○ ⇒ 既存

○ ⇒ 新規

東海駅西口発の
笠松運動公園循環線

東海駅西口と日立大みか地区
を結ぶ新たな路線

東海駅⇄茨城東病院
1日最大12往復

東海駅東口とひたちなか海浜地区
を結ぶ新たな路線

—	東海駅東口～真崎十字～原研前～茨城東病院
—	東海駅東口～真崎十字～原研前～茨城東病院～海浜公園
—	東海駅西口～舟石川～石神二軒茶屋～笠松～船場～東海駅西口(循環)
—	東海駅西口～役場東～竹瓦～おさかなセンター
—	既存路線

※国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」(<http://maps.gsi.go.jp/#14/36.472498/140.563459>)を基に作成しています。

■2. 運行ダイヤ：通勤・通学、通院、買物の各利用に合わせたダイヤとする

1. 東海駅東口・茨城東病院線：東海駅でJR常磐線と接続／茨城東病院への通院
2. 東海駅東口・海浜公園線：東海駅でJR常磐線と接続／ひたち海浜公園への日中の外出
3. 船場・舟石川循環線：東海駅でJR常磐線と接続
4. 東海駅西口・おさかなセンター線：おさかなセンターへの外出とひたちBRTとの接続

□運行ダイヤの設定方針

- ・車両2台で運行することから、朝と夕方～夜は通勤・通学と通院利用、日中は村外への買物等利用を考慮したダイヤとする。
- ・東海駅でのJR常磐線との接続は、東海村の通勤・通学者数と流動状況(「2(1)地域特性④通勤・通学状況」参照)と、通勤・通学時間帯の乗降者数調査結果(「3(1)公共交通の利用実態①鉄道(東海駅)」参照)をふまえて、朝は乗車人数が多い電車へ、夕方～夜は降車人数が多い電車と乗り継ぎができるようにする。
- ・通勤利用は、三菱原子燃料(株)と三菱マテリアル(株)中央研究所へアクセスする船場・舟石川循環線がJR常磐線と乗り継ぎができるようにする。
- ・通学利用は、県立東海高校が東海駅から近いことから、JR常磐線で村外へ通学する利用を考慮したダイヤとする。
- ・東海駅東口・茨城東病院線は、茨城東病院への通院に利用しやすいダイヤとする。病院の診療時間(8:30～17:30/再診予約は1時間区切りで10分前に受付)と、高齢者は午前中に外出する傾向から、8:30・9:30・10:30(・12:30)からの診察に合わせた到着時間とする。帰りは約1時間後に病院を発車して、午前中に帰宅できるようにする。
- ・東海駅東口・海浜公園線と東海駅西口・おさかなセンター線は、ひたち海浜公園等への“お出かけ”の要素が大きいと思われることから、日中に出かけて1～2時間後に帰宅できるようなダイヤとする。
- ・東海駅西口・おさかなセンター線は、おさかなセンターで、ひたちBRT(おさかなセンター～大甕駅前)との接続ができるようにする。

【新規路線バスの時刻表】

■ 東海駅西口～笠松循環線 時刻表 斜体青文字土日祝運休

a	東海駅西口(発)	↑6:51	7:05	8:00	9:02	15:05	16:29	17:18	18:18	19:02	19:53
b	舟石川中央	6:50	7:07	8:02	9:04	15:07	16:31	17:20	18:20	19:04	19:55
c	内宿入口	6:49	7:09	8:04	9:06	15:09	16:33	17:22	18:22	19:06	19:57
d	大山台	6:48	7:10	8:05	9:07	15:10	16:34	17:23	18:23	19:07	19:58
e	東海団地入口	6:47	7:11	8:06	9:08	15:11	16:35	17:24	18:24	19:08	19:59
f	石神二軒茶屋	6:46	7:13	8:08	9:10	15:13	16:37	17:26	18:26	19:10	20:01
g	舟石川入口	6:45	7:14	8:09	9:11	15:14	16:38	17:27	18:27	19:11	20:02
h	三菱原子燃料	6:43	7:16	8:11	9:13	15:16	16:40	17:29	18:29	19:13	20:04
i	笠 松	6:41	7:20	8:15	9:17	15:20	16:44	17:33	18:33	19:17	20:08
j	笠松運動公園	6:40	7:21	8:16	9:18	15:21	16:45	17:34	18:34	19:18	20:09
k	孫 目	-	7:22	8:17	9:19	15:22	16:46	17:35	18:35	19:19	20:10
l	ブール前	-	7:24	8:19	9:21	15:24	16:48	17:37	18:37	19:21	20:12
m	船 場	-	7:26	8:21	9:23	15:26	16:50	17:39	18:39	19:23	20:14
n	舟石川小前	-	7:27	8:22	9:24	15:27	16:51	17:40	18:40	19:24	20:15
o	西口郵便局	-	7:28	8:23	9:25	15:28	16:52	17:41	18:41	19:25	20:16
a	東海駅西口(着)	-	7:30	8:25	9:27	15:30	16:54	17:43	18:43	19:27	20:18

※笠松運動公園6:40発のみ、笠松運動公園→三菱原子燃料→石神二軒茶屋、経由の東海駅西口行きとなります

■ 東海駅西口～おさかなセンター線 時刻表(昼間運行)

a	東海駅西口(発)	10:05	11:05	13:05	14:05	u	おさかなセンター(発)	10:30	11:30	13:30	14:30
b	舟石川中央	10:07	11:07	13:07	14:07	t	カインズホーム前	10:35	11:35	13:35	14:35
p	役場東	10:09	11:09	13:09	14:09	s	竹瓦	10:40	11:40	13:40	14:40
q	JAにじのなか	10:12	11:12	13:12	14:12	r	長松院	10:41	11:41	13:41	14:41
r	長松院	10:13	11:13	13:13	14:13	q	JAにじのなか	10:42	11:42	13:42	14:42
s	竹瓦	10:14	11:14	13:14	14:14	p	役場東	10:45	11:45	13:45	14:45
t	カインズホーム前	10:19	11:19	13:19	14:19	b	舟石川中央	10:47	11:47	13:47	14:47
u	おさかなセンター	10:24	11:24	13:24	14:24	a	東海駅西口	10:49	11:49	13:49	14:49

■ 東海駅東口～茨城東病院(海浜公園西口昼間運行)線 時刻表 斜体青文字土日祝運休

東海 駅東 口↓ 海浜 公園 西口	1	東海駅東口(発)	7:05	7:58	9:06	10:00	12:07	13:57	16:31	17:11	17:55	19:00	19:52	20:33
	2	イオン東海店前	7:06	7:59	9:07	10:01	12:08	13:58	16:32	17:12	17:56	19:01	19:53	20:34
	3	なごみ入口	7:07	8:00	9:08	10:02	12:09	13:59	16:33	17:13	17:57	19:02	19:54	20:35
	4	東海中学校	7:08	8:01	9:09	10:03	12:10	14:00	16:34	17:14	17:58	19:03	19:55	20:36
	5	荒谷台住宅前	7:09	8:02	9:10	10:04	12:11	14:01	16:35	17:15	17:59	19:04	19:56	20:37
	6	真崎十文字	7:10	8:03	9:11	10:05	12:12	14:02	16:36	17:16	18:00	19:05	19:57	20:38
	7	真崎仲町	7:11	8:04	9:12	10:06	12:13	14:03	16:37	17:17	18:01	19:06	19:58	20:39
	8	真崎東	7:12	8:05	9:13	10:07	12:14	14:04	16:38	17:18	18:02	19:07	19:59	20:40
	9	原研前	7:13	8:06	9:14	10:08	12:15	14:05	16:39	17:19	18:03	19:08	20:00	20:41
	10	阿漕ヶ浦	7:14	8:07	9:15	10:09	12:16	14:06	16:40	17:20	18:04	19:09	20:01	20:42
	11	虚空蔵尊入口	7:15	8:08	9:16	10:10	12:17	14:07	16:41	17:21	18:05	19:10	20:02	20:43
	12	村松宿	7:16	8:09	9:17	10:11	12:18	14:08	16:42	17:22	18:06	19:11	20:03	20:44
	13	原子力機構前	7:17	8:10	9:18	10:12	12:19	14:09	16:43	17:23	18:07	19:12	20:04	20:45
	14	茨城東病院前	7:18	8:11	9:19	10:13	12:20	14:10	16:44	17:24	18:08	19:13	20:05	20:46
	15	茨城東病院	7:19	8:12	9:20	10:14	12:21	14:11	16:45	17:25	18:09	19:14	20:06	20:47
	16	JA長砂				10:18	12:25	14:15	-	-	-	-	-	-
	17	ジョイフル本田西				10:22	12:29	14:19	-	-	-	-	-	-
	18	ジョイフル本田東				10:23	12:30	14:20	-	-	-	-	-	-
	19	海浜公園西口				10:26	12:33	14:23	-	-	-	-	-	-

海浜 公園 西口↓ 東海 駅東 口	19	海浜公園西口(発)					10:30	12:35	14:30	-	-	-	-	-
	18	ジョイフル本田東					10:33	12:38	14:33	-	-	-	-	-
	17	ジョイフル本田西					10:34	12:39	14:34	-	-	-	-	-
	16	JA長砂					10:38	12:43	14:38	-	-	-	-	-
	15	茨城東病院	6:39	7:25	8:30	9:25	10:42	12:47	14:42	16:46	17:30	18:30	19:25	20:09
	14	茨城東病院前	6:40	7:26	8:31	9:26	10:43	12:48	14:43	16:47	17:31	18:31	19:26	20:10
	13	原子力機構前	6:41	7:27	8:32	9:27	10:44	12:49	14:44	16:48	17:32	18:32	19:27	20:11
	12	村松宿	6:42	7:28	8:33	9:28	10:45	12:50	14:45	16:49	17:33	18:33	19:28	20:12
	11	虚空蔵尊入口	6:43	7:29	8:34	9:29	10:46	12:51	14:46	16:50	17:34	18:34	19:29	20:13
	10	阿漕ヶ浦	6:44	7:30	8:35	9:30	10:47	12:52	14:47	16:51	17:35	18:35	19:30	20:14
	9	原研前	6:45	7:31	8:36	9:31	10:48	12:53	14:48	16:52	17:36	18:36	19:31	20:15
	8	真崎東	6:46	7:32	8:37	9:32	10:49	12:54	14:49	16:53	17:37	18:37	19:32	20:16
	7	真崎仲町	6:47	7:33	8:38	9:33	10:50	12:55	14:50	16:54	17:38	18:38	19:33	20:17
	6	真崎十文字	6:48	7:34	8:39	9:34	10:51	12:56	14:51	16:55	17:39	18:39	19:34	20:18
	5	荒谷台住宅前	6:49	7:35	8:40	9:35	10:52	12:57	14:52	16:56	17:40	18:40	19:35	20:19
	4	東海中学校	6:50	7:36	8:41	9:36	10:53	12:58	14:53	16:57	17:41	18:41	19:36	20:20
	3	なごみ入口	6:51	7:37	8:42	9:37	10:54	12:59	14:54	16:58	17:42	18:42	19:37	20:21
	2	イオン東海店前	6:52	7:38	8:43	9:38	10:55	13:00	14:55	16:59	17:43	18:43	19:38	20:22
	1	東海駅東口	6:53	7:39	8:44	9:39	10:56	13:01	14:56	17:00	17:44	18:44	19:39	20:23

■3. 運賃体系：試行運行期間は既存路線バスと同じ運賃体系とする

距離制運賃：初乗り170円

路線別の最高運賃：船場・舟石川循環線：280円、東海駅東口・茨城東病院線：330円、

東海駅西口・おさかなセンター線:380円、東海駅東口・海浜公園線:520円

割引通勤・通学定期を導入する(既存路線バスと同)

□運賃の考え方

- ・利用者数(運賃収入)の状況を把握するため、試行運行期間は既存路線と同じ距離制の運賃体系とする。
- ・高齢者の利用促進を図るために、実施主体である茨城交通が行っている65歳以上を対象としたフリーパス「茨交漫遊パス」(1ヶ月6,500円、6ヶ月35,000円)を導入する。
- ・通勤・通学利用を取り込むために、既存路線と同様に、通常の定期券より割引率を高めた「学期定期券・年間定期券」を導入する。
- ・試行運行の結果をふまえて、村内均一運賃や、デマンドタクシーとの乗継割引、高齢者専用バスなどの導入を検討する。

【新規路線バスの運賃表】

■東海駅西口～笠松循環線 運賃表

[illegible]

■東海駅西口～おさかなセンター線 運賃表(昼間運行)

				おさかなセンター	170
			カインズホーム前	170	260
			竹瓦	170	310
		JAにじのなか	170	240	310
	役場東	170	170	270	330
東海駅西口	170	170	210	310	380

■東海駅東口～茨城東病院(海浜公園西口昼間運行)線 運賃表

東海駅東口～茨城東病院(海浜公園西口昼間運行)線						運賃表	
						海浜公園西口	JA長砂
						茨城東病院	170
					茨城東病院前	170	280
				原子力機構前	170	190	290
					170	210	310
			虚空蔵尊入口	170	170	170	250
				170	170	200	390
		原研前	170	170	190	220	310
			170	170	190	220	410
	真崎仲埜	170	170	200	240	260	360
		170	170	200	240	270	460
	荒谷住宅前	170	170	200	240	270	460
東海駅東口	170	200	220	260	310	330	430
							520

学期定期券と年間定期券「キャンパスポート365」

比べて納得！お得な特別通学定期券！

	片道運賃	170円	280円	330円
通常の 通学 定期券	1ヵ月	5,920円	10,000円	11,850円
	2ヵ月	11,840円	20,000円	23,700円
	3ヵ月	16,870円	28,500円	33,700円
特別 割引 定期券	1学期 (4/1～7/31)	17,760円 継続購入 16,870円	30,000円 継続購入 28,500円	35,500円 継続購入 33,770円
	2学期 (9/1～12/31)	17,760円 継続購入 16,870円	30,000円 継続購入 28,500円	35,500円 継続購入 33,770円
	3学期 (1/1～3/31)	11,900円 継続購入 11,310円	20,100円 継続購入 19,100円	23,820円 継続購入 22,630円
	年 間 (4/1～翌年3/31)	42,620円	72,000円	85,320円

(2) 事業化の推進

①事業方式

■1. 事業方式：交通事業者による路線バスとして運行する

新規路線バスは、地域公共交通会議において計画、協議が調った路線として、実施主体である茨城交通が路線バスとして運行する。

■2. 必要経費・調達方法：運賃収入及び公的支援によって運行経費を賄う

東海村は、過去に運賃無料の福祉循環バスを運行終了(廃止)するとともに、路線バスも7路線から2路線へと減少(廃止)した経緯から、運賃収入だけでは運行に要するコストを賄うことが困難といえる。そのため、新規路線バスは、実施主体(茨城交通)の経営・営業努力によって、より多くの運賃収入を確保しつつ、それでは賄えない経費については、公的支援(東海村等)を行うことで持続的な運行を確保する。

②実施スケジュール

■1. 実施予定期間：試行運行(平成27年4～9月)の評価・検証後に本格運行へ移行する

新規路線バスは、平成27年4～9月は試行運行として、期間内の利用者数や利用者層、利用実態、利用者の評価や改善要望などを把握する。それらの結果を検証した上で、改めて運行システムやサービス水準について、東海村地域公共交通網形成計画に反映させ、必要な改善・見直しを行い、平成27年10月より本格運行へ移行することとする。合わせて、デマンドタクシーと既存路線バスを含めた地域公共交通ネットワーク形成に向けて、必要となる乗継利便性の向上方策などを検討・実施する。

本格運行移行後は、平成30年9月までの3年間を目安に、その段階での評価を行う。利用者数や利用実態、運行収支、数値目標の達成状況に加えて、公的支援額とその確保方策等をふまえた上で、運行継続について東海村の方針をもとに、地域公共交通会議において協議することとする。

■2. 推進体制：地域公共交通会議(三者協議会/行政・専門家・交通事業者)による検討・協議

新規路線バスは、地域公共交通網形成計画による事業として、「PDCAサイクル(Plan/計画→Do/実施→Check/評価・検証→Action/改善・見直し)」のプロセスで取り組む。計画は、事務局(東海村村長公室 まちづくり推進課)と学識経験者(山田稔氏/茨城大学工学部都市システム工学科教授)、交通事業者(茨城交通・みちのりホールディングス)による三者協議会の場で案を検討し、東海村地域公共交通会議で協議を行っている。

事業の実施(運行)は交通事業者(茨城交通)が行い、評価・検証は、事務局と茨城大学、交通事業者が協力をして、アンケート調査やヒアリング調査等によって利用実態を把握する。それらの調査結果をふまえて、地域公共交通会議において検討・協議を行い、必要に応じて、システムの改善・見直しや、利用促進方策等を展開していく。

③利用促進方策

新規路線バスの試行運行を開始するにあたって、東海村と実施主体(茨城交通)が協力をして、以下のような広報・PR活動や利用促進の働きかけを行っている。

■1. 広報・PR活動

□1. 案内パンフレット(チラシ)の作成と配布

- ・地図上に記載した運行ルート、時刻表、運賃表を掲載した案内パンフレットを作成し、村内の全戸及び、関係者・団体・機関へ配布している。

□2. 広報誌「広報とうかい」への掲載

- ・東海村の広報(平成27年3月10日号)に、新規路線バスを中心にデマンドタクシー、既存路線バス、高速・空港バスを含めた村内の公共交通案内を掲載している。

□3. 東海村と実施主体(茨城交通)の各HPへの掲載

- ・東海村と実施主体である茨城交通のHPに新規路線バスの運行開始と、運行ルート、時刻表、運賃を掲載している。

□4. ラッピング車両の導入

- ・新規路線バスの車両(2台)の3面(両側面、後方)を、東海村観光協会キャラクターの「イモゾーフファミリー」を用いたラッピングを行う。

□5. バス車内広告スペースの活用

- ・車内の広告スペースを村内の児童・生徒や文化団体等による活動(幼児写生展、小学生書道展等)の発表の場として活用する。

□6. 実施主体(茨城交通)の営業車両を活用したPR

- ・茨城交通の水戸・ひたちなか市内営業所に所属する車両において、新規路線バスの車内放送による案内と広告掲載等を行う。

■2. 利用促進の働きかけ

□1. 各種団体の会議・総会等におけるPR

- ・自治会や高齢者クラブ等の会議や総会の場において、新規路線バスの運行ルートとダイヤ等を説明し、利用を働きかける。

□2. 事業所への説明とPR

- ・新規路線バスがアクセスする事業所を訪問して、運行ルートとダイヤ等を説明し、通勤時

の利用、送迎バスからの移行促進を働きかける。

□3. 教育委員会との連携

- ・教育委員会と協力・連携して、子ども企画展・乗車体験、校外活動における利用促進を働きかける。また、茨城交通と協力して、小・中学生や高齢者を対象にしたバスの乗り方教室の開催を検討・実施する。

□4. 通学生への通学利用のPR

- ・高校生の通学手段として、村内の中学生（3年生）と高校生へのPRを行う。茨城交通では、高校の合格通知に通学定期の案内を同封したり、入学式時に通学定期の販売等を行って、通学利用を促進していることから、各高校の協力を得て同様の方策を検討・実施する。

5. 新規路線バスの試行運行計画

【新規路線バスの案内パンフレット(上段:表面/下段:裏面)】(平成27年2月25日全戸配布)

■東海駅西口～笠松循環線 運賃表

東海駅西口	舟石川小前	船場	蒲原	笠松	三芳原子燃料	舟石川入口	石神二軒茶屋	内宿入口	東海駅西口
170	170	170	170	170	170	170	170	170	170
200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
230	230	230	230	230	230	230	230	230	230
280	280	280	280	280	280	280	280	280	280
380	380	380	380	380	380	380	380	380	380

■東海駅西口～おさかなセンター線 運賃表(昼間運行)

東海駅西口	おさかなセンター	カインズホーム前	竹瓦	JAにじのなか	役場東	東海駅西口
170	170	170	170	170	170	170
210	210	210	210	210	210	210
310	310	310	310	310	310	310
330	330	330	330	330	330	330
380	380	380	380	380	380	380

■東海駅西口～茨城東病院(海浜公園西口昼間運行)線 運賃表

東海駅西口	荒谷住宅前	真崎仲町	虚空蔵堂入口	原研前	茨城東病院前	JA長砂	海浜公園西口
170	170	170	170	170	170	170	170
200	200	200	200	200	200	200	200
220	220	220	220	220	220	220	220
260	260	260	260	260	260	260	260
310	310	310	310	310	310	310	310
330	330	330	330	330	330	330	330
380	380	380	380	380	380	380	380
430	430	430	430	430	430	430	430
520	520	520	520	520	520	520	520

学期定期券と年間定期券「キャンパスポート365」

比べて納得！お得な特別通学定期券！

通常の通学定期券	片道運賃	1か月	2か月	3か月
	170円	5,920円	11,840円	16,870円
	280円	10,000円	20,000円	28,500円
	330円	11,850円	23,700円	33,700円
特別割引定期券	1学期(4/1～7/31)	2学期(9/1～12/31)	3学期(1/1～3/31)	年間(4/1～翌年3/31)
	継続購入 17,760円	継続購入 17,760円	継続購入 17,760円	継続購入 42,620円
	継続購入 28,500円	継続購入 28,500円	継続購入 28,500円	継続購入 72,000円
	継続購入 33,770円	継続購入 33,770円	継続購入 33,770円	継続購入 85,320円

【主な定期券発売所】

茨城交通(株)勝田営業所 029-272-7311

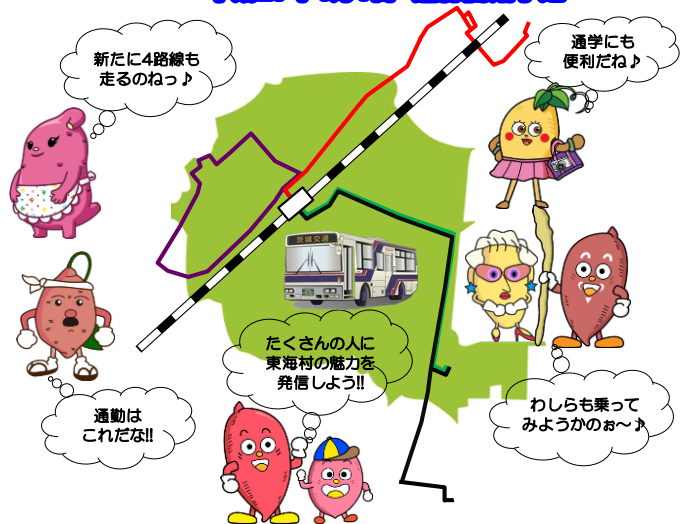
茨城交通(株)水戸駅前案内所 029-224-8818

満65歳以上の方限定
バス全線乗り放題
茨交漫遊バス
1ヶ月6,500円 6ヶ月35,000円



東海市内の路線バスが拡充します

平成27年4月1日 運行開始予定



【路線バスのダイヤ・料金など運行に関するお問合せ】

茨城交通(株)勝田営業所 ☎029-272-7311

【村の公共交通に関するお問合せ】

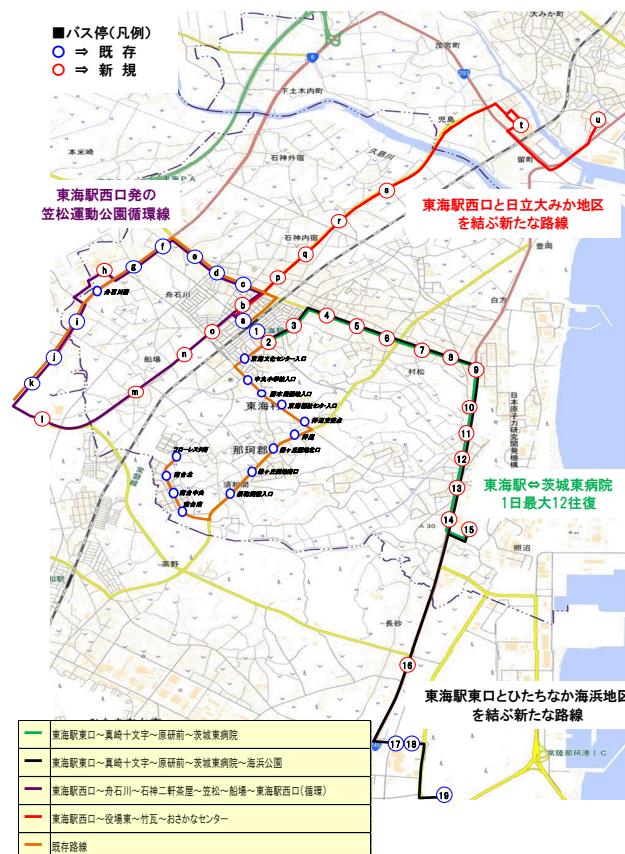
村長公室 まちづくり推進課 ☎029-282-1711



茨城交通のHPでもご覧いただけます！

■バス停(凡例)

○ ⇒ 既存
● ⇒ 新規



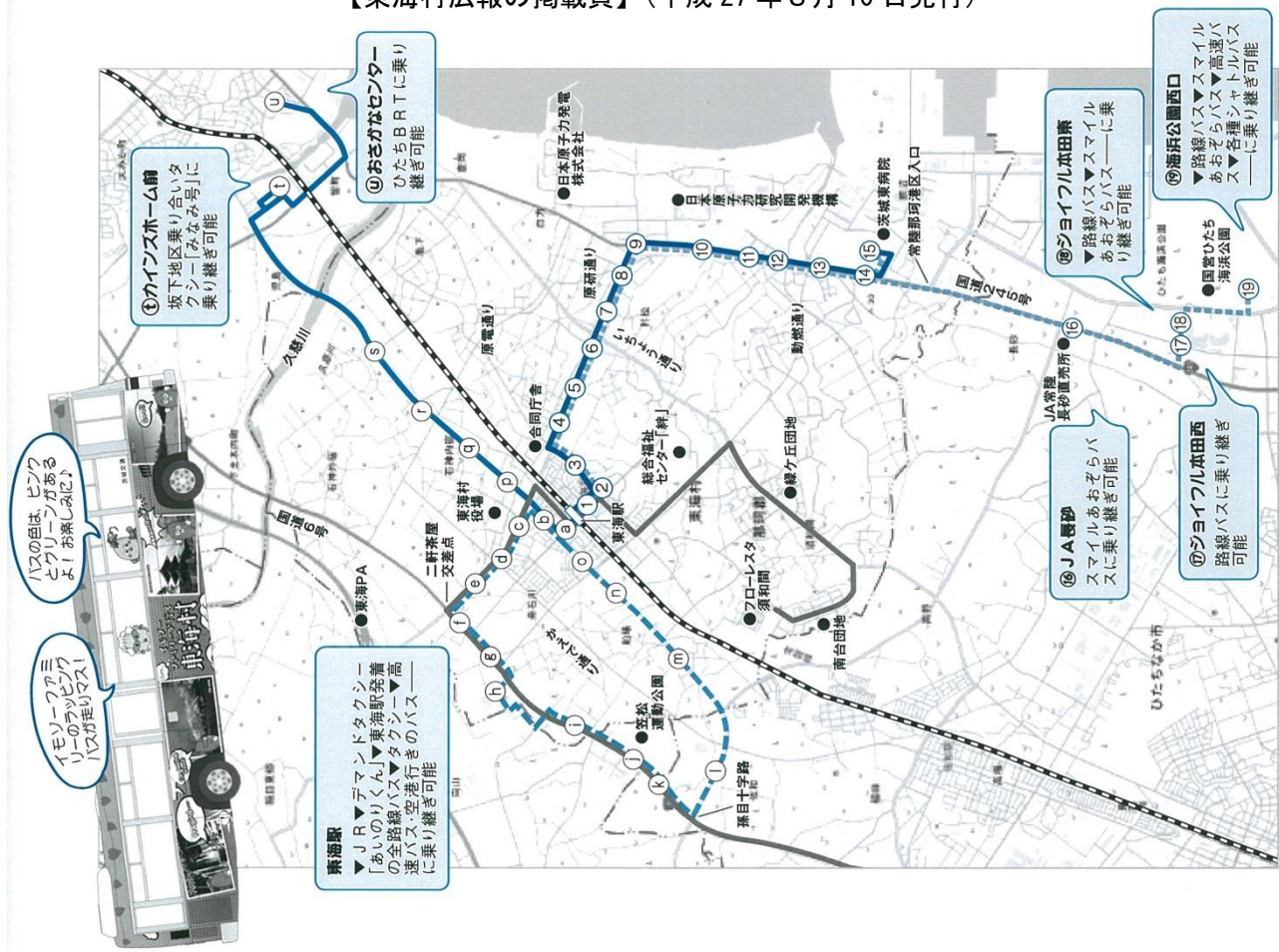
※国土地理院ホームページ「地理院地図(電子版Web)」(http://maps.gsi.go.jp/#14/36.472498/140.563459)を基に作成しています。

【新たな路線の時刻表】

■東海駅西口～笠松循環線 時刻表 斜体青文字土日祝運休

東海駅西口	舟石川小前	船場	蒲原	笠松	三芳原子燃料	舟石川入口	石神二軒茶屋	内宿入口	東海駅西口
16:50	17:05	17:20	17:35	17:50	18:05	18:20	18:35	18:50	19:05
16:59	17:14	17:29	17:44	18:00	18:15	18:30	18:45	19:00	19:15
17:08	17:23	17:38	17:53	18:10	18:25	18:40	18:55	19:10	19:25
17:17	17:32	17:47	18:02	18:20	18:35	18:50	19:05	19:20	19:35
17:26	17:41	17:56	18:11	18:30	18:45	19:00	19:15	19:30	19:45
17:35	17:50	18:05	18:20	18:40	18:55	19:10	19:25	19:40	19:55
17:44	18:00	18:15	18:30	18:50	19:05	19:20	19:35	19:50	20:05
17:53	18:08	18:23	18:38	18:58	19:13	19:28	19:43	19:58	20:13
18:02	18:17	18:32	18:47	19:08	19:23	19:38	19:53	20:08	20:23
18:11	18:26	18:41	18:56	19:16	19:31	19:46	20:01	20:16	20:31
18:20	18:35	18:50	19:05	19:26	19:41	19:56	20:11	20:26	20:41
18:29	18:44	18:59	19:14	19:35	19:50	20:05	20:20	20:35	20:50
18:38	18:53	19:08	19:23	19:44	19:59	20:14	20:29	20:44	20:59
18:47	19:02	19:17	19:32	19:53	20:08	20:23	20:38	20:53	21:08
18:56	19:11	19:26	19:41	20:02	20:17	20:32	20:47	21:02	21:17
19:05	19:20	19:35	19:50	20:11	20:26	20:41	20:56	21:11	21:26
19:14	19:29	19:44	19:59	20:20	20:35	20:50	21:05	21:20	21:35
19:23	19:38	19:53	20:08	20:29	20:44	20:59	21:14	21:29	21:44
19:32	19:47	20:02	20:17	20:38	20:53	21:08	21:23	21:38	21:53
19:41	19:56	20:11	20:26	20:47	21:02	21:17	21:32	21:47	22:02
19:50	20:05	20:20	20:35	20:56	21:11	21:26	21:41	21:56	22:11
19:59	20:14	20:29	20:44	21:05	21:20	21:35	21:50	22:05	22:20
20:08	20:23	20:38	20:53	21:14	21:29	21:44	21:59	22:14	22:29
20:17	20:32	20:47	21:02	21:23	21:38	21:53	22:08	22:23	22:38
20:26	20:41	20:56	21:11	21:32	21:47	22:02	22:17	22:32	22:47
20:35	20:50	21:05	21:20	21:41	21:56	22:11	22:26	22:41	22:56
20:44	21:00	21:15	21:30	21:51	22:06	22:21	22:36	22:51	23:06
20:53	21:08	21:23	21:38	21:59	22:14	22:29	22:44	22:59	23:14
21:02	21:17	21:32	21:47	22:08	22:23	22:38	22:53	23:08	23:23
21:11	21:26	21:41	21:56	22:17	22:32	22:47	23:02	23:17	23:32
21:20	21:35	21:50	22:05	22:26	22:41	22:56	23:11	23:26	23:41
21:29	21:44	21:59	22:14	22:35	22:50	23:05	23:20	23:35	23:50
21:38	21:53	22:08	22:23	22:44	22:59	23:14	23:29	23:44	23:59
21:47	22:02	22:17	22:32	22:53	23:08	23:23	23:38	23:53	24:08
21:56	22:11	22:26	22:41	23:02	23:17	23:32	23:47	24:02	24:17
22:05	22:20	22:35	22:50	23:11	23:26	23:41	23:56	24:11	24:26
22:14	22:29	22:44	22:59	23:20	23:35	23:50	24:05	24:20	24:35
22:23	22:38	22:53	23:08	23:29	23:44	23:59	24:14	24:29	24:44
22:32	22:47	23:02	23:17	23:38	23:53	24:08	24:23	24:38	24:53
22:41	22:56	23:11	23:26	23:47	24:02	24:17	24:32	24:47	25:02
22:50	23:05	23:20	23:35	23:56	24:11	24:26	24:41	24:56	25:11
22:59	23:14	23:29	23:44	24:05	24:20	24:35	24:50	25:05	25:20
23:08	23:23	23:38	23:53	24:14	24:29	24:44	24:59	25:14	25:29
23:17	23:32	23:47	24:02	24:23	24:38	24:53	25:08	25:23	25:38
23:26	23:41	23:56	24:11	24:32	24:47	25:02	25:17	25:32	25:47
23:35	23:50	24:05	24:20	24:41	24:56	25:11	25:26	25:41	25:56
23:44	23:59	24:14	24:29	24:50	25:05	25:20	25:35	25:50	26:05
23:53	24:08	24:23	24:38	24:59	25:14	25:29	25:44	25:59	26:14
24:02	24:17	24:32	24:47	25:08	25:23	25:38	25:53	26:08	26:23
24:11	24:26	24:41	24:56	25:17	25:32	25:47	26:02	26:17	26:32
24:20	24:35	24:50	25:05	25:26	25:41	25:56	26:11	26:26	26:41
24:29	24:44	24:59	25:14	25:35	25:50	26:05	26:20	26:35	26:50
24:38	24:53	25:08	25:23	25:44	25:59	26:14	26:29	26:44	26:59
24:47	25:02	25:17	25:32	25:53	26:08	26:23	26:38	26:53	27:08
24:56	25:11	25:26	25:41	26:02	26:17	26:32	26:47	27:02	27:17
25:05	25:20	25:35	25:50	26:11	26:26	26:41	26:56	27:11	27:26
25:14	25:29	25:44	25:59	26:20	26:35	26:50	27:05	27:20	27:35
25:23	25:38	25:53	26:08	26:29	26:44	26:59	27:14	27:29	27:44
25:32	25:47	26:02	26:17	26:38	26:53	27:08	27:23	27:38	27:53
25:41	25:56	26:11	26:26	26:47	27:02	27:17	27:32	27:47	28:02
25:50	26:05	26:20	26:35	26:56	27:11	27:26	27:41	27:56	28:11
25:59	26:14	26:29	26:44	27:05	27:20	27:35	27:50	28:05	28:20
26:08	26:23	26:38	26:53	27:14	27:29	27:44	27:59	28:14	28:29
26:17	26:32	26:47	27:02	27:23	27:38	27:53	28:08	28:23	28:38
26:26	26:41	26:56	27:11	27:32	27:47	28:02	28:17	28:32	28:47
26:35	26:50	27:05	27:20	27:41	27:56	28:11	28:26	28:41	28:56
26:44	27:00	27:15	27:30	27:51	28:06	28:21	28:36	28:51	29:06
26:53	27:08	27:23	27:38	27:59	28:14	28:29	28:44	28:59	29:14
27:02	27:17	27:32	27:47	28:08	28:23	28:38	28:53	29:08	29:23
27:11	27:26	27:41	27:56	28:17	28:32	28:47	29:02	29:17	29:32
27:20	27:35	27:50	28:05	28:26	28:41	28:56	29:11	29:26	29:41
27:29	27:44	27:59	28:14	28:35	28:50	29:05	29:20	29:35	29:50
27:38	27:53	28:08	28:23	28:44	28:59	29:14	29:29	29:44	29:59
27:47	28:02	28:17	28:32	28:53	29:08	29:23	29:38	29:53	30:08
27:56	28:11	28:26	28:41	29:02	29:17	29:32	29:47	30:02	30:17
28:05	28:20	28:35	28:50	29:11	29:26	29:41	29:56	30:11	30:26
28:14	28:29	28:44	28:59	29:20	29:35	29:50	30:05	30:20	30:35
28:23	28:38	28:53	29:08	29:29	29:44	29:59	30:14	30:29	30:44
28:32	28:47	29:02	29:17	29:38	29:53	30:08	30:23	30:38	30:53

【東海村広報の掲載頁】（平成 27 年 3 月 10 日発行）



※国土地理院ホームページ「地理院地図(電子国土Web)」(<http://maps.gsi.go.jp>)を基に作成しています。

通勤・通学、お出かけもますます便利に！

4月から

**村内の公共交通が
充実します！**



村では、福祉循環バスに代わる新たな公共交通として、平成18年4月からデマンドタクシー（対象：村内在住の方、運行範囲：村内）を運行し、これまで年間（延べ）約4万3000人の方々にご利用いただいております。

一方で、村外への移動手段や、ビジネス客・観光客など誰でも利用できる公共交通の充実、充実に課題となっており、検討を重ねてまいりました。このたび、ダイヤモンドコースや既存のバス路線等に加え、民間交通事業者の協力により、村内外を往來する路線バスを4月から開始することとなり、東海村の公共交通の拡充が図れます。通勤・通学時の利便性の向上はもとより、観光振興や交流人口の増加による地域の活性化も期待できますことや、「福祉」「教育」「環境」「まちづくり」の観点からも、公共交通の充実による「まち」としてのイメージアップにつながるものと考えております。今後も、ダイヤモンドコース・路線バスの利用状況を踏まえながら、東海村における公共交通の充実を続けるための検討を続け、必要に応じて再編してまいります。

「持続可能なまちづくり」のためにも、公共交通の維持・確保は大変重要な要素であることから、村としても、必要な支援を行っていきたいと考えておりますので、地域の方々をはじめ、多くの皆さまにご利用いただきながら、一体となって公共交通を盛り上げていきたいと思います。

東海村長 山田 修

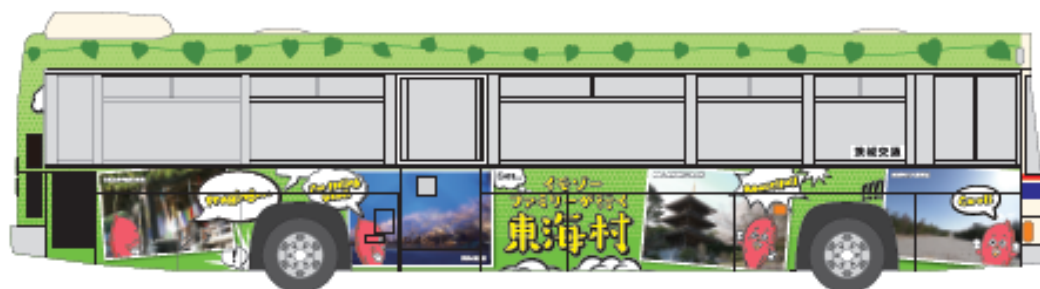
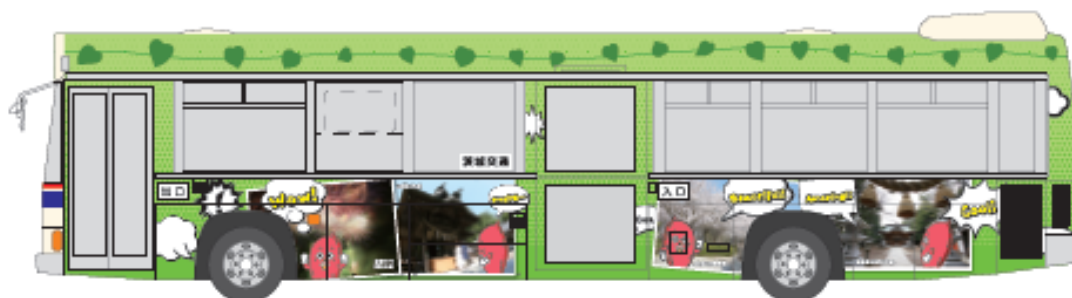
●東海村の公共交通

デマンドタクシー「あいのりくん」		交通手段	運行範囲	対象者	利用料金
デマンドタクシー	路線	既存	東海駅東口 ↔ フローレスタ須和間 東海駅西口 ↔ 水戸駅 ↔ 茨城大学	村内在住の方	300円/回 または100円/回
		新規	東海駅西口 ↔ 笠松 ↔ 東海駅(循環)		170 〜 最大310円
			東海駅西口 ↔ おさかなセンター		170 〜 最大930円
		バス	新規		東海駅東口 ↔ 茨城東病院
	東海駅東口 ↔ 海浜公園西口		170 〜 最大380円		
	高速	既存	東海駅東口(経由) ↔ 東京駅 東海駅東口(経由) ↔ 仙台駅	170 〜 最大330円	
	空港	既存	東海駅東口(経由) ↔ 成田空港 東海駅東口(経由) ↔ 羽田空港	170 〜 最大520円	
		既存	東海駅東口(経由) ↔ 茨城空港	2,240円/回 4,600円/回(平日)	
	JR	既存	東海駅東口(経由) ↔ 茨城空港	3,100円/回 3,800円/回 1,230円/回	乗車距離による

※路線バスの運行ダイヤなど詳細は、「広報とうかい」(2月25日号、3月25日号(予定))と共に配布のチラシ等で確認できるほか、村または茨城交通株式会社のホームページでもご覧いただけます

問い、合わせ] ▼ダイヤ・料金など運行に関すること…茨城交通株式会社勝田営業所 (☎272-7311) <http://www.ibako.co.jp/> ▼村の公共交通に関すること…まちづくり推進課原子カサイエン・国際化担当 (☎282-1711 内線1342) <http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/>

【新規路線バスのラッピング車両のデザイン案】



【天井】イモソーファミリー 紹介ステッカー



【手すり】イモソーファミリー



参 考 資 料

1. 東海村地域公共交通網形成計画の検討体制・経緯
2. デマンドタクシー登録者アンケート調査
3. 村内事業所ヒアリング調査
4. 新規路線バス試行運行計画を策定するための実態把握調査

1. 東海村地域公共交通網形成計画の検討体制・経緯

(1) 東海村地域公共交通会議設置要綱

東海村地域公共交通会議設置要綱

(設置)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通網形成計画（以下「形成計画」という。）の作成及び実施に関し必要な事項を協議し、並びに道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、地域の需要に応じた住民生活に必要な旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けて必要となる事項を協議するため、東海村地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 形成計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 形成計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (3) 形成計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (4) 地域公共交通の運行に関すること。
- (5) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関すること。
- (6) その他交通会議が必要と認めること。

(組織)

第3条 交通会議は、25人以内の委員をもって組織し、次に掲げる者のうちから村長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 村長又はその指名する者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (3) 一般貸切（乗用）旅客自動車運送事業者
- (4) 茨城県バス協会
- (5) 茨城県ハイヤー・タクシー協会
- (6) 住民又は利用者の代表
- (7) 茨城運輸支局長又はその指名する者
- (8) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体

- (9) ひたちなか西警察署交通課長
 - (1 0) 茨城県企画部企画課交通対策室長
 - (1 1) 常陸大宮土木事務所長又はその指名する者
 - (1 2) 学識経験者
 - (1 3) その他村長が必要と認める者
- (会長及び副会長)

第4条 交通会議に、会長1人、副会長2人を置く。

- 2 会長は、副村長をもって充て、交通会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、委員の互選により定め、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、その職により委嘱された委員の任期は、その職にある期間とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 交通会議の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて会長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴き、資料の提出を求めることができる。

(協議結果の取扱い)

第7条 関係者は、交通会議において協議が調った事項を尊重し、当該事項を誠実に実施するよう努めるものとする。

(庶務)

第8条 交通会議の庶務は、まちづくり推進課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関し必要な事項は、会長が交通会議に諮って定める。

附 則

- 1 この告示は、公布の日から施行する。

（東海村地域公共交通の在り方検討委員会設置要綱の廃止）

- 2 東海村地域公共交通の在り方検討委員会設置要綱（平成25年東海村告示第127号）は、廃止する。

（経過措置）

- 3 この告示の施行の際現にこの要綱による改正前の東海村デマンド交通運行委員会設置要綱第3条の規定により委嘱され、又は任命された東海村デマンド交通運行委員会の委員である者は、その任期が終了するまでの間は、改正後の東海村地域公共交通会議設置要綱（以下「新要綱」という。）第3条の規定により、東海村地域公共交通会議の委員として委嘱され、又は任命されたものとみなす。

（任期の特例）

- 4 この告示の施行の日以後、新要綱第3条の規定により、新たに委嘱され、又は任命される委員の任期は、新要綱第5条第1項前段の規定にかかわらず、平成27年6月30日までとする。

(2) 東海村地域公共交通会議委員名簿

No	氏 名	所属・役職
1	任田 正史	茨城交通株式会社 代表取締役社長
2	舩井 辰也	村内タクシー業者代表（有限会社 常東タクシー 代表取締役）
3	澤畠 政志	茨城県バス協会 専務理事
4	鬼澤 秀通	茨城県ハイヤー・タクシー協会 専務理事
5	関 誠一	東海村自治会連合会 理事
6	照沼 豪	東海村自治会連合会 理事
7	河野 進	東海村民生委員・児童委員協議会 会長
8	生田目 篤	東海村高齢者クラブ連合会 会長
9	岸 三男	東海村身体障害者福祉協議会 会長
10	石川 久男	東海村商工会 事務局長
11	清宮 武雄	東海村商工会 副会長
12	井坂 文明	東海村観光協会 会長
13	富田 浩文	東海村社会福祉協議会 事務局長
14	飯田 孝志	茨城運輸支局 首席運輸企画専門官
15	伊藤 隆道	東海村デマンドタクシー運転手代表（有限会社 常東タクシー）
16	菅原 康弘	茨城交通労働組合 執行委員長
17	林崎 真	ひたちなか西警察署 交通課長
18	川上 敬一	茨城県 企画部 企画課 交通対策室長
19	磯野 健寿	茨城県 常陸大宮土木事務所 道路管理課長
20	山田 稔	茨城大学 工学部都市システム工学科 教授
21	久賀 洋子	東海村 福祉部長
22	佐藤 富夫	東海村教育委員会 教育次長
23	設楽 隆久	東海村 副村長兼村長公室長

【関係自治体】

1	日立市	都市建設部 都市政策課
2	ひたちなか市	企画部 企画調整課
3	那珂市	企画部 政策企画課

【事務局】 村長公室 まちづくり推進課

1	箭原 智浩	課長
2	海野 健	副参事
3	大道 雄治	課長補佐
4	松崎 真吾	主幹

(3) 東海村地域公共交通会議の開催経緯

回	日時	協議事項
第1回	平成26年6月25日 14:00～15:30	(1) 本村の地域公共交通の在り方に関する今後の計画について (2) 地域公共交通の調査・研究について（茨城大学）
第2回	平成26年10月2日 15:00～16:30	(1) 「日常の外出についてのアンケート素集計 中間報告 (2) 今後のスケジュールについて
第3回	平成26年11月10日 15:00～16:30	(1) 新たな公共交通の運行計画（案）について
第4回	平成26年12月15日 15:30～17:00	(1) 東海村における地域公共交通の考え方について (2) 今後のスケジュールについて 1 改正地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会への移行 2 地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の策定 3 新たな路線バスの運行
第5回	平成27年1月23日 15:30～17:00	(1) 新たな路線バスの運行計画について
第6回	平成27年2月17日 15:30～17:00	(1) 東海村地域公共交通網形成計画（素案）について (2) 新たな路線バスの広報PRについて (3) デマンドタクシーの運行について
第7回	平成27年3月26日 15:30～17:00	(1) 東海村地域公共交通網形成計画（最終案）について (2) デマンドタクシーの平成26年度実績について (3) 今後のスケジュールについて

2. デマンドタクシー登録者アンケート調査

(1) 調査の実施概要・アンケート調査票

①調査の実施概要

■1. 調査研究の目的

- ・デマンドタクシーの運用効率化と、デマンドタクシーではカバーできない需要に対する検討を行うための基礎資料として、利用者アンケートにより、交通行動実態と意識を明らかにする。
- ・デマンドタクシーではカバーできていない需要として、特に村外との交通がある。これについては、さまざまな利用形態が考えられるが、今後公共交通が整備されたとしても、マイカーを自由に利用できる層からの転換はあまり期待できないものと考え、ここではマイカーの自由な利用が比較的制約されている層としてデマンドタクシーの利用登録を行っている人を対象に、その実態や意識を明らかにする。

■2. 調査の概要

□1. 調査のねらい

- ・デマンドタクシー利用登録者に対してアンケート調査を実施する。アンケート調査の調査票の作成に当たって、以下の点が明らかになるように設計した。
 - a) デマンドタクシーの課題抽出
 - a-1) 利用に際しての課題・意識
 - a-2) 予約の手間に対する評価
 - b) デマンドタクシーではカバーできていない需要の量の把握
 - b-1) 村外の目的地との移動の実態
 - b-2) 村外の目的地への公共交通整備に対する意識

□2. 調査方法

- ・デマンドタクシー利用登録者から抽出し、登録者名簿の住所・氏名に対して郵送配布・郵送回収で実施することとした。詳細は下表の通りである。

調査対象	デマンドタクシー利用登録者データから抽出 ・過去1度以上利用のある者 435人（全数） ・過去利用のない者 565人（無作為抽出） 計1000人
調査期間	平成26年7月28日～8月1日
調査方法	郵送配布郵送回収
実施状況	配布部数(部) : 1000
	回収部数(部) : 306
	回収率(%) : 30.6

■3. 集計結果のまとめ

□1. 問A 指定した日の外出実態

- ・ 休日の目的地では、「イオン東海店」次いで、「カスミ舟石川店」が多い。またひたちなか市や日立市を目的地とするものは、それぞれの合計は「イオン東海店」と同程度となっている。
- ・ 平日は、休日に比べて「イオン東海店」は多くなっている。また休日には見られなかった、病院や公共施設の利用も見られる。それ以外は休日より少なめか同程度である。やはり、ひたちなか市や日立市を目的とするものが一定数見られる。
- ・ 出発時刻は、日曜日は9～10時、平日は8～10時が多い。
- ・ 外出目的は、日曜日は買い物が多く、次いで私用が多い。平日も買い物、私用の順であり、その次が通院となっている。
- ・ 手段は、日曜日は家族・知人の車が最も多く、次いで自動車(車を運転)、徒歩。平日は家族・知人の車の割合が減り、デマンドタクシーが現れる。

□2. 問B 普段の外出について

(通院と買物)

- ・ 通院の頻度は、「月1回程度」が多い。
- ・ 食料品・日用品は「週1～2回」が多く、衣料は「月1回程度」「それ以下」が多い。
- ・ 22%が、買物を家族に依存しているが、デマンド利用有の人では14%程度、利用無しの人では44%と大きな違いが見られる。デマンドは、マイカーが利用できなくかつ家族等に買物を依頼することも困難な人が、日常の買物で利用している傾向があると考えられる。

(村内での買物)

- ・ 買物の目的地で多いのは、「イオン東海店」「カスミ舟石川店」「カスミ フード・オフ・ストッカー」「ステーションコム」などの順。
- ・ 交通手段は、「家族・知人の車」が最も多く、「徒歩」「自動車(車を運転)」「自転車」「デマンドタクシー」が多い。

(村外での買物)

- ・ 「ジョイフル本田ひたちなか店」が最も多く、次いで、「カインズホーム日立店・ベイシア日立店」が多い。これに次いで水戸市の京成百貨店や水戸駅周辺も目立つ。
- ・ 頻度は、多くて「週1～2回」か、それ以下となっている。
- ・ 交通手段は「家族・知人の車」が最も多く、村内の買物の場合に比べても多くなっている。「デマンドタクシー」の回答もみられ、鉄道と組み合わせで利用する人もいることが伺える。

□3. 問C 隣接市への外出についての質問

(実態)

- ・買物以外も含めての、隣接市利用の目的地では、「水戸駅周辺」が最も多く、次いで、「海浜公園周辺」「勝田駅周辺」の順になっている。
- ・移動の目的では、「買物」が最も多く、「通院」が続いている。
- ・頻度では、「週1～2回」もみられるが、それ以下の人の割合の方が高くなっている。
- ・交通手段は、やはり「家族・知人の車」が最も多いが、次いで「JR常磐線」が多い。「デマンドタクシー」を組み合わせて使っている人も少なからず見られる。

(望む改善)

- ・村外への交通手段への期待として、「デマンドで直接行ける」が最も多く、次いで「直接、バスで行ける」が多くなっている。
- ・デマンド利用の有無別では、利用している人はデマンドで直接行けることを期待する傾向があり、一方で利用していない人は直接バスで行けることへの希望が多く、後者はバス停まで歩ける人が多く含まれている可能性がある。
- ・乗り継ぎに期待する人では、30分以内程度は許容できるとする答が多い。また、運賃では合計で500円が一つの目安になっていることがわかる。

(新しい目的地)

- ・行きたくても行けないところで、一番行きたい場所について聞いた結果では、「海浜公園周辺」が約30%と最も多くなった。次いで、「水戸駅周辺」「勝田駅周辺」となっている。
- ・具体的な目的地を答えてもらったところ、「ジョイフル本田ひたちなか店」、隣接する「ファッションクルーズ」、また「京成百貨店」の回答が比較的多くなっている。
- ・村外への日常の行動に比べて、医療施設など、多様な施設の名が挙がっている。
- ・目的としては、「買物」「通院」「遊び」の順に多くなっている。
- ・頻度では、「週1～2回」もみられるが、それ以下の人の割合の方が高くなっている。
- ・希望の運賃は、500円が最も多く、次いで300円が多い結果となった。

□4. 問D 「あいのりくん」の評価

- ・「利用券の購入・支払」「予約時の空き状況」「乗車の時間・所要時間・到着時間」「料金」の4項目について、各3段階で評価を聞いた結果で、相対的に最も問題が大きいのは「予約の空き状況」（「問題ない」が49.1%と他よりもっとも小さい）となった。
- ・総合的には、34%が、「やや使いにくい」または「改善が必要」と回答している。
- ・「それ以外で改善してほしいこと」は33%であり、4項目の他には、利用時間帯の拡大、村外利用、運転手の対応、利用方法の周知、電話がつながりにくいなどの指摘があった。

□5. 集計結果のまとめ

- ・現在の「あいのりくん」の利用者層は、日常の買物等の交通手段が他になく利用している人が一般的と考えられる。
- ・これに対して、利用登録していても利用していない層では、通常の買物では家族による支援を受けることが可能であり、また移動でも家族の車を利用できる可能性が比較的あるという傾向が見られた。
- ・村外への移動可能性の拡大に関しては、「あいのりくん」の利用の有無にかかわらず、約3割が海浜公園周辺への公共交通の整備を期待しているが、現在の利用者はデマンドのまま行けるようになることの希望が強いのにに対して、利用していない層ではバスへの期待が相対的に高いことが明らかになった。

②アンケート調査票

皆様へ

「日常の外出についてのアンケート」調査のご協力のお願い

日頃より、村政及びデマンドタクシー「あいのりくん」の運営につきまして特段のご理解、ご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

村では、現在マイカーなど移動手段のない人のための外出を支援するために、デマンドタクシー「あいのりくん」の運行を行っており、利用者は増加傾向にあります。

このたび、村における公共交通がより皆様の生活のニーズに沿ったものとなるために、改めて、皆様の日常生活における外出の実態と、「あいのりくん」の利用に対するご意見を調査させていただくこととしました。

より多くの皆様にご回答いただくことで、適切な事業支援の施策に反映させることが可能となり、東海村における新たな公共交通を考えるうえでの一助となるものと考えております。調査の主旨をご理解の上、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

お答えは、あてはまる番号に○をつけるか、()にご記入いただく簡単なものです。お答えいただいた内容はすべて統計処理を行い、みなさまにご迷惑のないように取り扱います。

なお、今回のアンケート調査の実施は、茨城大学の協力を得ながら村が実施するものです。

【調査対象者の抽出と回収方法について】

現在、あるいは将来において公共交通の利用の必要性が高いと考えられる方々の実態について知るために、今回の調査は「あいのりくん」のご利用登録をいただいた方を対象として、無作為抽出を行って選定させていただきました。つきましては、必ず封筒の宛名に書いてある方にお答えいただけますよう、お願いいたします。

なお、ご高齢などで記入が困難な方については、ご家族が代筆していただけると幸いです。その場合でも、かならず封筒の宛名に書いてある方のご利用やご意見をご記入いただけますようお願いいたします。

何かとご多忙のところお手数をおかけいたしますが、ご記入いただいた調査票は8月1日(金)までに同封の返信用封筒に封入し、ポストに投函してください。(※切手は不要です)

平成26年7月

東海村長 山 田 修

【問い合わせ先】

東海村役場 村長公室 まちづくり推進課
(担当)松崎 TEL282-1711(内)1342

【協力調査機関】

茨城大学 工学部 都市システム工学科
(担当)山田 TEL0294-38-5176

【記入例】

質問 A へ記入されるときには、以下の例を参考にしてください

たくさん滞在先があって欄に書ききれないときは、滞在先が自宅から遠いものから順に3つまでを、滞在した順に記入してください。

(例) 朝、出かけて、帰宅途中に買物をして、帰宅した場合

自宅を出発した時間は？	(☒ 午前 ・ 午後 9 時 50 分)
最初にどこに行きましたか？	(東海 市・町・村 東海 村役場)
次にどこに行きましたか？	(東海 市・町・村 舟石川駅東 イオン) ・ 自宅
さらにその後どこに行きましたか？	(市・町・村) ☒ 自宅
最後に自宅に戻った時間は？	(午前 ☒ 午後 0 時 20 分)
外出の目的は次のどれでしたか？あてはまるものすべてに○を付けてください。	1.通勤 2.通学 3.仕事(農作業) 4.仕事(業務) ☒ 5.買物 ☒ 6.私用(用事) 7.通院 8.送り迎え 9.趣味・友人宅訪問 10. 散歩・スポーツ 11.その他 ()
利用した交通手段すべてに○を付けてください。	1. 徒歩 ☒ 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. タクシー 6. デマンドタクシー「あいのりくん」 7. JR常磐線 8. 車を運転 9. 家族・知人の車に同乗 10. その他()

(例) 朝、職場に通勤して、夕方に帰宅した場合

自宅を出発した時間は？	(☒ 午前 ・ 午後 6 時 40 分)
最初にどこに行きましたか？	(水戸 市・町・村 南町 職場)
次にどこに行きましたか？	(市・町・村) ☒ 自宅
さらにその後どこに行きましたか？	(市・町・村) ・ 自宅
最後に自宅に戻った時間は？	(午前 ☒ 午後 6 時 50 分)
外出の目的は次のどれでしたか？あてはまるものすべてに○を付けてください。	☒ 1.通勤 2.通学 3.仕事(農作業) 4.仕事(業務) 5.買物 ☒ 6.私用(用事) 7.通院 8.送り迎え 9.趣味・友人宅訪問 10. 散歩・スポーツ 11.その他 ()
利用した交通手段すべてに○を付けてください。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク ☒ 4. 路線バス 5. タクシー 6. デマンドタクシー「あいのりくん」 ☒ 7. JR常磐線 8. 車を運転 ☒ 9. 家族・知人の車に同乗 10. その他()

※まったく外出しなくても、「自宅」のところにひとつだけ○をつけてください

自宅を出発した時間は？	(午前 ・ 午後 時 分)
最初にどこに行きましたか？	(市・町・村)
次にどこに行きましたか？	(市・町・村) ☒ 自宅
さらにその後どこに行きましたか？	(市・町・村) ・ 自宅
最後に自宅に戻った時間は？	(午前 ・ 午後 時 分)

A. 外出についておうかがいします。下で指定した日の一日の行動を思い出してご記入ください

7月27日(日曜日)、7月29日(火曜日)、7月30日(水曜日)のそれぞれについて、一日の外出についておうかがいします。それぞれの調査日の終わり(またはその翌日など)に一日の動きを思い出しご記入ください。回答に当たっては、お願い文の裏面の記入例も参考にしてください。

7月 27 日(日曜日) について

➤ 自宅を出発した時間は?	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 最初にどこに行きましたか?	(市・町・村)
➤ 次にどこに行きましたか?	(市・町・村) ・ 自宅
➤ さらにその後どこに行きましたか?	(市・町・村) ・ 自宅
➤ 最後に自宅に戻った時間は?	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 外出の目的は次のどれでしたか? あてはまるものすべてに○を付けてください。	1.通勤 2.通学 3.仕事(農作業) 4.仕事(業務) 5.買物 6.私用(用事) 7.通院 8.送り迎え 9.趣味・友人宅訪問 10. 散歩・スポーツ 11.その他 ()
➤ 利用した交通手段すべてに○を付けてください。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. タクシー 6. デマンドタクシー「あいのりくん」 7. JR常磐線 8. 車を運転 9. 家族・知人の車に同乗 10. その他()

7月 29 日(火曜日) について

➤ 自宅を出発した時間は?	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 最初にどこに行きましたか?	(市・町・村)
➤ 次にどこに行きましたか?	(市・町・村) ・ 自宅
➤ さらにその後どこに行きましたか?	(市・町・村) ・ 自宅
➤ 最後に自宅に戻った時間は?	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 外出の目的は次のどれでしたか? あてはまるものすべてに○を付けてください。	1.通勤 2.通学 3.仕事(農作業) 4.仕事(業務) 5.買物 6.私用(用事) 7.通院 8.送り迎え 9.趣味・友人宅訪問 10. 散歩・スポーツ 11.その他 ()
➤ 利用した交通手段すべてに○を付けてください。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. タクシー 6. デマンドタクシー「あいのりくん」 7. JR常磐線 8. 車を運転 9. 家族・知人の車に同乗 10. その他()

7月 30 日(水曜日) について

➤ 自宅を出発した時間は？	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 最初にどこに行きましたか？	(市・町・村)
➤ 次にどこに行きましたか？	(市・町・村) ・ 自宅
➤ さらにその後どこに行きましたか？	(市・町・村) ・ 自宅
➤ 最後に自宅に戻った時間は？	(午前 ・ 午後 時 分)
➤ 外出の目的は次のどれでしたか？ あてはまるものすべてに○を付けてください。	1.通勤 2.通学 3.仕事(農作業) 4.仕事(業務) 5.買物 6.私用(用事) 7.通院 8.送り迎え 9.趣味・友人宅訪問 10. 散歩・スポーツ 11.その他 ()
➤ 利用した交通手段すべてに○を付けてください。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. タクシー 6. デマンドタクシー「あいのりくん」 7. JR常磐線 8. 車を運転 9. 家族・知人の車に同乗 10. その他()

B. 普段の外出についておうかがいします

問-1 あなたは今、病院・医院にかかっていますか？ 通院の頻度について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. 週 1 回以上 2. 2 週間に 1 回程度 3. 月 1 回程度 4. それ以下 5. 行かない

問-2 買物での外出についてお伺いします。食料品・日用品の買物と衣料の買物だけについて頻度をお答えください。あてはまるもの1つに○を付けてください。

➤ 食料品・日用品の買物	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 2 週間に 1 回程度 5. それ以下 6. 行かない
➤ 衣料の買物	1. 週 1 回以上 2. 2 週間に 1 回程度 3. 月 1 回程度 4. それ以下 5. 行かない

問-3 あなたの普段の食事で使う食料品を買うのは、おもにどなたですか？ 1つに○を付けてください。

1. おもに自分自身 2. おもに、自分でない家族 3. 自分と家族が半々程度
4. その他 ()

➤ 二番目に行きたい場所について1つに○を付けてください。	1. 勝田駅とその周辺 2. ひたち海浜公園とその周辺の商業施設 3. 大みか駅とその周辺 4. 佐和駅とその周辺 5. 笠松運動公園 6. 水戸駅とその周辺 7. 那珂湊駅とその周辺 8. 特にな 9. その他()
➤ 具体的な目的地(施設名)をお答えください。	()
➤ そこへ行く目的について、おもなもの1つに○を付けてください。	1. 買物 2. 通院 3. 通勤・通学 4. 食事(外食) 5. 遊び 6. 会合等 7. 習い事や催物 8. 親戚・友人宅などへの訪問 9. 公共施設へ行く 10. その他()
➤ そこへ行く回数について1つに○を付けてください。	1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. 2週間に1回程度 5. それ以下 6. 行かない

問-4 問-3でお答えいただいた場所について、その場所への片道合計運賃で、支払ってもよいと思う金額をご記入ください。 ()円

D. デマンドタクシー「あいのりくん」の利便性などについて伺います。それぞれの質問についてあてはまるもの 1 つに○を付けてください。

➤ 利用券の購入・支払について	1. 特に問題ない 2. 少し不便 3. 難しい
➤ 予約時の空き状況について	1. 特に問題ない 2. もう少し希望通りになるとよい 3. 空きがなく困ることがよくある
➤ 乗車の時間・所要時間・到着時間について	1. 特に問題ない 2. もう少し希望通りになるとよい 3. 時間がかかり困ることがよくある
➤ 「あいのりくん」の <u>今の料金</u> は妥当だと思いますか？	1. もう少し高くてもよい 2. ほぼ妥当だ 3. より安ければ頻繁に利用したい

➤ <u>それ以外</u>のことで改善して欲しいことがありますか？	1. 問題ない 2. その他で改善してほしいことがある→下の記入欄にお答えください ※問題点や改善して欲しいことがあれば具体的にお書きください
➤ <u>総合的にみて</u>「あいのりくん」の使い勝手をどう思いますか？	1. とても使いやすい 2. 特に問題ない 3. やや使いにくい点がある 4. もっと改善が必要 5. その他()
➤ <u>今後</u>も引き続き利用しようと思いますか？	1. 定期的に利用したい 2. ときどき利用すると思う 3. あまり利用しようと思わない 4. わからない 5. その他()

E. あなたご自身のことについておうかがいします

➤ あなたの年齢は？	() 歳
➤ あなたの性別は？	1. 男 2. 女
➤ お住まいの地区はどこですか？ 1つに○を付けてください。	1. 石神地区 2. 村松地区 3. 白方地区 4. 中丸地区 5. 照沼地区 6. 舟石川地区
➤ 職業について、1つに○を付けてください。	1. 会社員・公務員 2. 自営(農林業) 3. 自営(農林業以外) 4. 学生 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他()
➤ 同居のご家族の人数(ご自身を含む)をお答えください	15 歳未満 ()人 15 歳～64 歳 ()人 65 歳以上 ()人
➤ 運転免許をお持ちですか？ 1つに、○を付けてください。	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. 免許なし
➤ ご自分で運転しますか？	1. はい 2. いいえ
➤ 自由に使える車はお持ちですか？(家族に運転してもらえる場合を含みます)	1. はい 2. いいえ

【アンケート調査にご協力ありがとうございました。以上で質問は終わりです。】

東海村の公共交通に対するご意見、また調査票に書ききれなかったことなどがあれば、ご記入ください。今後、公共交通の改善の検討を行う上での参考にさせていただきます。

(2) 調査結果

(問 A) 指定した 1 日の行動

7 月 27 日 (日曜日) について

外出先 (1 人につき最大 3 箇所までの回答の延べ数)

	度数	%
イオン東海店 (ジャスコ)	27	7.6
カスミ フードスクエア舟石川店	13	3.7
カスミ フード オフ・ストッカー東海店	9	2.5
カスミ (店舗不明)	7	2.0
JA にじのなか	7	2.0
ステーションコム	7	2.0
セイブ東海店	5	1.4
村内 その他商業施設	23	6.5
その他村内の医療・介護施設	9	2.5
東海駅	8	2.2
中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ (村民プール)	7	2.0
セレモニア富士那珂・東海館 (富士祭典)	6	1.7
村内のその他の施設	17	4.8
村内 地名等	56	15.7
ヨークベニマルひたちなか店	7	2.0
ジョイフル本田 ひたちなか店 (ジャパンミートひたちなか店)	6	1.7
その他ひたちなか市内の施設	25	7.0
ひたちなか市 地名	21	5.9
日立市	24	6.7
那珂市	11	3.1
水戸市	24	6.7
その他県内	20	5.6
県外	14	3.9
回答数合計	353	-
回答者数	356	100.0

7月29日（火曜日） 7月30日（水曜日）について
 外出先（1人につき最大3箇所までの回答の延べ数、1日あたりの平均）

	度数	%
イオン東海店（ジャスコ）	31.5	8.8
カスミ フード オフ・ストッカー東海店	10.0	2.8
カスミ フードスクエア舟石川店	9.0	2.5
セイブ東海店	6.0	1.7
常陽銀行東海店	5.0	1.4
ステーションコム	3.5	1.0
村内 その他商業施設	22.0	6.2
村立東海病院	6.0	1.7
石井整形外科クリニック	5.0	1.4
その他村内の医療・介護施設	21.5	6.0
総合福祉センター「絆」（保健センター）	12.0	3.4
東海駅	10.0	2.8
中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ（村民プール）	4.0	1.1
村役場	3.5	1.0
総合支援センター「なごみ」	3.5	1.0
村内のその他の施設	24.5	6.9
村内 地名等	69.5	19.5
ジョイフル本田 ひたちなか店（ジャパンミートひたちなか店）	4.0	1.1
その他ひたちなか市内の施設	29.5	8.3
ひたちなか市 地名	19.0	5.3
日立市	18.0	5.1
那珂市	7.5	2.1
水戸市	21.0	5.9
その他県内	17.0	4.8
県外	7.5	2.1
回答数合計	370	—
回答者数	356	100.0

7月27日（日曜日）について

(a11h) 27日の出発した時間（時）

	度数	%
4	2	.9
5	6	2.6
6	8	3.5
7	13	5.7
8	19	8.3
9	49	21.3
10	55	23.9
11	22	9.6
12	7	3.0
13	12	5.2
14	5	2.2
15	14	6.1
16	12	5.2
17	3	1.3
18	1	.4
19	2	.9
合計	230	100.0

(a13h) 27日の帰宅した時間（時）

	度数	%
5	2	.9
6	1	.4
8	1	.4
9	5	2.2
10	8	3.5
11	37	16.0
12	21	9.1
13	14	6.1
14	23	10.0
15	17	7.4
16	32	13.9
17	24	10.4
18	27	11.7
19	6	2.6
20	3	1.3
21	8	3.5
22	2	.9
合計	231	100.0

(a14m) 27日の外出目的【複数回答】

	度数	%
通勤	6	1.9
通学	1	0.3
仕事(農作業)	12	3.9
仕事(業務)	6	1.9
買物	125	40.6
私用(用事)	45	14.6
通院	7	2.3
送り迎え	9	2.9
趣味・友人宅訪問	28	9.1
散歩・スポーツ	20	6.5
その他	49	15.9
合計	308	—
回答者数	233	100.0

(a15m) 27日の外出交通手段【複数回答】

	度数	%
徒歩	47	17.3
自転車	27	9.9
バイク	1	0.4
路線バス	4	1.5
タクシー	4	1.5
デマンドタクシー	4	1.5
JR 常磐線	14	5.1
自動車	51	18.8
家族・知人の車	110	40.4
その他	10	3.7
合計	272	—
回答者数	228	100.0

7月29日（火曜日）について

(a21h) 29日の出発した時間（時）

	度数	%
4	1	.4
5	4	1.6
6	10	3.9
7	24	9.4
8	40	15.7
9	50	19.6
10	42	16.5
11	19	7.5
12	10	3.9
13	15	5.9
14	14	5.5
15	10	3.9
16	8	3.1
17	5	2.0
18	2	.8
19	1	.4
合計	255	100.0

(a23h) 29日の帰宅した時間（時）

	度数	%
4	1	.4
6	1	.4
7	1	.4
8	2	.8
9	4	1.6
10	7	2.8
11	33	13.3
12	15	6.0
13	14	5.6
14	23	9.3
15	24	9.7
16	49	19.8
17	38	15.3
18	16	6.5
19	9	3.6
20	3	1.2
21	5	2.0
22	3	1.2

(a24m) 29 日の外出目的【複数回答】

	度数	%
通勤	23	6.8
通学	4	1.2
仕事(農作業)	9	2.6
仕事(業務)	20	5.9
買物	105	30.9
私用(用事)	39	11.5
通院	47	13.8
送り迎え	14	4.1
趣味・友人宅訪問	19	5.6
散歩・スポーツ	15	4.4
その他	45	13.2
合計	340	—
回答者数	256	100.0

(a25m) 29 日の外出交通手段【複数回答】

	度数	%
徒歩	64	19.5
自転車	39	11.9
バイク	3	0.9
路線バス	6	1.8
タクシー	5	1.5
デマンドタクシー	35	10.7
JR 常磐線	24	7.3
自動車	72	22.0
家族・知人の車	69	21.0
その他	11	3.4
合計	328	—
回答者数	256	100.0

7月30日（水曜日）について

(a21h) 30日の出発した時間（時）

	度数	%
2	1	.4
5	4	1.7
6	7	3.0
7	30	12.8
8	41	17.4
9	51	21.7
10	39	16.6
11	15	6.4
12	9	3.8
13	12	5.1
14	5	2.1
15	5	2.1
16	10	4.3
17	3	1.3
18	2	.9
19	1	.4
合計	235	100.0

(a33h) 30日の帰宅した時間（時）

	度数	%
5	1	.4
9	3	1.3
10	13	5.7
11	25	11.0
12	22	9.6
13	16	7.0
14	12	5.3
15	20	8.8
16	39	17.1
17	26	11.4
18	28	12.3
19	11	4.8
20	6	2.6
21	3	1.3
22	3	1.3
合計	228	100.0

(a34m) 30日の外出目的【複数回答】

	度数	%
通勤	22	6.4
通学	5	1.5
仕事(農作業)	11	3.2
仕事(業務)	14	4.1
買物	90	26.3
私用(用事)	45	13.2
通院	34	9.9
送り迎え	14	4.1
趣味・友人宅訪問	31	9.1
散歩・スポーツ	29	8.5
その他	47	13.7
合計	342	—
回答者数	241	100.0

(a35m) 30日の外出交通手段【複数回答】

	度数	%
徒歩	55	18.0
自転車	33	10.8
バイク	3	1.0
路線バス	7	2.3
タクシー	5	1.6
デマンドタクシー	27	8.9
JR 常磐線	26	8.5
自動車	67	22.0
家族・知人の車	72	23.6
その他	10	3.3
合計	305	—
回答者数	232	100.0

(問 B) 普段の外出について

問 - 1 (b1) 通院頻度

	度数	%
週 1 回以上	25	7.3
2 週間に 1 回程度	33	9.6
月 1 回程度	158	46.1
それ以下	85	24.8
通院しない	42	12.2
合計	343	100.0

問 - 2 (b21) 買い物頻度、食料品日用品

	度数	%
週 5 回以上	30	8.7
週 3～4 回	98	28.5
週 1～2 回	151	43.9
2 週間に 1 回程度	31	9.0
それ以下	12	3.5
行かない	22	6.4
合計	344	100.0

問 - 2 (b22) 買い物頻度、衣類

	度数	%
週 1 回以上	7	2.1
2 週間に 1 回程度	34	10.4
月 1 回程度	118	36.2
それ以下	118	36.2
行かない	49	15.0
合計	326	100.0

問 - 3 (b3) 買い物をする人

	度数	%
自身	191	55.5
家族	76	22.1
半々	63	18.3
その他	14	4.1
合計	344	100.0

問 - 4 (b411) 買物先. 村内 1

	度数	%
1. イオン東海店	119	35.6
2. カスミ舟石川店	91	27.2
3. ステーションコム	35	10.5
4. JA にじのなか	7	2.1
5. コンビニエンスストア	15	4.5
6. その他	51	15.3
1 と 2	4	1.2
1 と 3	2	.6
1 と 4	2	.6
1 と 5	1	.3
1 と 6	3	.9
2 と 4	1	.3
2 と 6	2	.6
3 と 4	1	.3
合計	334	100.0

問 - 4 (b411e) 買い物先. 村内 1 その他

	度数	%
セイブ東海店	5	9.4
ツルハドラック東海店	1	1.9
カスミ フード オフ・ストッカー東海店	37	69.8
スーパー(店舗不明)	1	1.9
生協(店舗不明)	1	1.9
真崎町	1	1.9
※ 湊中原	1	1.9
※ ジョイフル本田 ひたちなか店 (ジャパンミートひたちなか店)	2	3.8
※ ウエルシア(店舗不明)	1	1.9
※ カインズホーム日立店 (ベイシア日立店)	1	1.9
※ イトーヨーカドー日立店	1	1.9
※ その他村外スーパー	1	1.9
合計	53	100.0

問 - 4 (b412) 買物頻度. 村内 1

	度数	%
週 5 回以上	26	7.8
週 3～4 回	81	24.3
週 1～2 回	156	46.7
2 週間に 1 回程度	44	13.2
それ以下	23	6.9
村内で買物しない	4	1.2
合計	334	100.0

問 - 4 (b413m) 買物交通手段. 村内 1 【複数回答】

	度数	%
徒歩	97	22.6
自転車	59	13.7
バイク	6	1.4
路線バス	7	1.6
タクシー	7	1.6
デマンドタクシー	59	13.7
JR 常磐線	3	0.7
自動車	79	18.4
家族・知人の車	108	25.1
その他	5	1.2
合計	430	—
回答者数	332	100.0

問 - 4 (b421e) 買物先. 村内 2

	度数	%
1. イオン東海店	93	29.0
2. カスミ舟石川店	75	23.4
3. ステーションコム	44	13.7
4. JA にじのなか	30	9.3
5. コンビニエンスストア	23	7.2
6. その他	54	16.8
3 と 6	1	.3
5 と 6	1	.3
合計	321	100.0

問 - 4 (b421e) 買物先. 村内 2 その他

	度数	%
WonderG00 東海店	1	2.1
セイブ東海店	10	21.3
ドラッグストア マツモトキヨシ 東海店	3	6.4
セイコーマート	1	2.1
ツルハドラック東海店	1	2.1
カスミ フード オフ・ストッカー東海店	16	34.0
ファッションセンター しまむら東海店	2	4.3
中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ（村民プール）	1	2.1
舟石川コミュニティセンター/自治集会連合会	1	2.1
※ カスミ佐和店	1	2.1
※ ジョイフル本田 ひたちなか店（ジャパンミートひたちなか店）	3	6.4
※ ウエルシア（店舗不明）	1	2.1
※ しまむら（店舗不明）	1	2.1
※ セイブ（店舗不明）	3	6.4
※ ヨークベニマル（店舗不明）	1	2.1
※ 京成百貨店	1	2.1
合計	47	100.0

問 - 4 (b422) 買物頻度. 村内 2

	度数	%
週 5 回以上	5	1.6
週 3～4 回	28	8.8
週 1～2 回	133	41.8
2 週間に 1 回程度	83	26.1
それ以下	65	20.4
村内で買物しない	4	1.3
合計	318	100.0

問-4 (b423m) 買物交通手段. 村内 2【複数回答】

	度数	%
徒歩	68	17.5
自転車	61	15.7
バイク	6	1.5
路線バス	5	1.3
タクシー	6	1.5
デマンドタクシー	49	12.6
JR 常磐線	1	0.3
自動車	78	20.1
家族・知人の車	113	29.1
その他	1	0.3
合計	388	—
回答者数	315	100.0

問-4 (b431) 買物先. 村外 1

	度数	%
※ イオン東海店 (ジャスコ)	9	3.3
※ カスミ フードスクエア舟石川店	5	1.8
※ ステーションコム	3	1.1
※ カスミ フード オフ・ストッカー東海店	2	.7
MEGA ドン・キホーテ勝田店	3	1.1
セイブ ひたちなか店	1	.4
ヨークベニマル東大島店	4	1.5
いばらきコープ ひたちなか店 (茨城生協, 生協勝田店, 生協)	3	1.1
ヨークベニマル佐和店	2	.7
業務スーパー ひたちなか店	2	.7
ＣＯＯＰひたちなか店	2	.7
カスミ佐和店	1	.4
カスミ馬渡店	1	.4

サンユー ひたちなか店（サンユーストアー 生鮮市場、サンキひたちなか店）	2	. 7
ジョイフル本田 ひたちなか店（ジャパンミートひたちなか店）	101	36. 8
ファッションクルーズ（スポーツオーソリティ新ひたちなか店）	7	2. 6
COSTCO	2	. 7
フラワーマーケットみなと	1	. 4
その他勝田駅周辺	2	. 7
衣料品店	1	. 4
イオン(店舗不明)	2	. 7
ウエルシア(店舗不明)	1	. 4
カスミ(店舗不明)	4	1. 5
ケースデンキ(店舗不明)	1	. 4
サンユー(店舗不明)	1	. 4
ジャスコ(店舗不明)	1	. 4
ジョイフル山新(店舗不明)	1	. 4
セイブ(店舗不明)	1	. 4
TUTAYA(店舗不明)	1	. 4
マルト(店舗不明)	2	. 7
ヨークベニマル(店舗不明)	8	2. 9
カインズホーム日立店（ベイシア日立店）	50	18. 2
かわねや南高野店	1	. 4
日立お魚センター（久慈浜魚市場）	3	1. 1
イトーヨーカドー日立店	4	1. 5
ホームック 那珂店	2	. 7
マルト 那珂店	1	. 4
エクセル（川又書店）	8	2. 9
三越	1	. 4
京成百貨店	15	5. 5
イオンモール水戸内原	2	. 7
その他水戸駅とその周辺	3	1. 1
その他の水戸市	7	2. 6
合計	274	100. 0

問-4 (b432) 買物頻度. 村外 1

	度数	%
週 5 回以上	3	1.0
週 3～4 回	19	6.3
週 1～2 回	82	27.3
2 週間に 1 回程度	85	28.3
それ以下	89	29.7
村外で買物しない	22	7.3
合計	300	100.0

問-4 (b433m) 買物交通手段. 村外 1【複数回答】

	度数	%
徒歩	22	6.0
自転車	18	4.9
バイク	4	1.1
路線バス	15	4.1
タクシー	5	1.4
デマンドタクシー	27	7.4
JR 常磐線	36	9.8
自動車	83	22.6
家族・知人の車	151	41.1
その他	6	1.6
合計	367	—
回答者数	287	100.0

問-4 (b441) 買物先. 村外 2

	度数	%
個人宅 住所不明	1	.4
※ イオン東海店 (ジャスコ)	5	2.2
※ カスミ フードスクエア舟石川店	4	1.8
※ ステーションコム	1	.4
※ JA にじのなか	3	1.3

※ ブックエース東海店	1	. 4
※ カスミ フード オフ・ストッカー東海店	2	. 9
※ ファッションセンター しまむら東海店	1	. 4
※ 生協(店舗不明)	1	. 4
※ 農協(店舗不明)	1	. 4
MEGA ドン・キホーテ勝田店	4	1. 8
ヨークベニマルひたちなか店	1	. 4
いばらきコープ ひたちなか店(茨城生協, 生協勝田店, 生協)	2	. 9
ＣＯＯＰひたちなか店	2	. 9
カスミ佐和店	1	. 4
リラひたち	1	. 4
ウエルシア馬渡店	1	. 4
カスミ馬渡店	1	. 4
ジョイフル本田 ひたちなか店 (ジャパンミートひたちなか店)	51	22. 3
ファッションクルーズ (スポーツオーソリティ新ひたちなか店)	2	. 9
ユニクロ ひたちなかニューポート店	1	. 4
COSTCO	7	3. 1
バースディ佐和店	2	. 9
大丸屋	1	. 4
その他勝田駅周辺	1	. 4
デパート(店舗不明)	1	. 4
スポーツ用品・スポーツ施設	1	. 4
魚市場	1	. 4
イオン(店舗不明)	5	2. 2
ウエルシア(店舗不明)	1	. 4
カスミ(店舗不明)	5	2. 2
カワチ薬品(店舗不明)	1	. 4
ケーズデンキ(店舗不明)	2	. 9
ゲオ (店舗不明)	1	. 4
サンヨー (店舗不明)	1	. 4

しまむら（店舗不明）	1	. 4
ジョイフル山新（店舗不明）	4	1. 8
セイブ（店舗不明）	1	. 4
マルト（店舗不明）	1	. 4
ユニクロ（店舗不明）	1	. 4
ヨークベニマル（店舗不明）	6	2. 6
阿字ヶ浦海岸	5	2. 2
カインズホーム日立店（ベイシア日立店）	36	15. 8
日立お魚センター（久慈浜魚市場）	1	. 4
イトーヨーカドー日立店	2	. 9
ひたち南ドライブイン	1	. 4
ホームック 那珂店	2	. 9
西松屋那珂店	1	. 4
マルト 那珂店	1	. 4
カンセキ那珂店	1	. 4
水戸市	5	2. 2
常陸太田市	1	. 4
丸井	1	. 4
エクセル（川又書店）	13	5. 7
京成百貨店	15	6. 6
イオンモール水戸内原	9	3. 9
水戸駅とその周辺	1	. 4
大洗町 めんたいパーク	1	. 4
東京都	1	. 4
合計	228	100. 0

問-4 (b442) 買物頻度. 村外 2

	度数	%
週 5 回以上	2	.8
週 3～4 回	7	2.7
週 1～2 回	34	13.1
2 週間に 1 回程度	69	26.5
それ以下	124	47.7
村外で買物しない	24	9.2
合計	260	100.0

問-4 (b443m) 買物交通手段. 村外 2【複数回答】

	度数	%
徒歩	20	6.1
自転車	13	4.0
バイク	3	0.9
路線バス	9	2.7
タクシー	6	1.8
デマンドタクシー	30	9.1
JR 常磐線	38	11.6
自動車	70	21.3
家族・知人の車	131	39.9
その他	8	2.4
合計	328	—
回答者数	247	100.0%

(問 C) 隣接市への外出先とその目的、頻度、交通手段

問 - 1 (c111) 村外で一番よく外出する場所

	度数	%
勝田駅周辺	52	15.8
海浜公園周辺	71	21.5
大みか	13	3.9
佐和	14	4.2
笠松運動公園	14	4.2
水戸駅周辺	77	23.3
那珂湊	1	.3
特にない	53	16.1
その他	32	9.7
複数回答	3	.9
合計	330	100.0

問 - 1 (c111e) 村外で一番よく外出する場所(その他)

	度数	%
職場 住所不明	1	3.3
ひたちなか市で、詳細が無記入	1	3.3
スポーツ用品・スポーツ施設	1	3.3
ヨークベニマル(店舗不明)	1	3.3
眼科(店舗不明)	1	3.3
大みか町	1	3.3
大和田町	1	3.3
日立市上記以外の住所	1	3.3
カインズホーム日立店(ベシシア日立店)	2	6.7
日立港区事業所	1	3.3
日立市で、詳細が無記入	13	43.3
栗田病院	1	3.3
その他の那珂市	2	6.7

水戸市	1	3.3
大洗町	1	3.3
東京都	1	3.3
合計	30	100.0

問 - 1 (c112) 村外で一番よく外出する場所（目的）

	度数	%
買物	115	39.4
通院	58	19.9
通勤・通学	11	3.8
食事(外食)	12	4.1
遊び	19	6.5
会合等	4	1.4
習い事や催物	12	4.1
親戚・友人宅訪問	23	7.9
公共施設	7	2.4
その他	22	7.5
複数回答	9	3.1
合計	292	100.0

問 - 1 (c113) 村外で一番よく外出する場所（頻度）

	度数	%
週5回以上	10	3.3
週3～4回	22	7.3
週1～2回	72	23.8
2週間に1回程度	61	20.2
それ以下	120	39.7
行かない	17	5.6
合計	302	100.0

問 - 1 (c114m) 村外で一番よく外出する場所（交通手段）【複数回答】

	度数	%
徒歩	35	7.6
自転車	20	4.3
バイク	5	1.1
路線バス	21	4.5
タクシー	17	3.7
デマンドタクシー	57	12.3
JR 常磐線	97	21.0
自動車	75	16.2
家族・知人の車	127	27.4
その他	9	1.9
合計	463	—
回答者数	293	100.0

問 - 1 (c121) 村外で二番目によく外出する場所

	度数	%
勝田駅周辺	39	13.3
海浜公園周辺	43	14.6
大みか	7	2.4
佐和	8	2.7
笠松運動公園	15	5.1
水戸駅周辺	49	16.7
那珂湊	1	.3
特にない	94	32.0
その他	33	11.2
複数回答	5	1.5
合計	294	100.0

問 - 1 (c121e) 村外で二番目によく外出する場所(その他)

	度数	%
※イオン東海店 (ジャスコ)	1	2.9
※中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ (村民プール)	1	2.9
ジョイフル本田 ひたちなか店 (ジャパンミートひたちなか店)	1	2.9
佐野図書館	1	2.9
カインズホーム日立店 (ベイシア日立店)	2	5.9
日立お魚センター (久慈浜魚市場)	1	2.9
日立総合病院	1	2.9
日立市で、詳細が無記入	11	32.4
上菅谷駅周辺	1	2.9
その他の那珂市	3	8.8
イオンモール水戸内原	3	8.8
その他の水戸市	1	2.9
土浦市	1	2.9
常陸太田市	2	5.9
東京都	3	8.8
合計	33	100.0

問 - 1 (c122) 村外で二番目によく外出する場所 (目的)

	度数	%
1 買物	106	45.1
2 通院	30	12.8
3 通勤・通学	1	.4
4 食事(外食)	16	6.8
5 遊び	16	6.8
6 会合等	4	1.7
7 習い事や催物	11	4.7
8 親戚・友人宅訪問	15	6.4
9 公共施設	8	3.4

10 その他	18	7.7
1 と 4	2	.9
1 と 5	1	.4
1 と 9	1	.4
2 と 4	1	.4
2 と 7	1	.4
3 と 8	1	.4
1 と 4 と 5	1	.4
4 と 7 と 8	1	.4
9 と 10	1	.4
合計	235	100.0

問 - 1 (c123) 村外で二番目によく外出する場所（頻度）

	度数	%
週 5 回以上	1	.4
週 3～4 回	6	2.5
週 1～2 回	39	16.3
2 週間に 1 回程度	58	24.3
それ以下	115	48.1
行かない	20	8.4
合計	239	100.0

問 - 1 (c124m) 村外で二番目によく外出する場所（交通手段）【複数回答】

	度数	%
徒歩	21	6.6
自転車	11	3.5
バイク	2	0.6
路線バス	10	3.1
タクシー	11	3.5
デマンドタクシー	29	9.1
JR 常磐線	56	17.6
自動車	64	20.1
家族・知人の車	104	32.7
その他	10	3.1
合計	318	—
回答者数	234	100.0

問 - 2 (c2m) 「一番よく行く場所」へ行く回数が増える条件【複数回答】

	度数	%
直接、バスで行ける	80	34.9
デマンドで直接、行ける	110	48.0
デマンドとバスの乗継ぎで行ける	9	3.9
デマンドと鉄道の乗継ぎで行ける	23	10.0
乗継ぎ時間が〇分以内	22	9.6
運賃合計が〇円以内	50	21.8
その他	59	25.8
合計	352	—
回答者数	229	100.0

問 - 2 (c25r) 期待する改善 乗継ぎ時間

	度数	%
～15 分	5	25
～30 分	12	60
～60 分	1	5
それ以上	2	10
合計	20	100

問 - 2 (c26r) 期待する改善 片道運賃

	度数	%
～100 円	1	2.1
～200 円	8	16.7
～300 円	8	16.7
～400 円	4	8.3
～500 円	14	29.2
～750 円	4	8.3
～1000 円	8	16.7
それ以上	1	2.1
合計	48	100

問 - 3 行きたくても行けない村外の場所について

問 - 3 (c311) 一番行きたい場所

	度数	%
勝田駅周辺	30	10.0
海浜公園周辺	85	28.2
大みか	4	1.3
佐和	3	1.0

笠松運動公園	7	2.3
水戸駅周辺	40	13.3
那珂湊	6	2.0
特にない	97	32.2
その他	22	7.3
複数回答	7	2.3
合計	301	100.0

問 - 3 (c311e) 一番行きたい場所 具体的に

	度数	%
※ 東海園	1	.7
※ 中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ (村民プール)	1	.7
※文化センター	1	.7
※総合福祉センター「絆」(保健センター)	2	1.3
※東海駅	3	2.0
※村内のその他(不明)の施設	1	.7
笠松運動公園	2	1.3
MEGA ドン・キホーテ勝田店	1	.7
ジョイフル本田 ひたちなか店 (ジャパンミートひたちなか店)	47	30.9
ファッションクルーズ (スポーツオーソリティ新ひたちなか店)	12	7.9
デパート(店舗不明)	1	.7
スーパー(店舗不明)	1	.7
病院(店舗不明)	1	.7
レストラン	1	.7
映画館	2	1.3
魚市場	1	.7
ケーズデンキ (店舗不明)	1	.7
TUTAYA (店舗不明)	1	.7
サンキ(店舗不明)	1	.7

勝田駅周辺	2	1.3
那珂湊駅とその周辺	1	.7
その他ひたちなか市内の商業施設	1	.7
ひたちなか総合病院	5	3.3
ますおか内科クリニック	1	.7
わらがい接骨院	1	.7
デイサービス SARA らいびーず	1	.7
特別養護老人ホームさわの森	1	.7
眼科(店舗不明)	1	.7
その他ひたちなか市内の医療・介護施設	8	5.3
国営ひたち海浜公園	8	5.3
その他ひたちなか市内の施設	2	1.3
カインズホーム日立店（ベイシア日立店）	4	2.6
日立お魚センター（久慈浜魚市場）	1	.7
聖麗メモリアル病院	2	1.3
その他の日立市	1	.7
なか健康センター	1	.7
栗田病院	1	.7
県民の森（茨城県植物園）	1	.7
その他の那珂市	2	1.3
常陸太田市	1	.7
京成百貨店	13	8.6
水戸市民センター	1	.7
水戸駅とその周辺	1	.7
その他の水戸市	6	3.9
東京都	1	.7
その他県外	1	.7
合計	152	100.0

問 - 3 (c312) 一番行きたい場所 (目的)

	度数	%
1 買物	90	40.9
2 通院	33	15.0
3 通勤・通学	2	.9
4 食事(外食)	6	2.7
5 遊び	29	13.2
6 会合等	2	.9
7 習い事や催物	8	3.6
8 親戚・友人宅訪問	12	5.5
9 公共施設	3	1.4
10 その他	12	5.5
1 と 2	3	1.4
1 と 4	4	1.8
1 と 5	6	2.7
1 と 7	4	1.8
2 と 8	1	.5
2 と 9	1	.5
5 と 9	1	.5
1 と 4 と 5	1	.5
7 と 10	1	.5
1 と 6 と 7 と 9	1	.5
合計	220	100.0

問 - 3 (c313) 一番行きたい場所 (頻度)

	度数	%
週 5 回以上	1	.5
週 3～4 回	13	6.1
週 1～2 回	37	17.5

2週間に1回程度	55	26.0
それ以下	94	44.3
行かない	12	5.7
合計	212	100.0

問 - 3 (c321) 二番目に行きたい場所

	度数	%
勝田駅周辺	22	9.4
海浜公園周辺	32	13.6
大みか	6	2.6
佐和	3	1.3
笠松運動公園	19	8.1
水戸駅周辺	26	11.1
那珂湊	11	4.7
特にない	95	40.4
その他	16	6.8
複数回答	5	2.1
合計	235	100.0

問 - 3 (c321e) 二番目に行きたい場所 具体的に

	度数	%
※ 中央公民館 / 村立図書館/スイミングプラザ（村民プール）	1	1.1
ひたちなか市で、詳細が無記入	1	1.1
旧那珂湊市	1	1.1
MEGA ドン・キホーテ勝田店	4	4.3
ジョイフル本田 ひたちなか店（ジャパンミートひたちなか店）	23	24.5
ファッションクルーズ（スポーツオーソリティ新ひたちなか店）	1	1.1
COSTCO	1	1.1
バースディ佐和店	1	1.1

スタジオ音楽工房	1	1.1
スポーツ用品・スポーツ施設	1	1.1
映画館	1	1.1
しまむら（店舗不明）	1	1.1
ひたちなか総合病院	2	2.1
勝田皮フ科クリニック	1	1.1
社会福祉法人はまぎくの会 / ハートケアセンターひたちなか	1	1.1
その他ひたちなか市内の医療・介護施設	4	4.3
笠松運動公園	7	7.4
国営ひたち海浜公園	5	5.3
久慈町	1	1.1
日立市上記以外の住所	1	1.1
カインズホーム日立店（ベイシア日立店）	2	2.1
日立お魚センター（久慈浜魚市場）	7	7.4
イトーヨーカドー日立店	1	1.1
大原神経科病院	1	1.1
シビックセンター	1	1.1
那珂市	1	1.1
笠間市	1	1.1
つくば市	1	1.1
エクセル（川又書店）	2	2.1
京成百貨店	10	10.6
イオンモール水戸内原	3	3.2
県近代美術館	2	2.1
水戸市民センター	1	1.1
その他の水戸市	1	1.1
大洗町 ゆっくら健康館	1	1.1
合計	94	100.0

問 - 3 (c322) 二番目に行きたい場所 (目的)

	度数	%
1 買物	83	51.2
2 通院	18	11.1
3 食事(外食)	4	2.5
4 遊び	14	8.6
5 会合等	2	1.2
6 習い事や催物	7	4.3
7 親戚・友人宅訪問	7	4.3
8 公共施設	7	4.3
9 その他	13	8.0
1 と 4	3	1.9
1 と 5	2	1.2
1 と 7	1	.6
4 と 5	1	.6
合計	162	100.0

問 - 3 (c323) 二番目に行きたい場所 (頻度)

	度数	%
週 5 回以上	2	1.2
週 3～4 回	7	4.3
週 1～2 回	20	12.2
2 週間に 1 回程度	41	25.0
それ以下	78	47.6
行かない	16	9.8
合計	164	100.0

問 - 4 (c4) 希望運賃

	度数	%
～100 円	3	2
～200 円	13	8.7
～300 円	35	23.3
～400 円	3	2
～500 円	54	36
～750 円	4	2.7
～1000 円	28	18.7
それ以上	10	6.7
合計	150	100

(問 D) デマンドタクシー「あいのりくん」の利便性

問-1 (d1) 利用券の購入・支払い

	度数	%
問題ない	242	84.3
少し不便	40	13.9
不便	5	1.7
合計	287	100.0

問-1 (d2) 予約の空き状況

	度数	%
問題ない	136	49.1
少し不便	95	34.3
不便	46	16.6
合計	277	100.0

問-1 (d3) 乗車時間, 所要時間, 到着時間

	度数	%
問題ない	169	62.1
少し不便	85	31.3
不便	18	6.6
合計	272	100.0

問-1 (d4) 現在の料金の妥当性

	度数	%
少し高くてもよい	16	5.5
妥当	190	65.3
安ければ頻繁に利用する	85	29.2
合計	291	100.0

問-1 (d5) それ以外で改善してほしいこと

	度数	%
問題ない	138	67.0
問題あり	68	33.0
合計	206	100.0

問-1 (d6) 総合的にみた使い勝手

	度数	%
良い	57	20.2
問題ない	113	39.9
やや使いにくい	71	25.1
改善が必要	27	9.5
その他	15	5.3
合計	283	100.0

問-1 (d7) 今後の利用

	度数	%
定期的に利用したい	86	28.9
ときどき利用したい	149	50.2
利用しようと思わない	27	9.1
わからない	21	7.1
その他	14	4.7
合計	297	100.0

(問 E) あなたご自身のこと

問-1 (e2) 性別

	度数	%
男	87	24.9
女	263	75.1
合計	350	100.0

問-1 (e3) 住所

	度数	%
石神地区	56	16.0
村松地区	72	20.6
白方地区	70	20.1
中丸地区	64	18.3
照沼地区	9	2.6
舟石川地区	78	22.3
合計	349	100.0

問-1 (e4) 職業

	度数	%
会社員・公務員	16	4.6
自営(農林業)	5	1.4
自営(農林業以外)	6	1.7
学生	9	2.6
パート・アルバイト	27	7.8
専業主婦・主夫	103	29.8
無職	170	49.1
その他	10	2.9
合計	346	100.0

問-1 (e51) 同居家族人数. 15 歳未満

	度数	%
1	31	58.5
2	17	32.1
3	3	5.7
4	2	3.8
合計	53	100.0

問-1 (e52) 同居家族人数. 15-64 歳

	度数	%
1	61	32.6
2	69	36.9
3	39	20.9
4	15	8.0
5	2	1.1
7	1	.5
合計	187	100.0

問-1 (e53) 同居家族人数. 65 歳以上

	度数	%
1	117	50.4
2	108	46.6
3	7	3.0
合計	232	100.0

問-1 (e6) 運転免許の有無

	度数	%
自動車運転免許あり	122	35.4
原付・二輪のみ免許あり	7	2.0
免許なし	216	62.6
合計	345	100.0

問-1 (e7) 自分で運転するか

	度数	%
する	108	33.1
しない	218	66.9
合計	326	100.0

問-1 (e8) 自由に使える車の有無

	度数	%
ある	185	56.7
ない	141	43.3
合計	326	100.0

3. 村内事業所ヒアリング調査

(1) 調査の実施概要

■1. 調査目的

- ・各事業所の送迎バスの運行状況と路線バス等の公共交通への要望を把握する。

■2. 調査日

平成26年 8 月28日 (木)	日本原子力研究開発機構
平成26年 9 月11日 (木)	東京電力 常陸那珂火力発電所
平成26年 9 月16日 (火)	日本原子力発電株式会社
平成26年10月 2 日 (木)	原子燃料工業株式会社 三菱原子燃料工業株式会社
平成26年11月12日 (水)	日本原子力発電株式会社
平成26年12月18日 (木)	原子燃料工業株式会社 三菱原子燃料工業株式会社 ニュークリア・デベロップメント株式会社 三菱マテリアル株式会社
平成26年12月24日 (水)	東京電力 常陸那珂火力発電所
平成27年 1 月16日 (金)	日本原子力研究開発機構

(2) 調査結果

■1. 送迎バスの運行状況

		日本原子力研究開発機構	東京電力常陸那珂火力発電所	日本原子力発電（株）	原子燃料工業（株）	三菱原子燃料（株）
バス		自社所有	委託	自社所有 (中型2台、マイクロ1台)	委託 (マイクロ1台)	自社所有 (マイクロ1台)
ドライバー		委託	委託	自社社員	委託	自社社員
運行頻度	朝	○	○	○	○	○
	昼 (事業所⇄東海駅)	○	×	○ (事業所⇄東海駅、寮)	○ (事業所⇄東海駅、勝田駅)	×
	夜	○	○	○	○	○

■2. ヒヤリング 状況

[事業所A]

- ・送迎バスの利用者は少ない。
- ・研究者の残業を考慮すると、20時位までは運行して欲しい。
- ・東海駅発着の特急に接続した便があると、出張時に利用できる。

[事業所B]

- ・東海駅及び勝田駅からの利用者は少なく、村内の寮(東海中学校近く)からの利用が中心である。
- ・寮は県道62号から住宅地内に入った場所にあるため、寮近くにバス停が必要となる。

[事業所C]

- ・送迎バスの利用者は少ないが、構内まで入ってきているため、国道245号のバス停では事業所まで遠く、抵抗感が大きいと思われる。

[事業所D]

- ・送迎バスは約4年前から車両・運行を全て委託しているため、直ぐに取りやめることは難しい。利用者は平均2～4人と少ない。
- ・東海駅と勝田駅を結ぶ昼間の送迎バスを、住民も利用できるような検討することも可能である。

[事業所E]

- ・送迎バスの利用者が少ないため、10人乗りワゴン車への変更も検討している。
- ・路線バスが東海駅から自社周辺(国道6号沿いのバス停でも)まで結ばれれば、ある程度の利用者が見込まれると思われる。
- ・周辺の事業所にも同様の需要がある。

4. 新規路線バス試行運行計画を策定するための実態把握調査

(1) 東海駅通勤・通学時間帯の乗降者数調査

①調査の実施概要

■1. 調査目的

- ・新規路線バスの運行ダイヤを検討・設定するにあたって、東海駅を利用している通勤・通学者の実態として、電車別の乗降者数と利用者層を把握した。

■2. 調査日・方法

- ・通勤・通学時間帯の電車の利用状況を把握するために、調査は、平日の朝と夕方～夜に、東海駅に発着する電車毎に、乗車人数と降車人数をカウントした。
- ・調査日：平成26年11月18日(火)・20日(木)
- ・調査実施者：茨城交通(森田弘典／勝田営業所長)

②調査結果 (ダイヤは調査日時点のもの)

平成26年11月18日(火)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り 6:57	水戸	150	20	通勤 通学 その他	
下り 7:00	高萩	60	5	通勤 通学 その他	
下り 7:17	いわき	130	20	通勤 通学 その他	
上り 7:20	上野	220	20	通勤 通学 その他	
下り 7:30	竜田	110	20	通勤 通学 その他	
上り 7:34	上野	50	0	通勤 通学 その他	ビジネスマン
上り 7:37	水戸	250	15	通勤 通学 その他	この時間帯企業の 送迎バス東口に出 入りしている
下り 7:39	高萩	150	40	通勤 通学 その他	
下り 7:54	いわき	250	100	通勤 通学 その他	
上り 7:56	水戸	250	30	通勤 通学 その他	
上り 8:12	土浦	180	50	通勤 通学 その他	
下り 8:15	高萩	200	140	通勤 通学 その他	降車はほぼ東海高校生
下り 8:34	いわき	41	60	通勤 通学 その他	
上り 8:40	水戸	46	16	通勤 通学 その他	
上り 8:47	土浦	25	10	通勤 通学 その他	
下り 8:54	高萩	20	60	通勤 通学 その他	降車外人技術者?多数
上り 9:00	上野	26	0	通勤 通学 その他	ほぼ一般客
下り 9:01	高萩	3	20	通勤 通学 その他	
上り 9:07	水戸	27	4	通勤 通学 その他	
上り 9:22	水戸	36	4	通勤 通学 その他	
上り 9:31	上野	60	6	通勤 通学 その他	
下り 9:32	竜田	25	10	通勤 通学 その他	

平成26年11月18日(火)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り 15:45	水戸	34	36	通勤 通学 その他	東海高校生
下り 15:53	いわき	20	44	通勤 通学 その他	
上り 16:04	水戸	118	50	通勤 通学 その他	
上り 16:24	水戸	68	33	通勤 通学 その他	
下り 16:26	いわき	35	131	通勤 通学 その他	乗車ほぼ外人技術者
上り 16:39	上野	8	0	通勤 通学 その他	
下り 16:39	高萩	16	80	通勤 通学 その他	
上り 16:58	水戸	62	60	通勤 通学 その他	
下り 17:08	いわき	23	120	通勤 通学 その他	
上り 17:27	水戸	72	90	通勤 通学 その他	
下り 17:30	高萩	25	91	通勤 通学 その他	
下り 17:50	いわき	21	114	通勤 通学 その他	
上り 18:02	小山	100	100	通勤 通学 その他	
上り 18:15	水戸	30	68	通勤 通学 その他	
下り 18:29	いわき	34	160	通勤 通学 その他	
上り 18:39	上野	16	0	通勤 通学 その他	
上り 18:44	水戸	25	80	通勤 通学 その他	
上り 18:51	土浦	26	50	通勤 通学 その他	
下り 18:56	広野	20	95	通勤 通学 その他	
下り 19:13	高萩	13	113	通勤 通学 その他	
上り 19:19	水戸	40	86	通勤 通学 その他	
下り 19:40	いわき	16	110	通勤 通学 その他	
上り 19:48	水戸	20	136	通勤 通学 その他	
下り 19:59	高萩	1	16	通勤 通学 その他	
上り 20:13	上野	10	1	通勤 通学 その他	
上り 20:27	水戸	23	98	通勤 通学 その他	
下り 20:29	高萩	15	140	通勤 通学 その他	

平成26年11月20日(木)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り 6:57	水戸	171	40	通勤 通学 その他	
下り 7:00	高萩	112	15	通勤 通学 その他	
下り 7:17	いわき	145	24	通勤 通学 その他	
上り 7:20	上野	256	20	通勤 通学 その他	
下り 7:30	竜田	120	15	通勤 通学 その他	
上り 7:34	上野	50	0	通勤 通学 その他	ビジネスマン
上り 7:37	水戸	250	20	通勤 通学 その他	この時間帯企業の 送迎バス東口に出 入りしている
下り 7:39	高萩	112	50	通勤 通学 その他	
下り 7:54	いわき	270	141	通勤 通学 その他	
上り 7:56	水戸	240	30	通勤 通学 その他	
上り 8:12	土浦	180	42	通勤 通学 その他	
下り 8:15	高萩	200	110	通勤 通学 その他	降車はほぼ東海高校生
下り 8:34	いわき	42	60	通勤 通学 その他	
上り 8:40	水戸	60	15	通勤 通学 その他	
上り 8:47	土浦	24	5	通勤 通学 その他	
下り 8:54	高萩	15	62	通勤 通学 その他	降車外人技術者?多数
上り 9:00	上野	26	0	通勤 通学 その他	ほぼ一般客
下り 9:01	高萩	0	26	通勤 通学 その他	
上り 9:07	水戸	23	5	通勤 通学 その他	
上り 9:22	水戸	30	5	通勤 通学 その他	
上り 9:31	上野	35	6	通勤 通学 その他	
下り 9:32	竜田	30	15	通勤 通学 その他	

平成26年11月20日(木)

太字:特急	行先	乗車	降車	客層チェック	備考(その他)
上り 15:45	水戸	25	35	通勤 通学 その他	東海高校が早く終 わった為、乗車数 が少ない
下り 15:53	いわき	9	65	通勤 通学 その他	
上り 16:04	水戸	25	37	通勤 通学 その他	
上り 16:24	水戸	27	58	通勤 通学 その他	
下り 16:26	いわき	26	118	通勤 通学 その他	乗車ほぼ外人技術者
上り 16:39	上野	14	0	通勤 通学 その他	
下り 16:39	高萩	8	70	通勤 通学 その他	
上り 16:58	水戸	58	63	通勤 通学 その他	
下り 17:08	いわき	12	105	通勤 通学 その他	
上り 17:27	水戸	57	66	通勤 通学 その他	
下り 17:30	高萩	20	83	通勤 通学 その他	
下り 17:50	いわき	20	127	通勤 通学 その他	
上り 18:02	小山	83	128	通勤 通学 その他	
上り 18:15	水戸	31	89	通勤 通学 その他	
下り 18:29	いわき	28	200	通勤 通学 その他	
上り 18:39	上野	20	0	通勤 通学 その他	
上り 18:44	水戸	25	72	通勤 通学 その他	
上り 18:51	土浦	10	44	通勤 通学 その他	
下り 18:56	広野	17	96	通勤 通学 その他	
下り 19:13	高萩	11	101	通勤 通学 その他	
上り 19:19	水戸	43	70	通勤 通学 その他	
下り 19:40	いわき	12	120	通勤 通学 その他	
上り 19:48	水戸	25	142	通勤 通学 その他	
下り 19:59	高萩	0	22	通勤 通学 その他	
上り 20:13	上野	8	1	通勤 通学 その他	
上り 20:27	水戸	30	122	通勤 通学 その他	
下り 20:29	高萩	17	153	通勤 通学 その他	

(2) 運行ルートの実走時分計測調査

①調査の実施概要

■1. 調査目的

- ・新規路線バスの運行ダイヤを検討・設定するために、想定ルート案の実走時間の計測を行った。

■2. 調査日・方法

- ・通勤・通学時間帯のバスの定時性を確保するために、調査は、平日の朝と夕方～夜に車で想定ルートを想定ダイヤで走行して、バス停留所ごとの所要時分を計測した。
- ・調査日：平成27年1月13日(火)晴・14日(水)晴・15日(木)曇のち雨・16日(金)晴
- ・調査実施者：茨城交通(森田弘典／勝田営業所長)

②調査結果

■1. 東海駅東口・茨城東病院線

- ・夕方、病院敷地内から側道への出口が、一般車にふさがれてしまう。かなり無理をしないと、側道へ出られない(国道245号へ出る信号で詰まっている)。
- ・病院出入口前の側道に停車禁止の路面ペイントおよび看板などを設置が、安全性・定時性の確保からも必須と思われる。
- ・旧東水戸病院線のバス停(ポイント)で計測したが、現在の住宅状況から以下のような若干の見直しが必要と思われる。
 1. 東口から東海中までの間に2か所程度新設。「ジャスコ前」もしくは「常銀前」。次が「合同庁舎南」。
 2. 東海中から真崎東までは、設置場所を調整し、名称も再使用か新名称で再考の余地がある(旧「真崎十文字」は現在「村松」交差点となっている)。
 3. 旧「阿漕ヶ裏」と旧「虚空蔵尊入口」を統合して「虚空蔵尊」とし、旧「村松宿」を現在の村松コミセン前にし「村松コミセン前」に変更する。

■2. 東海駅東口・海浜公園線

- ・海浜公園入口バス停を通過せず、ケーズデンキの交差点を往来するルート案なので、週末の渋滞の影響も最小限で済むと思われる。

■3. 船場・舟石川循環線

- ・バス停の時刻は、新設の西口郵便局は郵便局前で、舟石川小前は校門前で、船場は石井歯科の前、プール前はひたちなかコミバスの「プール前バス停」で、三菱マテリアルと核燃料は正門前で、舟石川中央はウェルシアの前で計測を行った。
- ・夕刻(東海駅17:35発・18:07発)は、日によってかなりの渋滞があり、遅れがちとなる。
- ・東海駅西口の渋滞がひどく、送迎車も列車に接続して待っているので非常に問題である

- ・村民の意識から、路線バスの印象がほとんど消えている状況である。バスロータリー内へは、進入方向など関係なしに進入して自由に停車している。業者の車が定期的な配送にも使用している様子が見えた。
- ・そのため、バス停留所の看板の掲出や路面へのペイントなど、一定の周知期間をおかないと危険な状態である。

■4. 東海駅西口・おさかなセンター線

- ・休日は留大橋北交差点からの渋滞があるので、東海駅への戻りルートは国道293号へ直に戻らず、日立電鉄交通サービスの「日立南交差点バス停」を経由して戻った方が、定時性が保たれると思われる。

②計測結果

〔東海駅東口・茨城東病院線／東海駅東口・海浜公園線〕

1/14(水) 晴れ

東海駅東口	10:00	12:07	13:57
東海中学校	10:03	12:10	14:00
荒谷住宅	10:03	12:10	14:01
真崎十文字	10:04	12:11	14:02
真崎仲町	10:05	12:13	14:03
真崎東	10:06	12:13	14:04
原研前	10:07	12:15	14:06
阿漕ヶ浦	10:08	12:16	14:07
虚空蔵尊入口	10:08	12:17	14:08
村松宿	10:09	12:17	14:08
原子力機構前	10:10	12:18	14:09
茨城東病院前	10:11	12:19	14:10
茨城東病院	10:14	12:21	14:12
JA長砂	10:17	12:25	14:16
ジョイフルホンダ西	10:22	12:29	14:20
ジョイフルホンダ東	10:22	12:30	14:20
海浜公園西口	10:25	12:33	14:22
所要時分	0:25	0:26	0:25

東海駅東口	7:10	8:01	9:06
東海中学校	7:13	8:05	9:10
荒谷住宅	7:14	8:05	9:11
真崎十文字	7:15	8:06	9:11
真崎仲町	7:16	8:07	9:13
真崎東	7:17	8:10	9:13
原研前	7:19	8:15	9:15
阿ヶ裏	7:20	8:17	9:16
虚空蔵尊入口	7:21	8:18	9:16
村松宿	7:23	8:19	9:17
原子力機構前	7:27	8:23	9:19
茨城東病院前	7:28	8:24	9:20
茨城東病院	7:29	8:25	9:21
所要時間	0:19	0:24	0:15

16:31	17:13	18:07	19:00	19:52	20:33
16:34	17:17	18:11	19:04	19:55	20:35
16:35	17:18	18:11	19:04	19:56	20:36
16:36	17:19	18:12	19:05	19:57	20:37
16:37	17:21	18:14	19:07	19:59	20:38
16:38	17:21	18:14	19:08	20:00	20:39
16:39	17:22	18:15	19:08	20:01	20:41
16:40	17:25	18:19	19:09	20:03	20:43
16:41	17:27	18:20	19:10	20:03	20:44
16:41	17:28	18:22	19:10	20:04	20:45
16:42	17:29	18:26	19:11	20:05	20:46
16:43	17:29	18:27	19:12	20:07	20:48
16:45	17:30	18:28	19:13	20:08	20:49
0:14	0:17	0:21	0:13	0:16	0:16

海浜公園西口	10:30	12:35	14:30
ジョイフルホンダ東	10:32	12:37	14:31
ジョイフルホンダ西	10:32	12:38	14:32
JA長砂	10:38	12:43	14:37
茨城東病院	10:43	12:47	14:41
茨城東病院前	10:45	12:50	14:42
原子力機構前	10:47	12:51	14:43
村松宿	10:49	12:53	14:44
虚空蔵尊入口	10:50	12:53	14:45
阿ヶ裏	10:50	12:54	14:46
原研前	10:52	12:55	14:46
真崎東	10:52	12:55	14:47
真崎仲町	10:53	12:56	14:48
真崎十文字	10:54	12:58	14:49
荒谷住宅	10:55	12:59	14:50
東海中学校	10:56	12:59	14:50
東海駅東口	10:59	13:03	14:54
所要時分	0:29	0:28	0:24

茨城東病院	6:55	7:30	8:30	9:20
茨城東病院前	6:56	7:31	8:32	9:21
原子力機構前	6:57	7:32	8:40	9:25
村松宿	6:58	7:33	8:49	9:32
虚空蔵尊入口	6:59	7:34	8:50	9:33
阿漕ヶ浦	7:00	7:34	8:51	9:36
原研前	7:01	7:36	8:52	9:37
真崎東	7:01	7:36	8:54	9:39
真崎仲町	7:02	7:37	8:55	9:40
真崎十文字	7:04	7:38	8:55	9:41
荒谷住宅	7:06	7:39	8:56	9:42
東海中学校	7:06	7:40	8:56	9:42
東海駅東口	7:10	7:44	8:58	9:45
所要時間	0:15	0:14	0:28	0:25

16:46	17:30	18:30	19:25	20:05
16:48	17:35	18:31	19:26	20:06
16:49	17:35	18:32	19:28	20:07
16:50	17:37	18:33	19:29	20:08
16:51	17:38	18:34	19:30	20:09
16:51	17:40	18:35	19:31	20:09
16:53	17:43	18:36	19:32	20:10
16:53	17:44	18:37	19:33	20:11
16:54	17:44	18:38	19:34	20:12
16:55	17:47	18:39	19:34	20:13
16:56	17:48	18:40	19:36	20:14
16:57	17:51	18:41	19:37	20:15
17:00	17:57	18:43	19:40	20:18
0:14	0:27	0:13	0:15	0:13

[東海駅東口・茨城東病院線／東海駅東口・海浜公園線]

1/16(金)晴れ

東海駅東口		12:07	13:57
東海中学校		12:09	14:01
荒谷住宅		12:11	14:02
真崎十文字		12:12	14:02
真崎仲町		12:13	14:04
真崎東		12:14	14:04
原研前		12:15	14:06
阿漕ヶ浦		12:16	14:07
虚空蔵尊入口		12:16	14:08
村松宿		12:17	14:08
原子力機構前		12:18	14:10
茨城東病院前		12:18	14:11
茨城東病院		12:20	14:12
JA長砂		12:24	14:16
ジョイフルホンダ西		12:29	14:21
ジョイフルホンダ東		12:30	14:22
海浜公園西口		12:32	14:25
所要時分		0:25	0:28

東海駅東口	7:10	8:01	9:06
東海中学校	7:14	8:04	9:08
荒谷住宅	7:15	8:05	9:08
真崎十文字	7:16	8:05	9:09
真崎仲町	7:17	8:08	9:11
真崎東	7:18	8:08	9:11
原研前	7:20	8:10	9:19
阿ヶ裏	7:22	8:12	9:20
虚空蔵尊入口	7:23	8:13	9:20
村松宿	7:25	8:15	9:21
原子力機構前	7:28	8:18	9:22
茨城東病院前	7:29	8:19	9:23
茨城東病院	7:30	8:20	9:25
所要時間	0:20	0:19	0:19

16:31	17:13	18:07	19:00	19:52	20:33
16:34	17:17	18:10	19:04	19:56	20:35
16:35	17:18	18:12	19:05	19:57	20:36
16:36	17:19	18:12	19:05	19:57	20:37
16:37	17:21	18:14	19:07	19:58	20:39
16:38	17:21	18:15	19:08	19:59	20:40
16:40	17:23	18:16	19:10	20:00	20:41
16:41	17:24	18:21	19:11	20:01	20:42
16:41	17:24	18:23	19:11	20:02	20:42
16:42	17:25	18:26	19:12	20:03	20:43
16:43	17:28	18:29	19:13	20:04	20:44
16:44	17:29	18:30	19:14	20:04	20:45
16:45	17:31	18:32	19:16	20:06	20:47
0:14	0:18	0:25	0:16	0:14	0:14

海浜公園西口	10:30	12:35	14:30
ジョイフルホンダ東	10:31	12:37	14:31
ジョイフルホンダ西	10:32	12:38	14:32
JA長砂	10:37	12:43	14:38
茨城東病院	10:42	12:48	14:43
茨城東病院前	10:44	12:49	14:46
原子力機構前	10:46	12:51	14:47
村松宿	10:46	12:51	14:48
虚空蔵尊入口	10:47	12:53	14:49
阿ヶ裏	10:47	12:53	14:49
原研前	10:49	12:55	14:51
真崎東	10:49	12:55	14:51
真崎仲町	10:50	12:56	14:51
真崎十文字	10:51	12:57	14:52
荒谷住宅	10:51	12:58	14:53
東海中学校	10:52	12:58	14:53
東海駅東口	10:56	13:02	14:57
所要時分	0:26	0:27	0:27

茨城東病院	6:55	7:30	8:30	9:20
茨城東病院前	6:57	7:34	8:32	9:21
原子力機構前	6:58	7:37	8:42	9:25
村松宿	7:01	7:38	8:46	9:32
虚空蔵尊入口	7:01	7:39	8:50	9:33
阿漕ヶ浦	7:02	7:39	8:51	9:36
原研前	7:03	7:40	8:54	9:37
真崎東	7:03	7:41	8:55	9:39
真崎仲町	7:04	7:41	8:55	9:40
真崎十文字	7:05	7:42	8:57	9:41
荒谷住宅	7:06	7:43	8:58	9:42
東海中学校	7:07	7:44	8:59	9:42
東海駅東口	7:10	7:48	9:02	9:45
所要時間	0:15	0:18	0:32	0:25

	17:31	18:32		
16:46	17:30	18:30	19:25	20:05
16:47	17:34	18:34	19:27	20:07
16:49	17:35	18:36	19:28	20:08
16:49	17:36	18:36	19:29	20:09
16:50	17:37	18:37	19:29	20:10
16:50	17:38	18:37	19:30	20:10
16:53	17:41	18:39	19:32	20:12
16:53	17:41	18:39	19:33	20:13
16:54	17:43	18:40	19:34	20:14
16:55	17:45	18:41	19:35	20:15
16:55	17:46	18:41	19:35	20:15
16:57	17:52	18:42	19:36	20:16
17:00	17:57	18:47	19:40	20:20
0:14	0:27	0:17	0:15	0:15

[船場・舟石川循環線]

循環(朝)13日(火)晴れ

所要時分	0:16					
東海駅西口	7:01	7:05	8:00	9:05		
舟石川中央	↑ 7:00	7:07	8:02	9:07		
内宿入口	6:59	7:08	8:05	9:08		
大山台	6:59	7:09	8:06	9:09		
東海団地入口	6:57	7:10	8:07	9:10		
石神二軒茶屋	6:56	7:13	8:08	9:12		
舟石川入口	6:53	7:15	8:09	9:14		
三菱核燃料	6:49	7:17	8:10	9:15		
三菱マテリアル	6:48	7:22	8:11	9:15		
笠 松	6:46	7:23	8:16	9:19		
笠松運動公園	6:45	7:23	8:17	9:20		
孫 目		7:24	8:18	9:21		
プール前		7:27	8:21	9:23		
船 場		7:32	8:23	9:25		
舟石川小前		7:34	8:25	9:27		
西口郵便局		7:37	8:26	9:29		
東海駅西口		↓ 7:39	↓ 8:28	↓ 9:30		
所要時分		0:34	0:28	0:25		

循環(夕)

18:07 の予定時刻で折り返せず

東海駅西口	15:05	16:31	17:35	18:14	19:00	19:52
西口郵便局	15:07	16:33	17:39	18:15	19:02	19:54
舟石川小前	15:09	16:35	17:41	18:16	19:03	19:55
船場	15:10	16:36	17:42	18:18	19:04	19:57
プール前	15:13	16:39	17:47	18:21	19:07	20:00
孫目	15:17	16:41	17:53	18:24	19:10	20:02
笠松運動公園	15:17	16:41	17:54	18:25	19:11	20:02
笠 松	15:18	16:42	17:57	18:28	19:12	20:03
三菱マテリアル	15:20	16:44	18:01	18:32	19:17	20:06
三菱核燃料	15:21	16:45	18:02	18:33	19:18	20:07
舟石川入口	15:22	16:46	18:04	18:36	19:20	20:09
石神二軒茶屋	15:24	16:49	18:07	18:38	19:23	20:11
東海団地入口	15:24	16:50	18:07	18:39	19:24	20:11
大山台	15:25	16:51	18:08	18:40	19:25	20:12
内宿入口	15:26	16:52	18:09	18:41	19:26	20:13
舟石川中央	15:27	16:54	18:10	18:42	19:26	20:14
東海駅西口	↓ 15:30	16:56	18:12	18:44	19:27	20:16
所要時分	0:25	0:25	0:37	0:30	0:27	0:24

[船場・舟石川循環線]

循環(朝) 1月15日(木)曇⇒雨

所要時分	0:14					
東海駅西口	6:59	7:05	8:00	9:05		
舟石川中央	▲ 6:58	7:07	8:02	9:06		
内宿入口	6:57	7:09	8:05	9:07		
大山台	6:56	7:10	8:06	9:09		
東海団地入口	6:55	7:10	8:07	9:10		
石神二軒茶屋	6:54	7:14	8:08	9:12		
舟石川入口	6:52	7:16	8:09	9:13		
三菱核燃料	6:49	7:19	8:10	9:16		
三菱マテリアル	6:48	7:20	8:10	9:16		
笠 松	6:46	7:22	8:15	9:19		
笠松運動公園	6:45	7:23	8:17	9:20		
孫 目		7:24	8:17	9:21		
プール前		7:27	8:20	9:22		
船 場		7:32	8:24	9:25		
舟石川小前		7:33	8:25	9:26		
西口郵便局		7:36	8:26	9:27		
東海駅西口		▼ 7:38	▼ 8:29	▼ 9:29		
所要時分		0:33	0:29	0:24		

循環(夕)

東海駅西口	15:05	16:31	17:35	18:07	19:00	19:52
西口郵便局	15:07	16:33	17:37	18:09	19:02	19:52
舟石川小前	15:08	16:35	17:39	18:11	19:04	19:53
船場	15:09	16:36	17:40	18:12	19:05	19:54
プール前	15:13	16:39	17:44	18:16	19:09	19:58
孫目	15:17	16:41	17:46	18:19	19:12	20:01
笠松運動公園	15:17	16:42	17:47	18:19	19:12	20:03
笠 松	15:18	16:43	17:48	18:20	19:13	20:03
三菱マテリアル	15:21	16:45	17:50	18:23	19:15	20:05
三菱核燃料	15:21	16:46	17:50	18:23	19:16	20:06
舟石川入口	15:25	16:48	17:52	18:25	19:18	20:08
石神二軒茶屋	15:26	16:50	17:56	18:27	19:20	20:10
東海団地入口	15:27	16:51	17:56	18:28	19:21	20:11
大山台	15:28	16:52	17:57	18:28	19:22	20:12
内宿入口	15:29	16:53	17:57	18:29	19:23	20:13
舟石川中央	15:30	16:53	18:00	18:31	19:24	20:14
東海駅西口	▼ 15:31	16:55	18:01	18:32	19:26	20:15
所要時分	0:26	0:24	0:26	0:25	0:26	0:23

[東海駅西口・おさかなセンター線]

1/13(火) 晴れ

東海駅西口	10:05	11:05	13:05	14:05
舟石川中央	10:06	11:07	13:06	14:07
役場東	10:07	11:08	13:07	14:09
JAにじのなか	10:10	11:10	13:10	14:11
長松院	10:10	11:11	13:11	14:12
竹瓦	10:11	11:12	13:12	14:13
カインズホーム	10:16	11:17	13:17	14:18
おさかなセンター	10:22	11:22	13:24	14:23
所要時間	0:17	0:17	0:19	0:18

おさかなセンター	10:30	11:30	13:30	14:30
カインズホーム	10:37	11:38	13:39	14:37
竹瓦	10:43	11:44	13:44	14:42
長松院	10:44	11:45	13:45	14:44
JAにじのなか	10:45	11:45	13:45	14:44
役場東	10:46	11:47	13:47	14:46
舟石川中央	10:48	11:48	13:48	14:48
東海駅西口	10:50	11:50	13:49	14:49
所要時間	0:20	0:20	0:19	0:19

1/15(木) 雨

東海駅西口	10:05	11:05	13:05	14:05
舟石川中央	10:06	11:06	13:06	14:07
役場東	10:09	11:09	13:07	14:09
JAにじのなか	10:10	11:10	13:09	14:10
長松院	10:11	11:10	13:09	14:10
竹瓦	10:12	11:12	13:11	14:12
カインズホーム	10:17	11:16	13:16	14:16
おさかなセンター	10:22	11:21	13:21	14:21
所要時間	0:17	0:16	0:16	0:16

おさかなセンター	10:30	11:30	13:30	14:30
カインズホーム	10:37	11:38	13:40	14:38
竹瓦	10:42	11:42	13:45	14:42
長松院	10:44	11:44	13:47	14:43
JAにじのなか	10:44	11:45	13:47	14:44
役場東	10:45	11:46	13:48	14:45
舟石川中央	10:47	11:47	13:49	14:47
東海駅西口	10:49	11:48	13:50	14:48
所要時間	0:19	0:18	0:20	0:18

東海村地域公共交通網形成計画

平成27年 3 月

東海村／東海村地域公共交通会議

事務局：東海村 村長公室 まちづくり推進課
〒319-1192

茨城県那珂郡東海村東海三丁目 7 番 1 号

TEL 029-287-0925 FAX 029-287-0317

E-mail: matidukuri@vill.tokai.ibaraki.jp